

**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
福岡工業大学

令和4年度

# 教育・研究活動報告書

取組成果のご報告

福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部・福岡工業大学附属城東高等学校

*For all the students*  
～すべての学生生徒のために～



このレポートのデジタル版を  
お使いのスマートフォンで  
ご確認ください。

# 情報・環境・モノづくり領域で 教育研究力を発揮し、 広く社会に貢献する



本学園の運営につきまして、平素より格別のご理解とご支援をいただき深く感謝いたします。

さて、本学園は、表題の経営目標を達成するため、①戦略的広報・募集活動強化、②教育の質向上、③研究の高度化・特色化、④キャリア教育・就職支援強化、⑤グローバル化、地域連携・展開、並びに⑥財政・ガバナンス安定・強化の6領域で諸活動を活発化させてきました。

今日、これら6領域の全てにおいて相応の成果が生じ、外部から高く評価されています。特に、「日経CAREER MAGAZINE 価値ある大学 就職力ランキング 2023-2024」では、全国国公私大（約810校）ランキングにおいて、「地域の活性化に貢献する大学」で全国1位、「就職支援に熱心に取り組む大学」で同1位、学生の「行動力」で同12位、学生の「対人力」で同13位、「学習環境が整っている大学」で同13位となり、これらの総合的評価として、大学の取組の「総合ランキング」で全国9位（私大トップ）の高い評価を得ることができました。様々な学校改革の積極的な取組が功を奏したものと考えています。

この教育・研究活動報告書は、学生・生徒・保護者の皆様、卒業生、そして学校運営にご支援をいただく企業・地域の皆様に、本学の教育・研究及び経営・財務の諸取組とその成果について具体的に説明し、いっそう本学園をご活用いただくことを目的としています。

この報告書を通じた関係の皆様と本学園の双方向のやりとりは、私どもが諸活動を磨き高めるには欠くことのできない貴重な機会であると存じます。引き続き、いっそうの改革・改善を推し進め、全国有数の評価を得る教育・研究機関として、その使命を果たしてまいりますので、どうか忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

令和5年9月1日

福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部 学長 村山 理一



# INDEX

## I.はじめに

- 1.ごあいさつ(学長メッセージ) …… 1
- 2.マスタープラン(MP)の取組状況・成果の概要
  - (1)MP成果の全体像  
(MP・アクションプログラム(AP)の  
全体枠組み、戦略①～⑥の相関) …… 3
  - (2)MPの軌跡(年表) …… 4

## II.大学の主要な取組成果(マスタープランの取組成果とその外部評価)

- 1.入学志願者・入学者の状況(戦略I) …… 5
- 2.教育力の発揮(戦略II) …… 7
- 3.研究の高度化(戦略III) …… 9
- 4.就職力の強化(戦略IV) …… 11
- 5.グローバル化と地域連携の推進(戦略V)
  - (1)グローバル化の取組 …… 13
  - (2)地域連携の取組 …… 15
- 6.財政基盤の安定(戦略VI) …… 17
- 7.学校運営に対する外部評価 …… 19

## III.学校改革(教育改善・研究高度化・就職支援等)の具体的取組状況

- 1.教育改善の取組 …… 21
- 2.研究高度化の取組 …… 23
- 3.就職支援の取組 …… 25
- 4.ラーニングサポートの取組 …… 27
- 5.キャンパスライフサポートの取組 …… 29

## IV.各設置校の状況

- 1.大学院の取組 …… 31
- 2.短期大学の取組 …… 33
- 3.附属城東高校の取組 …… 35

## V.ファシリティ

- 1.キャンパスの概要 …… 37

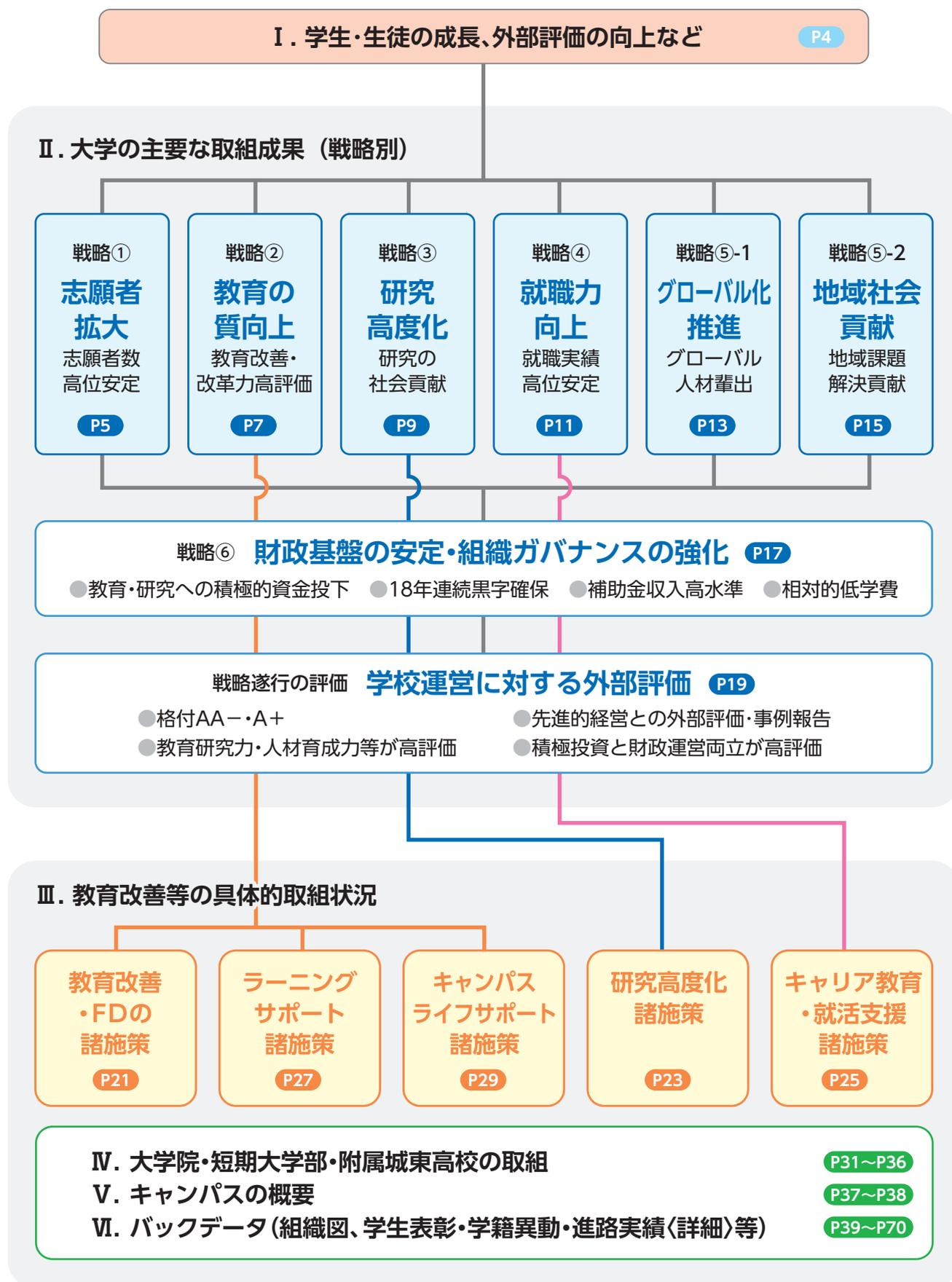
## VI.バックデータ集

- 1.学生表彰(学会表彰、卒業生表彰、  
課外活動表彰等) …… 39
- 2.その他、経営・財務、  
教育・研究等諸活動のデータ …… 41
- 3.『FIT学生サポート寄付金』 …… 69



# マスタープラン(MP)の取組状況・成果の概要

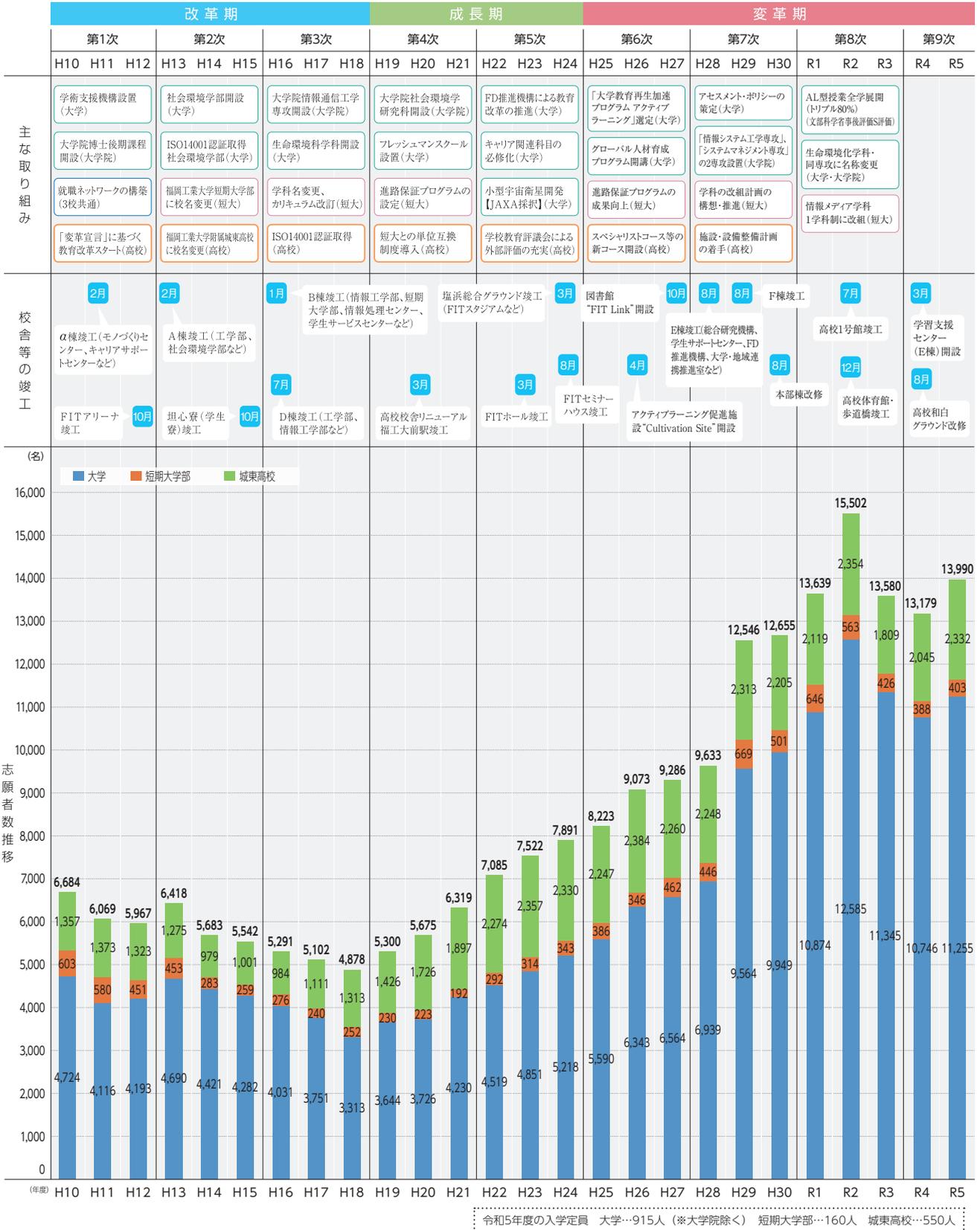
## (1) MP成果の全体像(MP・アクションプログラム(AP)の全体枠組み、戦略①～⑥の相関)



## (2)MPの軌跡(年表)

大学は、平成19年度から令和2年度まで14年連続で入学志願者が増加、令和3年度以降も志願倍率は10倍を超え高水準を維持しています。短大も安定して志願者を確保しています。高校は、平成16年度以降8年連続で入学志願者が増加、その後も、「県下トップクラス」を維持しています。

### ■マスタープランの概要



はじめに

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的取組状況

各設置校の状況

ファミリー

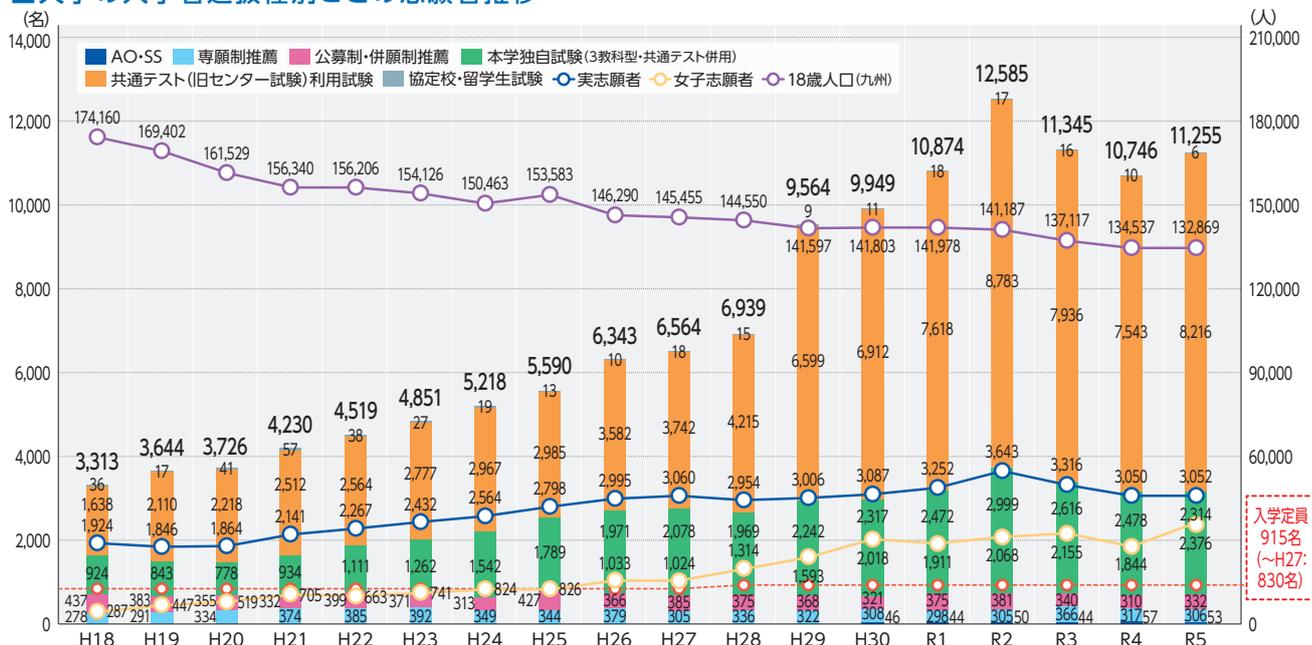
バックデータ集

# 1. 入学志願者・入学者の状況(戦略 I)

## 入学志願者は「入学志願倍率7年連続10倍」。高位安定的に推移しています。

5年度入試は、総志願者数11,255名・志願倍率12.3倍・実志願者数3,052名となりました。三大都市圏への進学志向が高まる中、入学志願者を高位安定的に確保しています。

### ■大学の入学者選抜種別ごとの志願者推移

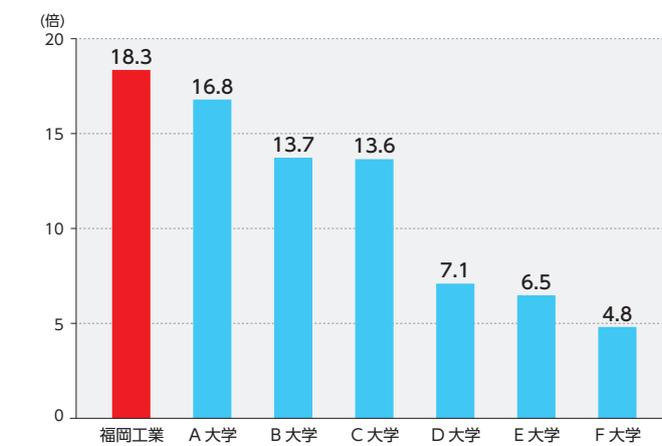


▶ 女子の志願者(2,376名、10年前の約3倍)も継続的に増加しています。

## 一般選抜志願倍率は「6年連続九州私大1位」。入試の難易度が上昇しています。

一般選抜志願者(3教科型・共通テスト利用等)は、5年連続で10,000名に到達しました。一般選抜志願倍率は18.3倍で、入試難易度も継続して上昇しています。

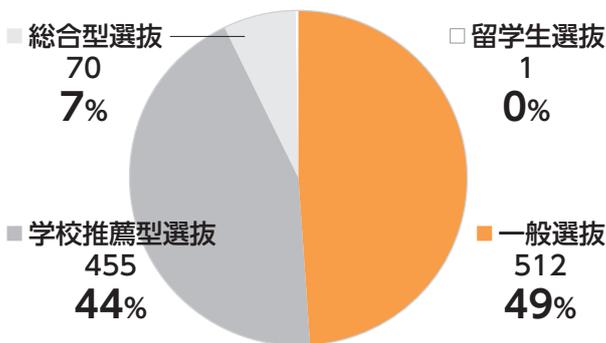
### ■R5年度入試 主な九州地区私立大学志願倍率比較(一般選抜)



大学	募集人員	志願者数
福岡工業大学	576	10,530
A大学	1,158	19,422
B大学	3,041	41,785
C大学	1,261	17,119
D大学	971	6,937
E大学	385	2,512
F大学	295	1,417

※大学通信調べ

### ■5年度入学者(大学1,038名)の入試種別ごとの状況



### ■本学受験者の併願大学トップ3(5年度入試)

教育・研究力や就職力の高さから「国立大学志望」受験者の併願大学として選ばれています

<b>第1位</b> 九州工業大学	<b>第2位</b> 佐賀大学	<b>第3位</b> 北九州市立大学
----------------------	--------------------	-----------------------

▶ 令和6年4月、情報工学部に「情報マネジメント学科」(入学定員90名)を開設します。経営工学とデータサイエンスを主な学習領域として、「課題解決エンジニア」の育成を目指します。

# 入学者は「全国有数」の安定性。所定の入学者を高位安定的に確保しています。

全国私立大学の約半数が入学定員を確保できない厳しい状況の中、3学部9学科全てが、所定の入学者を高位安定的に確保(5年度1,038名)しています。

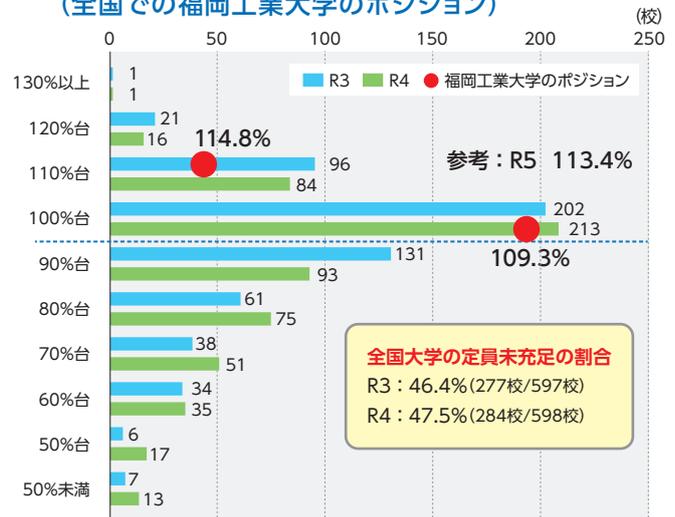
## ■ 学部・学科定員、入学者の推移(H30～)

いずれの年度も、全ての学部・学科で、定員を上回る入学者を確保

学部・学科	年度		H30(5年前)	R1	R2	R3	R4	R5
	定員	入学者数	入学者数	入学者数	入学者数	入学者数	入学者数	入学者数
電子情報工学科	90	113	111	95	94	98	105	
生命環境化学科	90	94	108	97	110	95	97	
知能機械工学科	110	139	117	125	131	123	126	
電気工学科	90	94	102	104	131	96	101	
工学部	380	440	438	421	466	412	429	
情報工学科	130	151	144	157	134	146	145	
情報通信工学科	90	99	99	105	107	94	101	
情報システム工学科	90	127	94	93	94	104	103	
システムマネジメント学科	65	68	73	71	70	76	74	
情報工学部	375	445	410	426	405	420	423	
社会環境学科	160	175	197	174	179	168	186	
社会環境学部	160	175	197	174	179	168	186	
合計	915	1,060	1,045	1,021	1,050	1,000	1,038	

## ■ 入学定員充足率の分布

(全国での福岡工業大学のポジション)



日本私立学校振興・共済事業団「令和4(2022)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」から抜粋

▶ 「国公立大学や難関私立大学を中心に進学する高校」からの入学者の割合も拡大しています。

# 高大接続が進展。高校生・保護者・高校の先生方からの信頼・評価が向上しています。

「面倒見の良さ」「就職力の高さ」「研究力の高さ」など、高校生・保護者・高校の先生方からの教育改善や研究高度化、学生支援等の取組に対する信頼・評価・関心が高まっています。

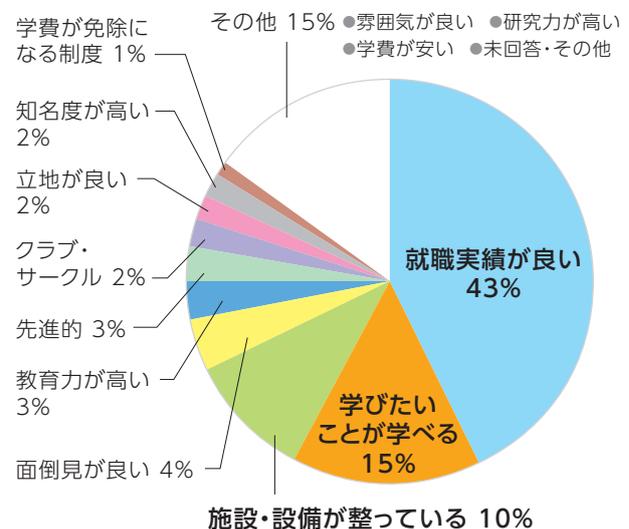
## ■ 『大学探しランキング2023』(大学通信) 高校からの評価全国ランキング

項目	2023年度*	2022年度
面倒見が良い	5位	4位
就職に力を入れている	6位	5位
研究力が高い	22位	ランク圏外
小規模だが評価できる	16位	15位
入学後、生徒を伸ばしてくれる	25位	22位

\*全国の進学校624校から調査回答  
参考:全国国公立大学数 807校

## ■ 令和5年度入学生(大学・短大1,197名全員) アンケート結果

Q: 本学入学の決め手を教えてください。



▶ 教育・研究活動等のパブリシティ掲載件数も継続的に増加しています。(詳細、P49データ集参照)

## 2. 教育力の発揮(戦略Ⅱ)

# 教育内容・方法の改善を積極的に推進。 改革力は「全国有数」として高い評価

私立大学等改革総合支援事業\*においては、4年度も「4項目全選定」を受け、同支援事業の創設以来継続して全国屈指の高い評価を得ています。本学では、特色ある教育の展開(タイプ1)を重点目標に掲げ、その達成の手立てとして、研究の高度化(タイプ2)、地域社会貢献(タイプ3)、研究の社会実装(タイプ4)を総合的・一体的に推進し、すべてのタイプの選定を目指しています。

\*私立大学等改革総合支援事業とは、文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が一体となって、積極的に学校改革に取り組む大学等を評価・選定・支援するものです。

### 令和4年度私立大学等改革総合支援事業の選定状況

本学は全国最上位に位置(4項目の選定は、全国918校中8校のみ)

4項目選定	3項目選定	2項目選定	1項目選定
<b>福岡工業大学</b> 東京都市大学 芝浦工業大学 帝京大学 東京電機大学 神奈川工科大学 藤田医科大学 大阪医科薬科大学 (丸囲み数字:R3選定数)	③ 東北公益文科大学 ④ 慶應義塾大学 ④ 東海大学 ② 東洋大学 ④ 日本医科大学 ③ 法政大学 ④ 早稲田大学 ③ 帝京平成大学 金沢工業大学 福井工業大学 同志社大学 立命館大学 関西大学 西九州大学	千葉工業大学 順天堂大学 上智大学 東京理科大学 明治大学 立教大学 愛知工業大学 京都産業大学 近畿大学 関西学院大学 福岡大学 久留米大学 九州共立大学 長崎国際大学 他	<b>福岡工業大学短期大学部</b> 他 171 選定なし 357 申請なし 309
8	14	59	309

### 私立大学等改革総合支援事業創設から10年間(H25年度～R4年度)の選定状況

累計で34項目選定(毎年3項目以上選定)は、全国第3位/約920校中、「全国屈指の好成績」

順位	学校名	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	総計	年平均
1	芝浦工業大学		3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	39	3.9
2	金沢工業大学		3	4	4	4	3	4	4	4	3	3	36	3.6
<b>3</b>	<b>福岡工業大学</b>		<b>1</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>34</b>	<b>3.4</b>
4	国際医療福祉大学		3	4	4	4	4	3	2	3	3	2	32	3.2
5	長崎国際大学		1	0	4	4	5	4	3	4	3	2	30	3.0
5	東京電機大学		3	2	1	3	2	3	4	4	4	4	30	3.0
7	関西大学		2	3	2	3	2	4	4	3	3	3	29	2.9
7	東京都市大学		0	0	1	4	4	5	3	4	4	4	29	2.9
9	東北公益文科大学		1	2	3	3	3	4	3	3	3	3	28	2.8
9	藤田医科大学		0	0	3	3	3	3	4	4	4	4	28	2.8

## 教育内容・方法の改善・高度化の取組を、全学をあげて総合的に実施

MP(経営計画)の中に、戦略Ⅱ「教育の質向上」、戦略Ⅲ「研究の高度化」、戦略Ⅴ-2「地域連携の推進」を組み込み、全学をあげて実行していることが、改革総合支援事業4項目全選定に大きく貢献しています。

### ■私立大学等改革総合支援事業4タイプ選定につながる取組内容

#### タイプ1 『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開

- ・ICTを活用した双方向授業や自主学習支援等の実施
- ・学生の教育研究活動への参画を促進(FIT-join等)
- ・学位等の学修成果について、対外的に可視化するための資料の交付(FIT-AIM)
- ・一般選抜における「学力の3要素」の多面的・総合的な評価の実施
- ・高等学校教育と大学教育の連動(I-STEM教育等)
- ・数理・データサイエンスに係る科目の全学展開
- ・企業等との協定等に基づく実践的なデータサイエンス教育の実施
- ・分野・学部等横断的カリキュラム編成の検討・改善・実施 など

#### タイプ3 「地域社会への貢献」プラットフォーム(PF)型

- ・自治体、産業界等が参加する委員会等への参加
- ・大学等の計画へのPFの中長期計画の対応状況
- ・共同のFD・SDへの参画
- ・地域の教育支援活動への参加
- ・共同の公開講座への参加
- ・キャリア形成プログラム等の企画、参加
- ・就職促進の取組の企画、参加

など

#### タイプ2 『特色ある高度な研究の展開』

- ・研究力向上に係る学内計画の策定
- ・専任教員等に占める博士号取得者の割合
- ・外国語による論文作成支援体制の整備
- ・協定等に基づく学内施設・設備の共同利用
- ・協定等に基づく共同研究の実施
- ・複数学部・専攻が参加する分野横断型共同研究の実施
- ・査読付き論文の実績(3か年3件以上)のある専任教員の割合

など

#### タイプ4 「社会実装の推進」

- ・産学連携のための部署に専任教職員の配置
- ・知財管理や法律など専門的側面からサポートする有資格者の配置
- ・産業界との共同研究の実施状況・件数
- ・産業界からの受託研究の実施状況・件数
- ・大学等の知的財産・技術の実用化、事業化を目指した取組の実施状況
- ・産学協同による社会実装を志向した教育プログラム、授業科目の開講

など

## アクティブラーニング(AL)型授業による実践型人材育成に高い評価

AL型授業の全学展開が、毎年有力な実践型人材を社会に輩出することに繋がっています。このことによって、企業の人事担当者から本学の教育力が高く評価されています。

### ■日経キャリアマガジン特別編集「就職力ランキング2023-2024(日経HR)」

( )内はイメージ調査項目

企業の人事担当者への学生のイメージ調査(側面別ランキング)

#### 総合

**九州私大1位**  
(全国52位/九州4位)

(行動力/対人力/知力・学力/独創性)

#### 行動力

**九州私大1位**  
(全国12位/全国私大3位)

(熱意がある/主体性がある/  
チャレンジ精神がある)

#### 対人力

**九州私大1位**  
(全国13位/全国私大5位)

(コミュニケーション能力が高い/  
ストレス耐性が強い/柔軟性、適応力がある)

#### 独創性

**九州私大1位**  
(九州5位)

(創造力がある/個性がある/着眼点が良い)

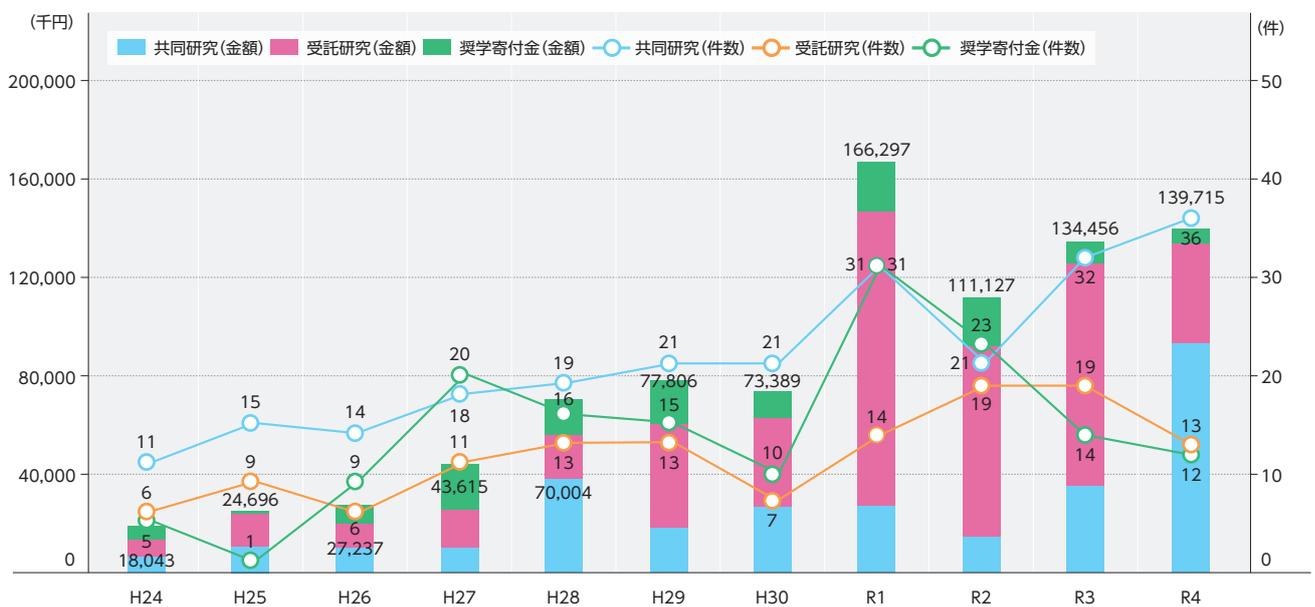
※知力・学力については、九州私大2位の評価

### 3. 研究の高度化(戦略Ⅲ)

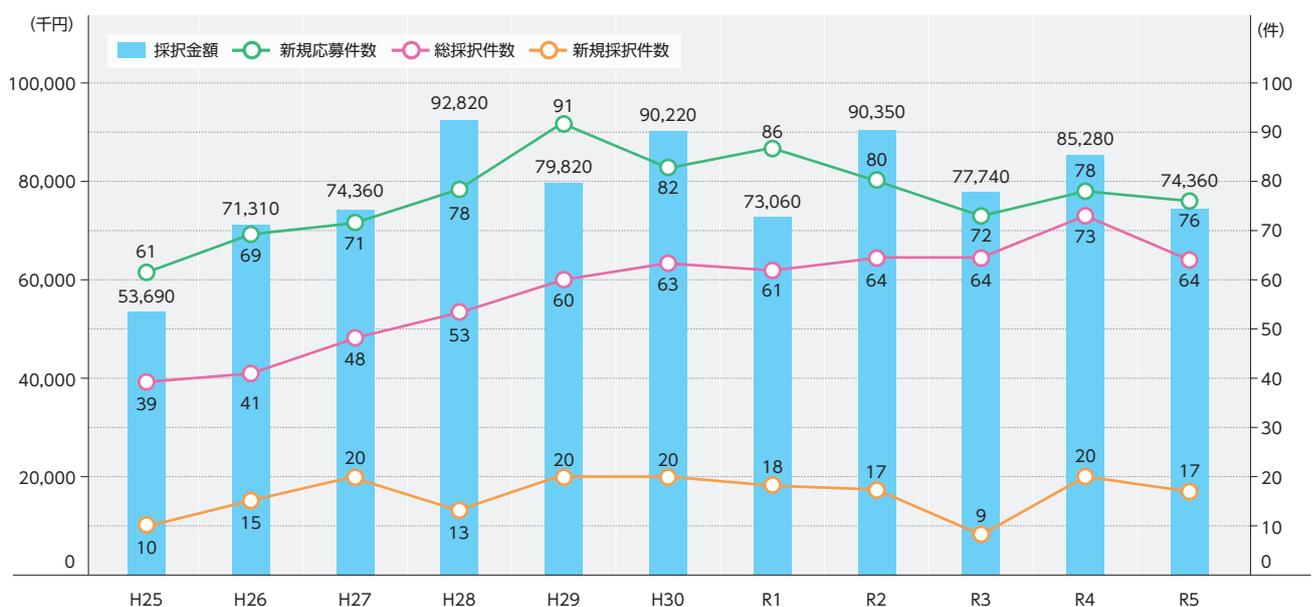
## 外部研究費の採択が高位安定。 近年、国の機関、産業界からの研究資金は大幅に拡大

「イノベーションは社会に組み込まれてはじめて完結する(社会実装)」との考えのもと、国・地方・産業界の課題に対し、多くの研究者が課題解決に取り組みました。また、近年、研究者の研究活動を積極的に支援する体制の整備により、科研費等、国からの外部資金獲得実績が大幅に伸長し、高評価・好成績として結実しました。

#### ■外部研究資金の獲得実績推移(H24-R4)



#### ■科研費採択実績推移(H25-R5、短期大学部含む)



▶ 科研費(科学研究費)助成は、我が国の学術研究を飛躍的に発展させることを目的とする競争的資金であり、独創的・先駆的な研究を助成する制度です。

## 今日的課題の解決に向けて「知識」を集結。国・産業界の強力支援に拡大

「情報」「環境」「モノづくり」の領域で本学が有する「知識」をフルに活用し社会実装(実用化)に発展させています。国等が示す課題解決プロセスにも沿って、外部助成拡大に繋がっています。

### 情報



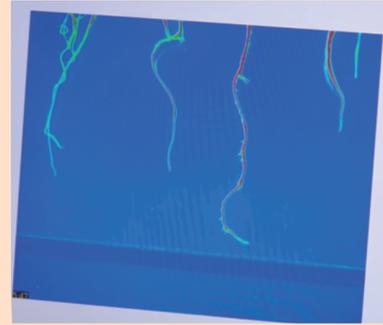
情報工学科・種田和正教授  
『特殊詐欺被害防止と犯罪者追跡』(福岡県警察)

### 環境



社会環境学科・上杉昌也准教授  
『スマホを用いた防災ゲームアプリの開発』(国交省九地整)

### モノづくり



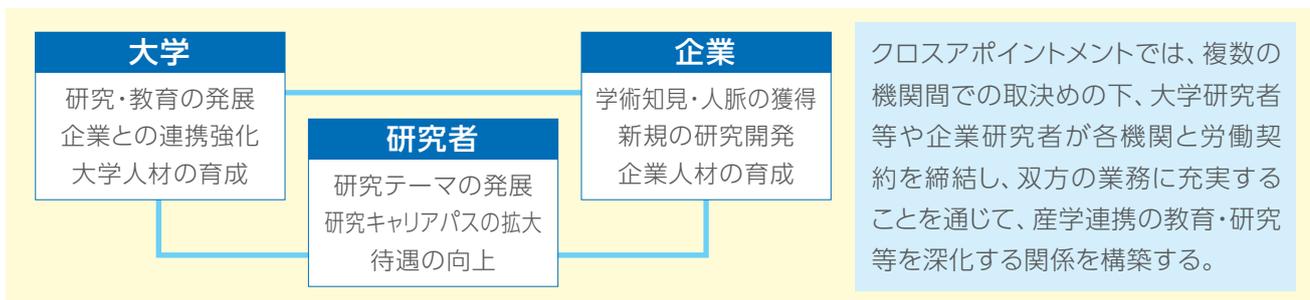
生命環境化学科・松山 清教授  
『植物版DDSの開発』(農研機構) 研究紹介動画

## 研究高度化に資する研究者支援制度を、国の政策に沿って大幅に拡充

研究者の研究意欲を高め、安心して研究に打ち込める環境を整備。高い研究モチベーションのもとで積極的な利用が進んでおり、外部助成拡大に寄与しています。

### ■近年整備した研究推進のための支援制度

#### ●クロスアポイントメント制度



(引用:経済産業省、文部科学省「クロスアポイントメント制度の基本的枠組みと留意的【追補版】」)

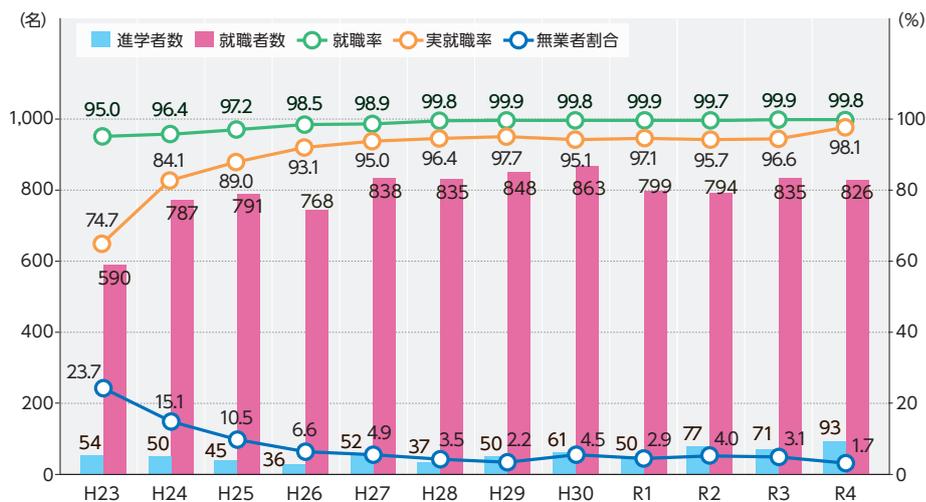
- PI人件費制度:競争的研究費の直接経費から研究者の人件費を支出可能にする制度
- バイアウト制度:研究時間を確保し研究成果の向上を目的とする制度
- その他の研究支援制度:①「研究スタートアップ支援」、②「若手卓越研究支援」、③「研究高度化支援」、④「科研費リトライ支援」、⑤「学術論文作成支援」、⑥「研究計画書作成支援」、⑦「学術図書出版支援」
- ▶高額の研究予算を付与し、研究力の高度化を支援。延べ70名(在籍者の44.3%が活用)が、①～⑦のうち何らかの支援制度を活用して研究活動を実施

## 4. 就職力の強化(戦略Ⅳ)

**実就職率は8年連続で「95%超」を達成。  
外部・企業の評価はさらに向上しています。**

「自ら考え行動し、多様な分野で創造性を発揮できる実践型人材」の育成を目指しています。初年次からのキャリア教育を実践。様々な就職支援プログラムも併行し、就職率等の数値目標も達成。質的充実・学生満足度も高位安定的に推移しています。

### ■進路決定状況推移



就職率\*1  
**99.8%**  
実就職率\*2  
**98.1%**

\*1 就職率=内定者数÷就職希望者数×100  
\*2 実就職率=内定者数÷(卒業生-大学院進学者数)×100  
(大学における進学者は大学院進学者に限る)

### ■企業規模別就職割合



上場企業・  
大手・中堅企業  
就職シェア率\*3  
**71.9%**

\*3 大手・中堅企業は  
資本金3億円以上もしくは  
従業員数300名以上

■日経キャリアマガジン特別編集『価値ある大学  
就職力ランキング2023-2024』日経HR

■大学通信「大学探しランキングブック2023」

『就職支援に熱心に取り組む大学』  
ランキング

**全国1位**  
(九州1位)

『就職に力を入れている大学』  
ランキング

**九州私大1位**  
(全国9位)

『面倒見が良い大学』  
ランキング

**九州1位**  
(全国6位)

# 企業ネットワークをさらに拡充。学内合同企業説明会をハイブリッドで開催

当年度も対面・オンライン併用で学内合同企業説明会を開催(例年、西日本最大級規模で開催)しました。また、東京・大阪・福岡の上場大手・中堅企業を招いて、企業交流会も実施し、企業ネットワークを拡大しました。

## ■学内合同企業説明会参加企業数、求人企業数

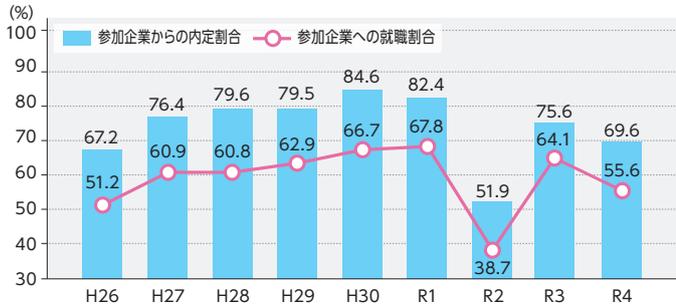


## ■学内合同企業セミナー(対面型・オンライン型)



対面型:8日間、475社、延べ参加人数2,722名  
オンライン型:2日間、120社、延べ着席人数616名

## ■学内合同企業説明会参加企業への内定・就職割合



## ■企業交流会

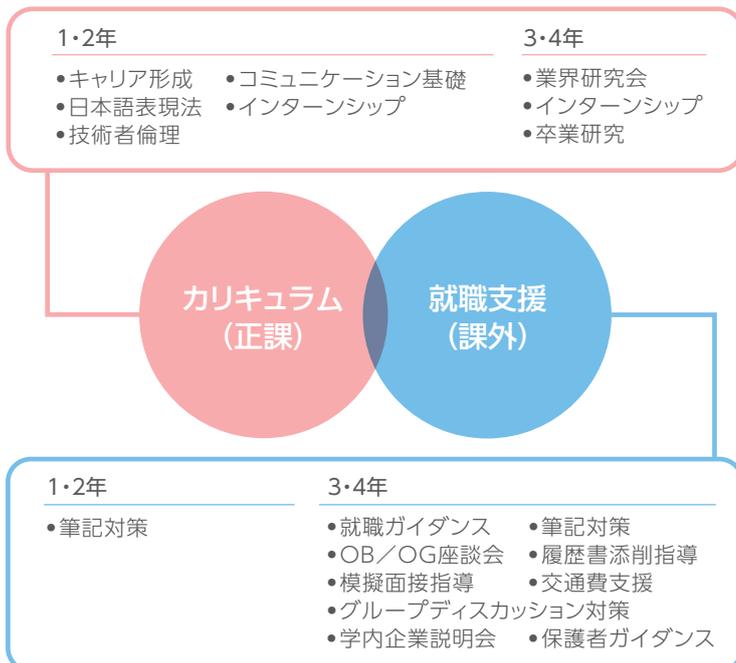


東京・大阪・福岡地区の上場大手・中堅企業51社が参加

# 正課・課外の様々なキャリア教育を進路決定に総合。就業力向上を強力バックアップ

1年次から体系的なキャリア教育を実施。とりわけ、正課の「課題解決型インターンシップ」と課外の「模擬面接」は、学生の主体性、課題解決力、表現力の向上に大きく貢献しました。

## ■正課・課外で行うキャリア教育の連関



## ■課題解決型インターンシップの様子



成果報告会の様子

## ■業界研究フェアの様子



企業119社、学生1,034名参加

# 5-1. グローバル化の取組 (戦略 V)

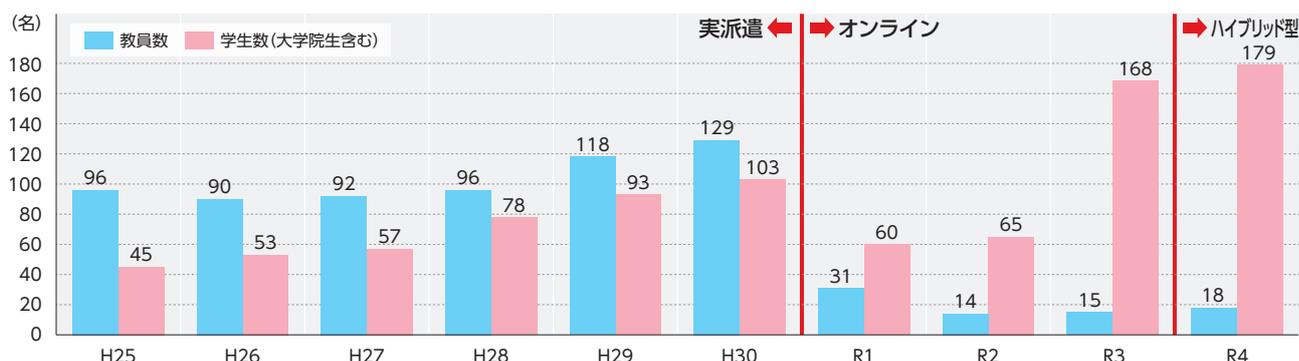
## 海外交流ネットワークを大幅に拡大。国際的フィールドでPBL (課題解決型学習) を活発化しました。

経済・学術交流のグローバル化に適応するために、多くの海外大学との間で、段階的に学術交流協定を締結しています。このもとで、PBL (課題設定・解決型学習) をオンライン・実派遣のハイブリッド方式で行い、学生の国際適応力の育成を図っています。

### ■ 国際交流ネットワーク



### ■ 国外への教員・学生派遣の状況 (4年度は、オンラインと実派遣のハイブリッド型で実施)



▶ 当年度は、元智大学(台湾)、センテニアルカレッジ(カナダ)、キングモンクット工科大学トンブリ校(タイ)、マラ工科大学(マレーシア)の4校を新たに加え、合計(大学・短大合わせて)28大学となりました。

## グローバルな環境のもとで専門技術・技能を駆使し、PBLで課題解決力向上を養成

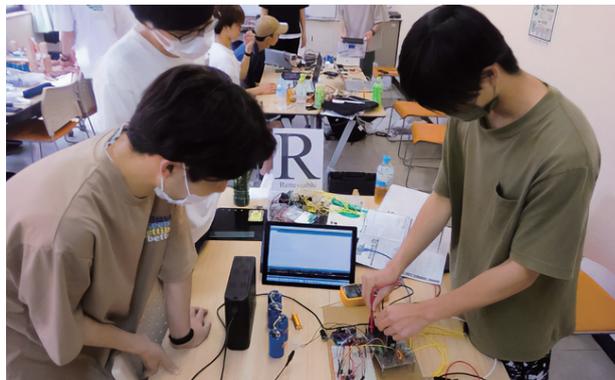
実験準備～実験～分析結果のとりまとめ～成果発表まで、外国人学生を交えたグループで、英語コミュニケーションにより課題解決を目指す実践型授業科目(国際工学実習)です。

### ■タイの外国人学生との間で行うPBLの様子 キングモンクット工科大学ラカバン校での実習



プロジェクト名:Design of line follower robot and its function extension  
(ラインレース・ロボットの設計とその機能拡張)  
期間:R4年8月18日から9日間(本学から8名参加)

### ■熊本大・鹿児島大の日本人学生、 留学生との間で行うグローバルPBLの様子



プロジェクト名:パワーエレクトロニクス技術を取り入れた集光式太陽光発電  
/マグネシウム空気燃料電池と蓄電デバイスとしての  
スーパーキャパシタの最適構成  
期間:R4年8月29日から10日間(本学から14名参加)

▶ 参加学生からは、英語力の必要性や課題解決のための専門的英語コミュニケーションの課題認識が示されましたが、その後の学習意欲の高まりに繋がっていることを確認できました。

## オンライン・実派遣プログラム参加に向けた準備学習の取組を強化

各種プログラム参加に向けた準備学習を積極化しました。語学力の向上や国際交流支援等の学生ニーズに積極的に対応しています。

### 留学準備学習の状況(英語・英会話学習の指導実績)

- |                  |                 |                    |
|------------------|-----------------|--------------------|
| ①マンツーマンレッスン 237回 | ②論文校閲・翻訳 80回    | ③英語スピーチコンテスト支援 71回 |
| ④EnglishCafe 40回 | ⑤英作文コンテスト支援 39回 |                    |

計467回、学生・教職員延べ442名参加

### ■留学準備学習の様子



英語プレゼンテーションコンテスト(FIT TALKS)の様様

### ■「グローバル座談会」(Global Student Lounge)の様子



協定校・サンノゼ州立大学(アメリカ)のAnna Meng教授を招へい、学生と活発な意見交換(テーマ:起業とリーダーシップ)

## 5-2. 地域連携の取組 (戦略V)

地域貢献と実社会をフィールドとする学びが拡大。地域の活性化につながっています。

「地域の活性化に貢献している大学」全国第1位(日経キャリアマガジン特別編集「価値ある大学 就職力ランキング 2023-2024」日経HR)に選ばれました。

近隣自治体(福岡市・古賀市・新宮町・篠栗町・島原市)・福岡県警察や地元企業等との連携が広がっています。ゼミや実習科目においてPBL(課題設定・解決型学習)を実践し、学生が主体的に地域貢献・地域活性化に取り組んでいます。

### ■4年度に新たに締結した連携協定

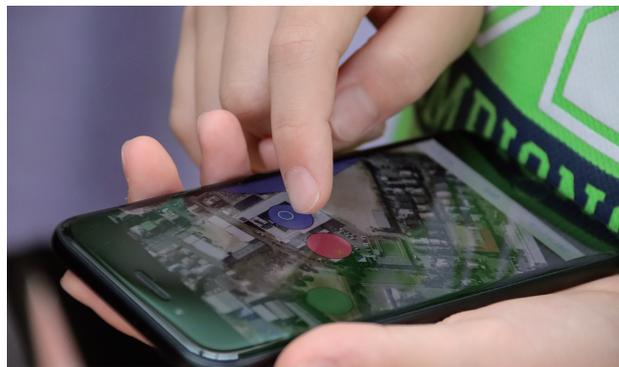


福岡県警察と「サイバーセキュリティに関する協定」を締結



古賀市と「仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する連携協定」を締結

### ■古賀市との取組



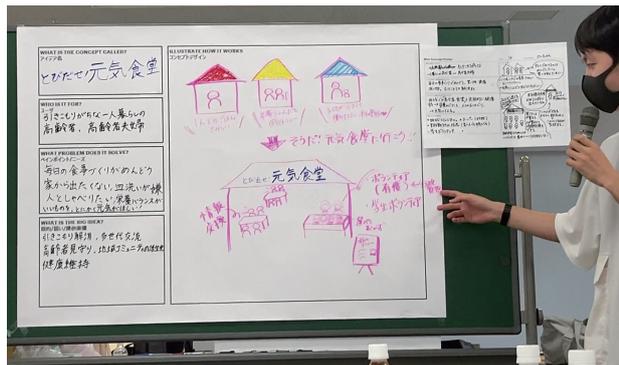
本学開発「防災Go!®」を活用した防災教育

### ■古賀市・同市内企業との取組



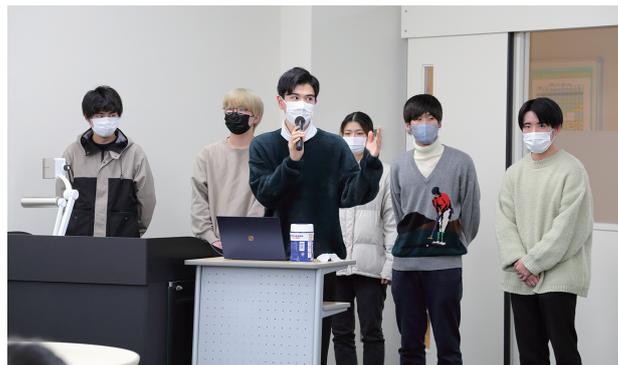
企業や工場・倉庫の課題解決策を発表

### ■新宮町との取組



「SSX推進イノベーション事業」に参加

### ■篠栗町との取組



介護予防に関するテーマでのPBLの最終プレゼンテーションの様子

## 「福岡未来創造プラットフォーム」に参画。地域の未来を担う人材育成事業が進展

地域人材育成ワーキンググループの幹事校として、幅広い学問領域や社会課題をテーマに学びの機会を提供しています。活発化する諸活動は、私立大学等改革総合支援事業「プラットフォーム型」選定につながりました(P7～8参照)。

### ■ 4年度の「福岡未来創造プラットフォーム」地域人材育成WGでの主な取組



「エンジニア天神クラス」  
学生のITリテラシー向上をはかり、デジタル系キャリアの選択肢を提供



「商店街PBL」  
福岡市大橋・香椎商店街振興をテーマとしたPBLを実施



福岡市Well-being & SDGs  
登録制度:マスター登録



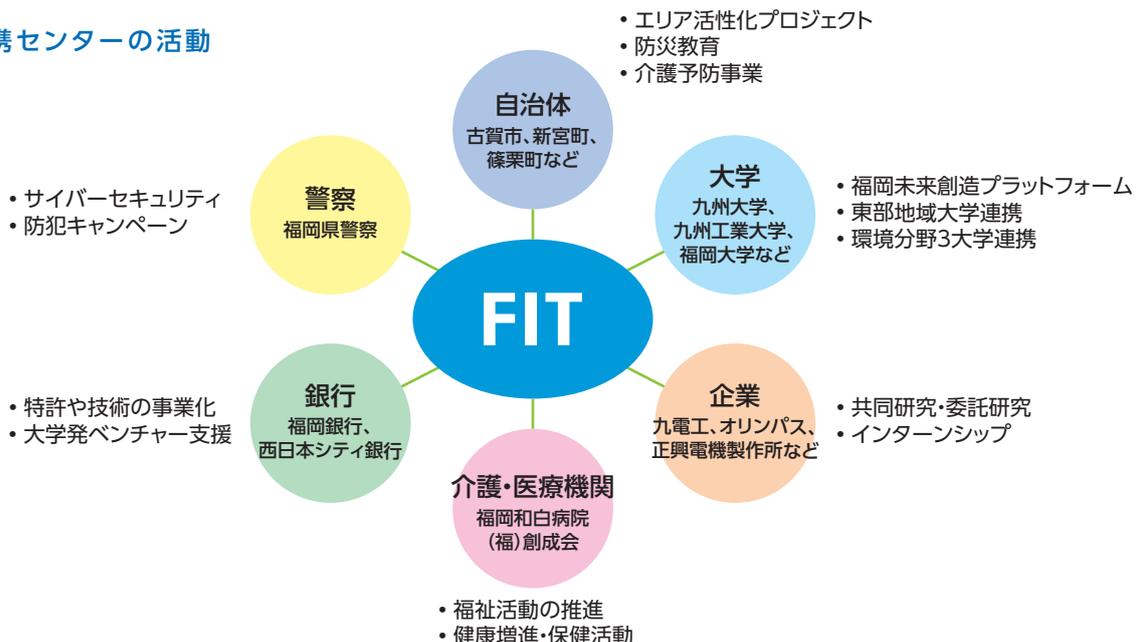
共同開講科目「SDGsを学ぶ」  
SDGsに関する取組の現地学習などにより、SDGsや現代社会における課題への理解を深める

▶ 福岡未来創造プラットフォーム:福岡都市圏に位置する大学・自治体・産業界の垣根を越え、高等教育の振興と地域社会の活性化を目的としています。

## 「社会連携センター」で大学・地域社会連携体制を構築。地域ネットワークが拡充

令和5年4月に、「社会連携センター」を設置しました。大学と地域社会との連携活動の高度化や学生が参加する地域貢献・社会連携活動等のいっそうの活発化を企図するものです。

### ■ 社会連携センターの活動



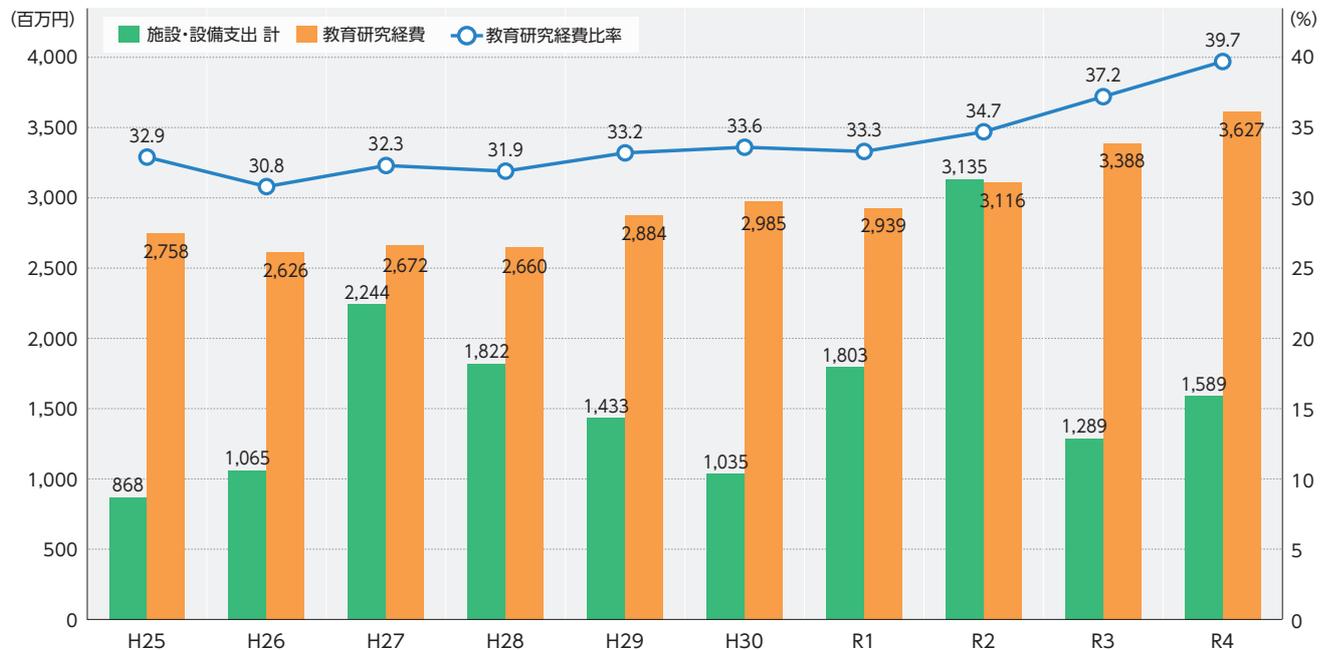
▶ 社会連携センターは、本学の特色を活かした「地域貢献と実社会をフィールドとする学びの機会」を創出することを目的としています。大学の窓口となって、各学部、各部署と協働し、多種多様な連携事業を展開しています。

# 6. 財政基盤の安定 (戦略Ⅵ)

## 健全財政を礎にして、教育・研究活動への資金投下を積極化しています。

経営・財政運営の基本の方針は、「健全財政を堅持しつつ、教育・研究活動へ積極的に資金投下する」ことです。これに沿って、学費の教育・研究活動への最大還元を継続しています。

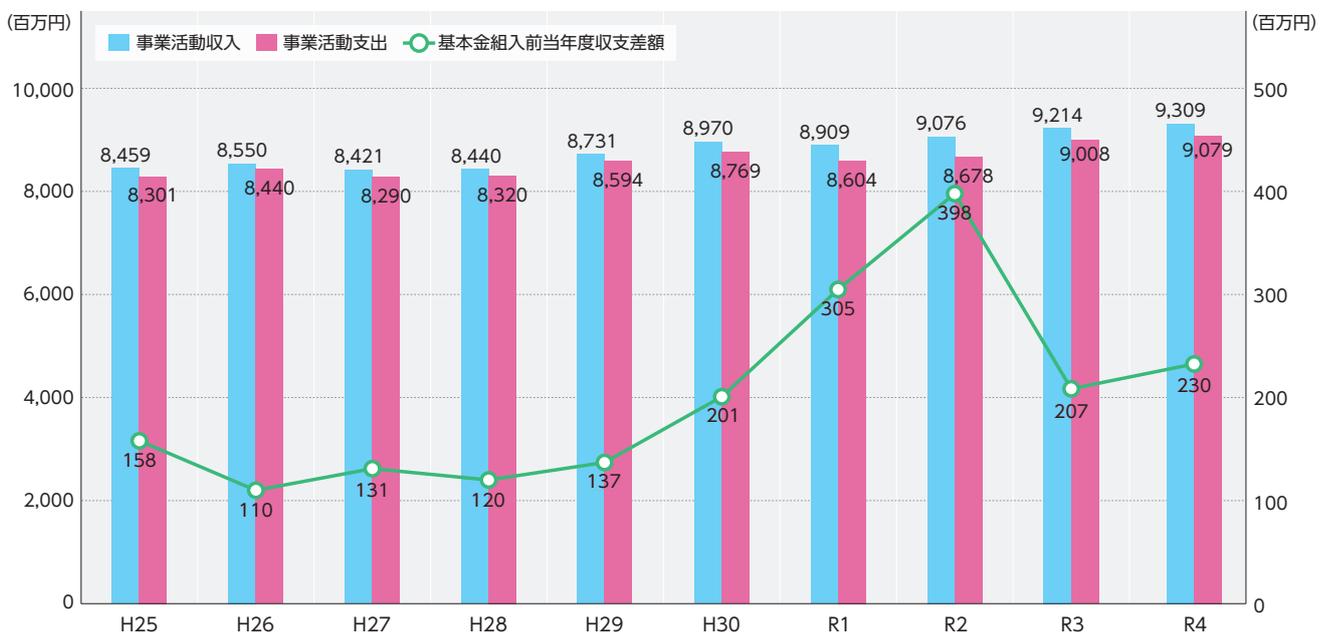
### ■施設・設備支出、教育研究経費(比率)推移



## 18年連続で計画どおりの収支差額プラス(黒字)を計上しています。

PDCAによる経営管理の仕組みによって財政計画の実現性を高めています。積極的資金投下と安定財政を高次でバランスさせ、経営の効率化・安定化を実現、18年連続で計画どおりの黒字を計上しました。

### ■基本金組入前収支差額推移



# 国等の助成事業(社会ニーズ)との適合度合いを高め、補助金は高水準を維持しています。

全国私立大学等の経常費補助金が減少する中、私学行政の求めに沿って教育・研究活動や学校運営の改善を積極的に進めることによって、経常費補助金は高い水準を維持しています。

## ■私大等経常費補助金交付額推移(H25～R4、大学)

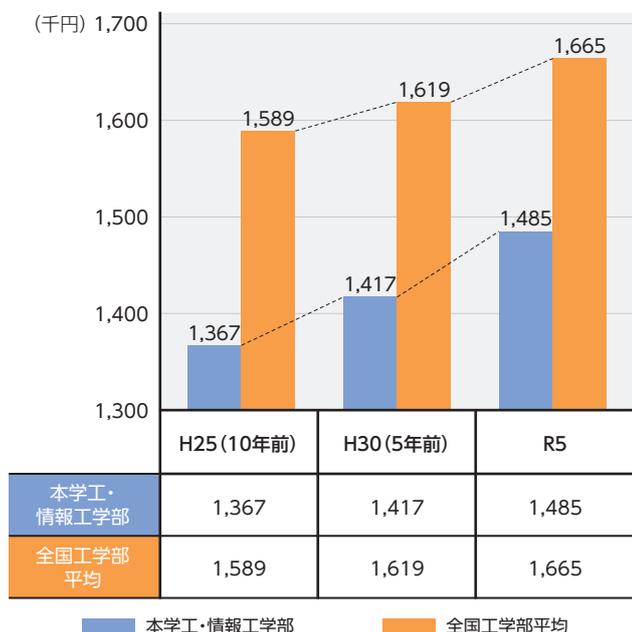


▶ 補助金交付順位は学校改革取組の活発さに比例する傾向があります。本学の順位は、102位/583校であり、「相対的高位ポジション」を維持しています。併せて、今年度は、改革総合支援事業大学4項目全選定、短大1項目選定、文部科学省施設設備直接補助7件採択となっています。

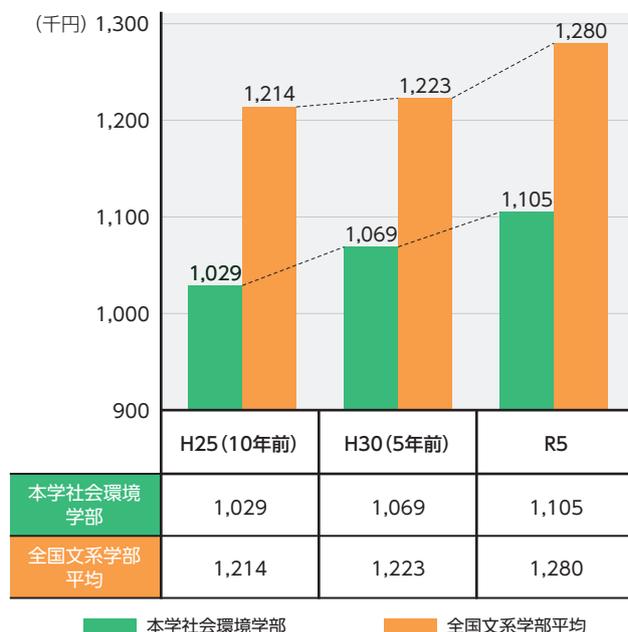
# 全国屈指の低学費を維持。経済的理由での退学等を抑制しています。

全国屈指の低学費で保護者の経済的負担を軽減しています。また、修学期間中の経済的困窮に柔軟に対応(独自奨学制度・分割納入対応等)し、経済的理由による退学等を極めて低い水準に抑えています。

## ■大学・学部の学費の相対比較(工学部・情報工学部)



## ■大学・学部の学費の相対比較(社会環境学部)



# 7. 学校運営に対する外部評価

## 経営・財政に対する外部評価(格付会社(R&I、JCR))が高位安定しています。

学園運営のいっそうの改革・改善を推進するため、第三者の視点・外部評価を重視し、格付会社2社の評価を受けています。積極的・効率的な施設・設備投資や、事業計画と予算の連動性の高さ、予算管理精度の高さ等が高く評価されています。

■格付会社2社からの評価 (R&I: (株)格付投資情報センター、JCR: (株)日本格付研究所)

**経営・財務の安定性で高い評価**

R&I格付 **A+** 方向性: 安定的

令和2年から4年連続[A+]

JCR格付 **AA-** 方向性: 安定的

令和3年度に「AA-」に向上

◎格付評価のポイント(令和3年度決算をもとにした評価)

	格付評価のポイント	格付会社課題認識
学校運営全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州地区有力私大の位置付けに変化なし(地位確立)</li> <li>志願者数は高水準で推移。域内トップの志願倍率</li> <li>丁寧な教育と面倒見の良い就職支援で高評価確立</li> </ul>	「募集力・難易度の維持・向上」
経営・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルの実効性と経営のスピード感</li> <li>学生・生徒への学費原資の積極還元方針は変わらず</li> <li>MP・APと予算の連携は、高レベルで確立された運営システム</li> </ul>	「継続的な教育・研究の高度化」
財政全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算管理精度の高さと財政運営の手堅さで黒字を確保。収支差額は低位だが財務構成は高い格付に符合</li> <li>施設・設備の維持更新は、既存引当資産と期間キャッシュフローで対応可能</li> </ul>	「経営計画の実質化と計画実現性向上」

## 教育研究、就職支援、地域貢献等の大学ランキングで高く評価されています。

学生への面倒見の良さや就職支援の熱心さ等では過年度から高い評価を得ています。加えて、近年、人材育成力の高さや、地域への貢献度の高さ、学習環境の良さ等の評価が高まっています。

■福岡工業大学の『全国No.1、全国私大No.1、九州私大No.1』

□「全国進路指導教諭が選ぶ大学」

面倒見が良い大学

**九州No.1**  
(全国6位)

就職に力を入れている大学

**九州私大No.1**  
(全国9位)

[大学探しランキングブック2023]大学通信 (R4.12.14)

□「大学の取組別ランキング」(企業の人事担当者の評価)

大学の取組ランキング総合  
(授業改善、優れた研究、地域活性化、就職支援、学習環境等7項目)

**全国私大No.1**  
(全国9位)

地域の活性化に貢献する大学

**全国No.1**

就職支援に熱心に取り組む大学

**全国No.1**

学習環境が整っている大学

**九州私大No.1**  
(全国13位)

□「就職力ランキング(学生のイメージ調査)」(企業の人事担当者の評価)

就職力ランキング総合  
(行動力、対人力、知力・学力、独創性の4側面別)

**九州私大No.1**  
(全国52位)

行動力  
(熱意がある、主体性がある、チャレンジ精神があるの3項目)

**九州私大No.1**  
(全国12位/全国私大3位)

対人力  
(コミュニケーション能力、ストレス耐性、柔軟性・適応力の3項目)

**九州私大No.1**  
(全国13位/全国私大5位)

独創性  
(創造力がある、個性がある、着眼点が良いの3項目)

**九州私大No.1**

日経キャリアマガジン特別編集「価値ある大学就職力ランキング2023-2024」日経HR (R5.5.31)

# 経営・財政の管理手法が、教育行政機関・私学団体から高く評価されています。

経営管理の仕組みやその成果が、日本私立学校振興・共済事業団や日本私立大学協会等の関係団体の研究誌等で紹介されています。

## ■ 本学の経営・財政の管理手法が好事例として紹介された例 〈文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団等、国の機関からの紹介事例〉

<p><b>「大学経営強化の事例集」</b></p> <p>文部科学省委託研究において、本学の経営計画およびその実行計画の管理運営システムについて、数少ない好事例として紹介されました。</p> <p>(平成19年3月)</p>	<p><b>「大学外組織評価研究会」</b></p> <p>(独)大学改革支援・学位授与機構の研究で、本学の経営管理システム、特に様々な取り組みの評価活動について、他大学に重要な示唆を与えるとして評価されました。</p> <p>(平成21年3月)</p>	<p><b>「大学評価・学位研究」</b></p> <p>本学のPDCAの一環として行う事業評価・改善の手法が、非営利組織の経営論の権威であるピーター・F・ドラッカーの経営理論との対比によって評価されました。</p> <p>(平成22年3月)</p>	
<p><b>「大学・短大の経営事例集～経営基盤強化のために」</b></p> <p>私立大学の経営基盤強化に向けた成功事例として訪問調査を受け、その結果が冊子としてまとめられ、全国で紹介されました。</p> <p>(平成29年3月)</p>	<p><b>「私大振興検討会議「議論のまとめ」</b></p> <p>28年10月に、文部科学省「私立大学等の振興に関する検討会議」の席に学園の常務理事が招致され、経営改革事例を報告した議論のまとめが公表されました。</p> <p>(平成29年5月)</p>	<p><b>「大学改革を成功に導く特色ある取組事例集」</b></p> <p>中期経営計画を軸とした経営管理システムと情報共有による教職協働での改革の実践が好事例として紹介されました。</p> <p>(平成31年2月)</p>	<p><b>「月報私学」</b></p> <p>私立大学の経営基盤強化に向けた成功事例として訪問調査を受け、その結果が冊子としてまとめられ、全国で紹介されました。</p> <p>(令和5年2月)</p>

# 学校運営の管理手法についても、学校経営研究誌・研究者から高く評価されています。

施設・設備への積極投資と財政運営(教育・研究の改善・高度化を主目的とする予算制度)の両立が、全国の教育関係者・大学行政の研究者等の研究誌等で評価されています。

## ■ 本学の経営・財政の管理手法が好事例として紹介された例〈公益法人や大学行政研究機関等からの紹介事例〉

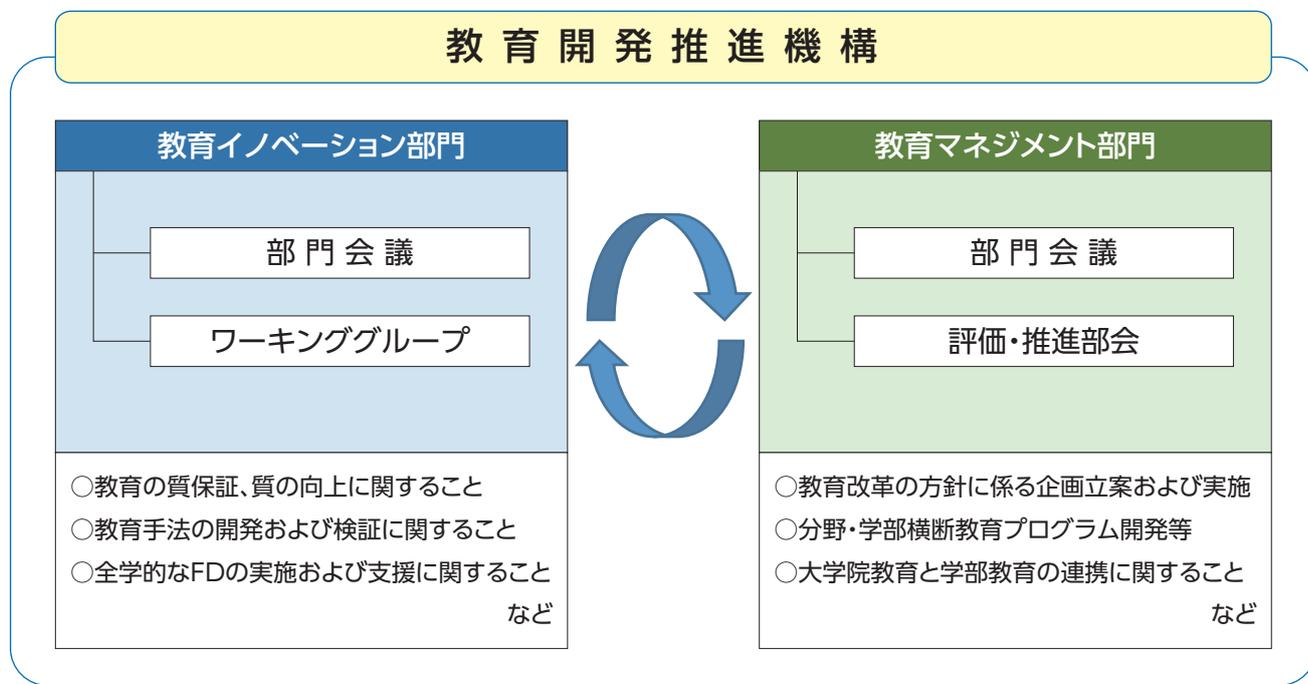
<p><b>「私大経営システムの分析」</b></p> <p>(平成19年11月)</p>	<p><b>「学校法人」</b></p> <p>(平成20年2月)</p>	<p><b>「私学経営」</b></p> <p>(平成20年3月)</p>	<p><b>「私立高等学校のこれからを考える」</b></p> <p>(平成20年3月)</p>	<p><b>「学校法人」</b></p> <p>(平成20年7月)</p>	<p><b>「カレッジマネジメント」</b></p> <p>(平成21年5月)</p>
<p><b>「カレッジマネジメント」</b></p> <p>(平成23年1月)</p>	<p><b>「大学経営の評価システム」</b></p> <p>(平成24年3月)</p>	<p><b>「中長期経営システムの確立・強化に向けて」</b></p> <p>(平成25年2月)</p>	<p><b>「大学マネジメント改革」</b></p> <p>(平成26年3月)</p>	<p><b>「私学経営」</b></p> <p>(平成26年5月)</p>	<p><b>「学校法人」</b></p> <p>(平成28年1月)</p>
<p><b>「私学経営」</b></p> <p>(平成29年5月)</p>	<p><b>「日本私立大学協会の私学高等教育研究公開研究会」</b></p> <p>(平成29年10月)</p>	<p><b>「学校法人」</b></p> <p>(令和元年7月)</p>	<p><b>「私学経営」</b></p> <p>(令和2年4月)</p>	<p><b>「大学時報」</b></p> <p>(令和3年1月)</p>	<p><b>「私学経営」</b></p> <p>(令和4年7月)</p>

# 1. 教育改善の取組

## FD推進機構を再編。全学レベルの教育改革を推進するために「教育開発推進機構」を設置

新たな教育改革・改善活動等を推進することを目的に、機構長のリーダーシップのもとで教育の質保証、教育能力の開発および向上、教育プログラムの開発とその支援の取組を実行しています。

### ■教育開発推進機構組織図



## 「教えられる」から「自ら学ぶ」へ。「実践型人材」の基盤形成のために教養力育成カリキュラムを改正

カリキュラムは、全ての学生が身につけておくべき知識・能力の核としてのコア群と、「多面的視座」と「実践知」の獲得を基柱とする展開群とによって構成されています。複数の科目において全学科横断の混成クラスを設けることによって、多様な価値観に触れ、スタディ・スキルを継続的に鍛える機会を提供しています。

### ■教養力育成科目の基本コンセプト

	基礎の段階	応用の段階
コア群	<b>「教養力基盤」を形成する科目群</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【キャリア・デザイン】</b> 自分の将来や人生をデザインできる</li> <li><b>【コミュニケーション・デザイン】</b> 自分の強みを活かし、他者と協働できる</li> <li><b>【ウェルネス基礎】</b> 心身や社会生活の良好な状態を維持・発展していける</li> </ul>	
	<b>【英語科目】</b> グローバルな社会で生きる術となる言語力を有する	
展開群	<b>「多面的視座」を養う科目群</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【AI・データサイエンス基礎】</b> <b>【異文化理解】</b>など</li> </ul> さまざまな角度から物事をみることができる	<b>「実践知」を磨く科目群</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【地域創生PBL】</b><b>【海外研修】</b> <b>【ウェルネス応用】</b>など</li> </ul> あらゆる状況で適切な判断をくだすことができる

## 時代の変化に対応できる「実践型人材」育成の一環として、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム\*1」を構築

全学共通科目として「AIデータサイエンス基礎」を開講。工学部・情報工学部に、AI技術を用いて具体的な社会課題の解決ができるようになるための応用基礎教育プログラムを開講しました。

### ■数理・データサイエンス・AI教育プログラムの概要

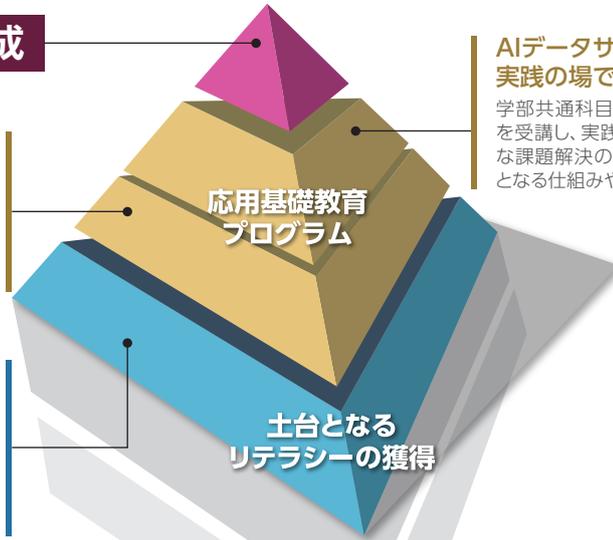
#### 実践的な能力を育成

「データサイエンス基礎」  
「データエンジニアリング基礎」  
「AI基礎」の知識・技能の獲得

各学科でそれぞれ指定された、専門基礎及び専門教育科目を受講し、すべての単付を修得する。

「AI・データサイエンス基礎」  
(1年次・選択科目)

全学共通科目として、1年次に遠隔講義にて実施。データサイエンス・AIの動向及び分析結果をもとに、これからの社会の在り方を考察することができる基礎的素養を主体的に身に付ける。



#### AIデータサイエンスを 実践の場で体感

学部共通科目「AIデータサイエンス実践」を受講し、実践的な演習を通して、具体的な課題解決のプロセスやそのために必要となる仕組みや手法を理解する。

- ▶ \*1 デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎などの必要な力を全ての国民が育み、あらゆる分野で人材が活躍する環境を構築する必要があるとして、文部科学省が推奨する認証制度(AI戦略2019)。

## 教育DXを積極化。ICT基盤・機器類を駆使して、AIの高度化等に注力

従前からICTを活用した教育手法の利点を活かして教育を行うことが求められており、コロナ禍によって、その流れは一気に加速しました。本学は、教育・研究活動等の様々な場面において、その対応を図っています。また、それらに対応する機器・設備等の整備も行い、AI等の高度化を支えています。

### ■生命環境化学科 赤木研究室のXR\*2(クロスリアリティ)空間内に構築された「Akagi Lab」



### ■本部棟8階に新設したFIT-DXスタジオ(高品質な映像・音声で映像の制作・配信等が可能な全学共同施設)



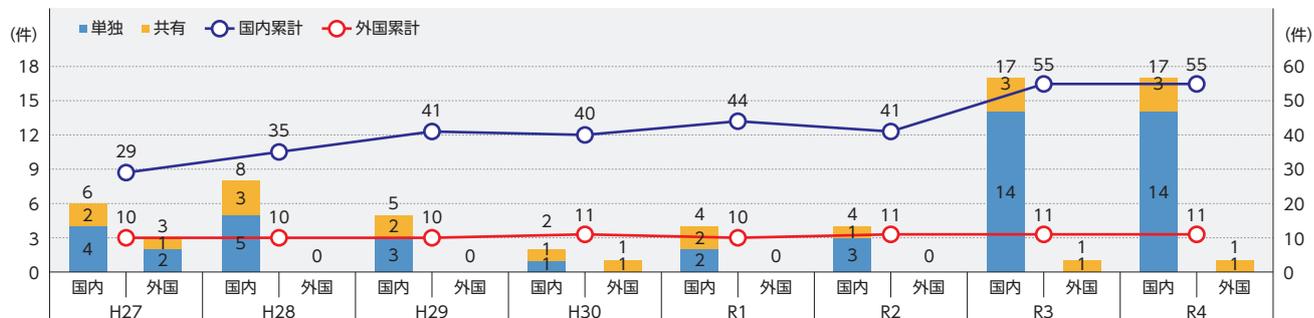
- ▶ \*2 クロスリアリティとは、VR(ヴァーチャルリアリティ)等、現実世界と仮想世界を融合して新しい体験を生み出す技術。

## 2. 研究高度化の取組

### 研究成果、研究技術の公開・発信を強化。技術相談の支援体制も積極化

国・地域・産業界との実用化研究の進展に伴い、研究成果の権利化（特許登録）を拡大させています。さらなる実用化に向けて、国・地域・産業界との相談・連携体制を強化し、産業界の発展に広く貢献しています。

#### ■ 本学が権利を保有する特許取得状況推移（企業との共有を含む〈国内・外国〉）



#### ■ 新技術の実用化・事業化に向けた相談・連携体制

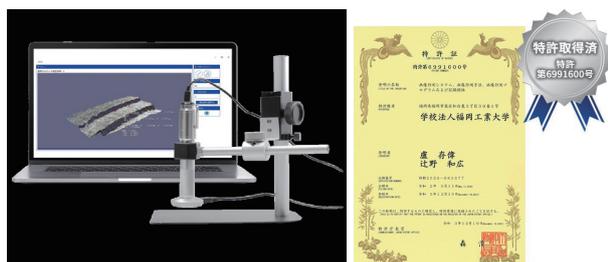


▶ 新技術の実用化・事業化に向けた相談の増加に対応するため、専門職員を配置し、企業等との間のコーディネートを行っています。

### 社会実装とクロスアポイントメントで、地元企業との産学連携がさらに進展

本学の特許を活用した工業製品の実用化や、本学・企業の双方で雇用されるクロスアポイントメント研究者の誕生など、本学が有している独自技術やDXに関するノウハウが産業界から高く評価されています。

#### ■ 地元企業による本学特許の実用化例



画像解析における画像計測システム

#### ■ 地元企業とのクロスアポイントメント契約の締結



成果報告会の模様

製品名	品質管理に特化した三次元計測アプリケーションPictSyzer3D
製造販売元	スリーアールソリューション株式会社 (福岡市博多区)
発明者	盧 存偉教授 / 辻野 和宏 研究員 (工学部電子情報工学科)

企業名	千代田計装株式会社 (福岡市早良区)
担当教員	藤岡 寛之教授 (情報工学部システムマネジメント学科)
他機関における主たる業務	ファシリティマネジメントの合理化、高効率化に係わるAI、並びにDX化事業における技術開発及び技術指導

## 地域の研究機関として、高度な研究インフラを相次ぎ導入。地域開放も積極化

福岡市東部地域における研究開発拠点として、最先端の測定・分析装置を計画的に導入するとともに、地域の研究機関や企業等の研究者にも積極的に開放しています。

### ■近年導入された高度研究インフラ（最先端の測定・分析装置）

■機器名：三次元光学プロファイラー

■導入年度：平成30年度

■用途

滑面、粗面、平面、傾斜面及び段差を含む広範囲な表面形状の測定



■機器名：電子線マイクロアナライザ（EPMA）

■導入年度：令和元年度

■用途

微小領域から広域まで固体試料の画像観察、定性・定量分析及び元素分布観察



■機器名：物性測定システム（PPMS）

■導入年度：令和2年度

■用途

低温、高磁場における材料・半導体等の電気、磁気特性の観察



■機器名：ベクトルネットワークアナライザ

■導入年度：令和4年度

■用途

高周波回路、レーザ、無線電力伝送、電磁波・高周波術並びに物理現象解明や材料特性の評価



## 優秀な若手研究者の支援制度を有する学術研究機関として認定

独立行政法人日本学術振興会（JSPS）において、制度化された「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業（特別研究員-PD）」への本学の登録決定がなされ、1名の採用を決定しました。

### ■特別研究員-PD支援制度の概要

#### 従来からのメリット

- ▶ 自由な発想のもとに主体的に研究を遂行
- ▶ 研究費の確保：総額450万円以下\*

※特別研究員-PDの科学研究費助成事業 特別研究員奨励賞（特別枠かつ研究機関3年の場合）

#### 機関雇用による新たなメリット

- ▶ 研究専念環境の更なる向上
- ▶ 特別研究員-PD等の資格を持ったまま安定した身分を確保
- ▶ 社会保障の充実 等

### 受入研究機関で雇用するための経費をセットでサポート

（令和5年度予定額）

雇用するPD1人あたり

基本給充当分として

若手研究者雇用支援金  
（特別研究員事業における研究奨励金相当額）

362,000円/月

受入研究機関への追加支援として

科学研究費助成事業  
特別研究員奨励賞（学術条件整備）

100万円/年

+間接経費 30%

- ▶ 優秀な若手研究者の「受入」から「雇用」による更なる研究現場の活性化

- ▶ 機関の責任と方針のもとで優秀な若手研究者の確保・育成が可能

（引用：日本学術振興会HP）

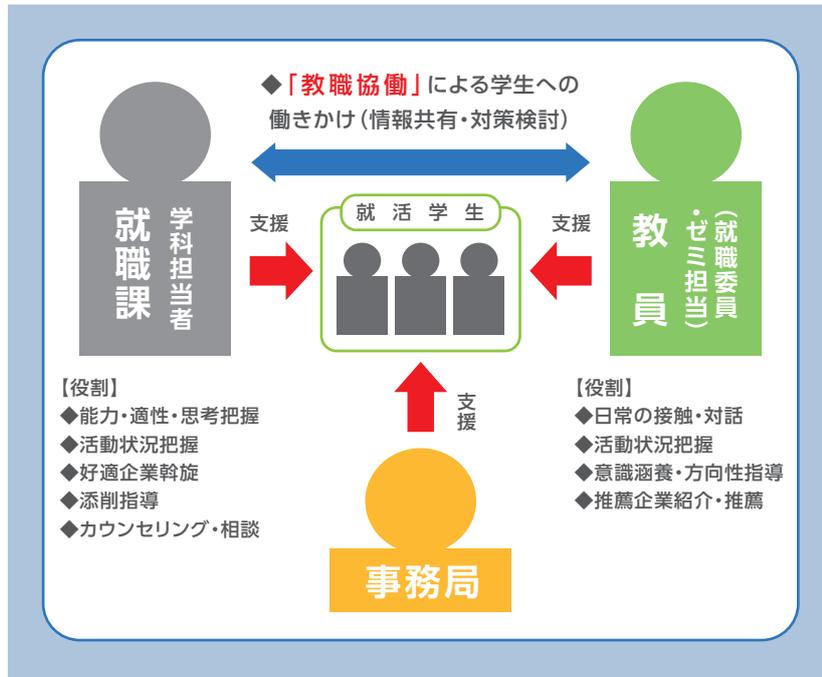
- ▶ この認定により、本学には、上記のとおり、PD（博士研究員）等の雇用経費が支援され、学術研究の発展を担う優秀な若手研究者が、より安心して自身の研究に専念できる研究環境が整いました。

# 3. 就職支援の取組

## 「学科別の個別指導」で、すべての学生にオーダーメイドの就活サポート

学科別に専属相談員を配置し、就職カウンセリング、職業適性・能力判断、企業分析、エントリーシート・履歴書指導、準備学習・面接指導等のサポートをそれぞれの学生に合わせて実施しています。

### ■「個」に重点を置いた全学的な就職支援体制



### ■学科別・個別指導体制



### ■面接指導・履歴書添削の様子



## 就活に関する様々な不安を解消。多彩な就活支援プログラムでサポート

上場大手企業志望学生向けのトップアップ講座の開催や就活交通費支援、保護者向けのガイダンス開催など多彩なプログラムで就活時の不安を解消しつつ、学生の夢の実現を後押ししています。

### ■学生向け支援講座



面接対策講座や業界研究セミナー等様々な就活対策講座を実施

### ■保護者向けガイダンス



大学3年生、大学院・短大1年生の保護者を対象に就活期の保護者サポートのあり方や就職事情などをガイダンス

### ■就活交通費支援

- 青地区:37,000円
- 緑地区:30,000円
- 黄地区:24,000円
- ピンク地区:7,000円
- オレンジ地区:20,000円



就職活動の際の交通費支援を実施

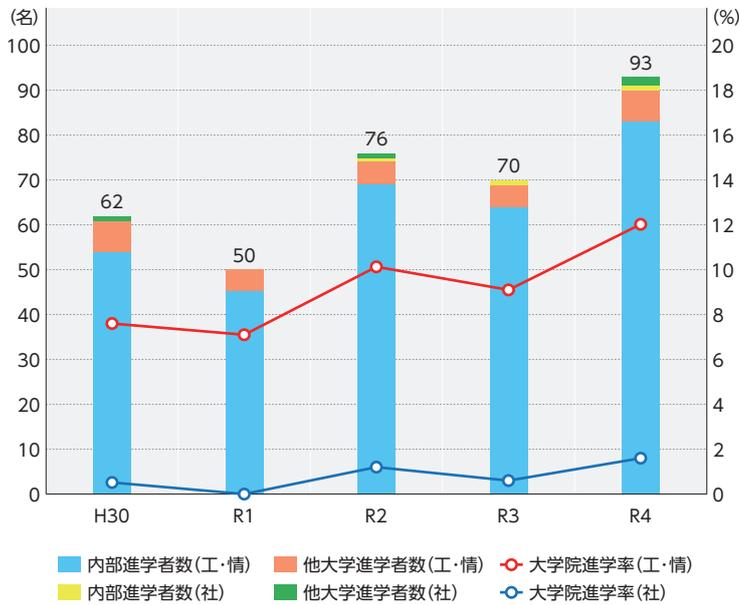
### ■プラスワンプロジェクト

趣旨	卒業時に就職できなかった学生に対し、学部4年間の就職支援の延長として1年間継続的に支援
取組内容	専任担当者を配置 ・キャリアプランの再支援 ・面接指導、ビジネスマナー教育 ・求人紹介

## キャリア教育等で自らの将来をデザインする力を育成。技術者・研究者を目指して大学院への進学を奨励

正課の授業で1年次から学生のキャリア形成意欲を醸成していますが、その中で大学院への進学も奨励しています。本学では、近年急速に本学大学院への進学率が高まっており、他大学院への進学も増加傾向にあります。

### ■ 大学院進学者数・進学率の推移



### ■ 主な大学院進学先

- ・ 福岡工業大学
- ・ 九州大学
- ・ 九州工業大学
- ・ 福岡教育大学
- ・ 北陸先端科学技術大学院大学
- ・ 奈良先端科学技術大学院大学
- ・ 長崎大学
- ・ 佐賀大学
- ・ 大分大学
- ・ 明治大学

▶ 大学院の取組の詳細については、P31を参照してください。

## 実社会を知る体験を重視。正課・正課外のインターンシップを積極化

単位認定を伴う正課と、正課外でインターンシップ等への積極的な参加を促しています。正課は課題解決等を通して就業に対する自らの意識を高めつつ、実践する力を身につけることを目的としています。正課外は就職活動の早期化・短期化に対応して企業等との接点を多く作ることが主目的です。

### ■ 正課「インターンシップI・II」 (仕事理解型・課題解決型インターンシップ)



(株)福岡情報ビジネスセンターでの最終プレゼン  
(学生2名参加)  
〈課題〉日報システムの訴求力強化、  
及びWebサイトのデータ分析

### ■ 正課外「インターンシップフェア」 (採用接続型等インターンシップ)



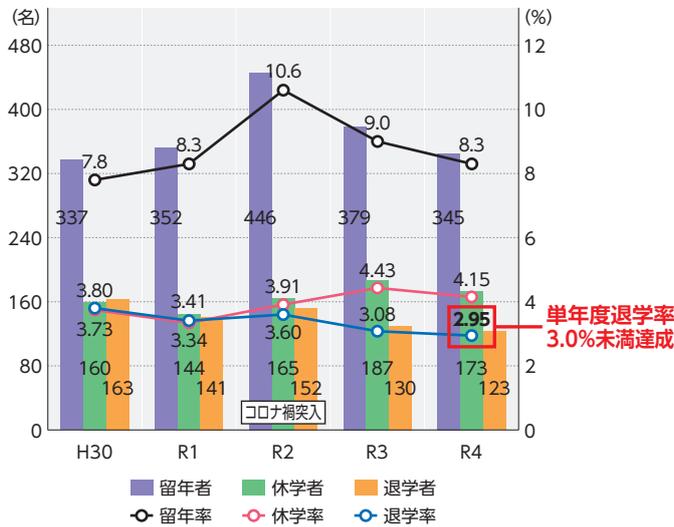
R4年6月11日・12日開催  
対象：大学3年生、院1年生、短大1年生  
(大学1・2年生も参加可)  
企業：120社(60社×2日)参加  
学生：1,253名参加

# 4. ラーニングサポートの取組

## 全学をあげた継続的な「学生ケア」を実施。脱落防止・ドロップアウト対策を実効化

学修意欲低下や目標喪失等からドロップアウトに繋がらないように、多様な修学支援を各学科と関係部署（教務課・学生相談室等）が連携して行っています。「学生ケア」の充実によって、留年者、退学者も減少傾向にあります。

### ■ 退学率の推移



### ■ 令和4年度の修学上の学生ケア実施状況\*

前期	第1弾	第2弾	第3弾	第4弾	第5弾
	4月	5月	6月	7月	9月～10月
ケア内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>履修指導</li> <li>履修相談窓口設置</li> <li>保護者との積極連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別面談</li> <li>FIT in サポート利用</li> <li>FIT-AIMへの入力指導</li> <li>保護者との積極連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学修習慣確立に向けた指導</li> <li>学科別勉強会開催</li> <li>保護者との積極連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期末試験に向けた学習時間確保</li> <li>FIT in サポートの積極活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション</li> <li>後期学習計画策定</li> <li>保護者との積極連携</li> </ul>
後期	第6弾	第7弾	第8弾	第9弾	第10弾
	10月	10月	11月	12月	1月
ケア内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>履修指導</li> <li>履修相談窓口設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別面談</li> <li>FIT in サポート利用</li> <li>FIT-AIMへの入力指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学修習慣確立に向けた指導</li> <li>学科別勉強会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期末試験に向けた学習時間確保</li> <li>FIT in サポートの積極活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>留年決定者への面談</li> <li>保護者との積極連携</li> </ul>

\*4年度中に延べ1,400名に対してケアを実施

▶ 学生ケアの実施にあたって、学科長、教務委員、クラス担任、学生相談室職員、保護者等と連携して組織的に対応しています。

## 実践型人材の育成を目指し「学習支援センター」を設置。学習効果を最大化

多様化する学生に対し、個別最適な関与・指導とスムーズな修学のための学習サポートを行っています。先輩が後輩へ勉強を教えるラーニングコミュニティとしても機能しています。

### ■ 学習支援センター



2名の教員（数学、物理、レポート作成）と約50人のLAをコーディネーターとして配置し、適切な支援を行っています。

### ■ FIT-inサポート



全学年・全学科を対象とした学習支援コーナーを設置。講義の疑問、学校生活についての悩みの相談などに先輩LA、教育スタッフが答えます。

### ■ スケジュールと支援の流れ



▶ LA: ラーニングアシスタント(学科の先輩)  
▶ E棟3Fに新設したラーニングcommonsにて各種サポートを実施しています。

# モノづくりプロジェクト活動が活発化。学生の主体的な創作活動を積極サポート

モノづくりセンターでは、学生のモノづくり意欲に対応し、4つの公募プロジェクトが新たに始動しました。20プロジェクトに176名が活動し、自由な発想に基づいてモノづくりに挑戦しています。

## ■進行中のモノづくりセンタープロジェクト

20プロジェクト 学生 **176名** が活動

- ソーラーカー
- ロボコン
- 4輪2輪メンテピット
- 手作りアクセサリ
- おとめが池の環境保全
- ロボットアーム
- ロボット相撲
- アマチュア無線体験
- 超電導デモ
- 衛星コン
- 二足歩行ロボット
- エアホッケーロボット
- グッズ製作
- 未来のICT
- 放電加工回路の作製
- レゴからくり

- 新規** ●創造的な研究室をDIY
- 新規** ●においロボットの作製
- 新規** ●EVフォーミュラカー
- 新規** ●制動性の高いドローンの開発

## ■活発なプロジェクト活動



2022年度「ミスミ学生ものづくり支援」プログラムに採択



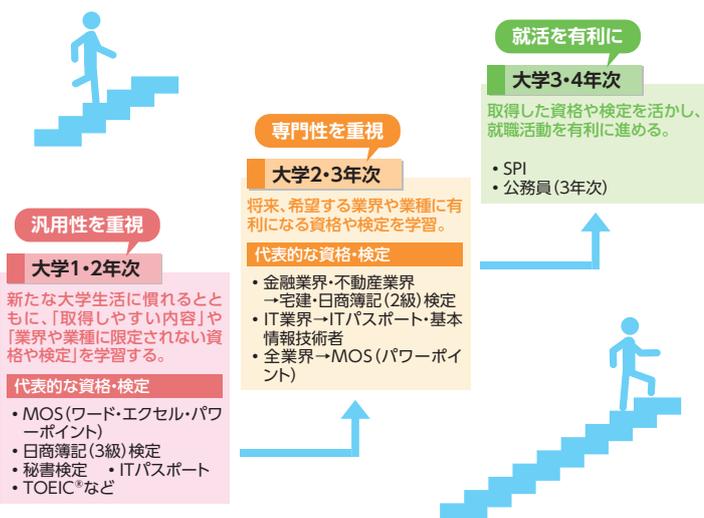
全日本ロボット相撲2022に出場

▶ 学生は、PDCAサイクルに沿って活動し、毎年その取組の改善・見直しを行っています。プロジェクトを通して、技術者としての実践力を身につけています。

# 学生は意欲的に高難易度資格取得にチャレンジ。学部学科と連携して積極サポート

学科独自の難関国家資格取得講座や、社会連携センターでの各資格取得講座を開講しています。学生の自己啓発やキャリア形成にむけた支援を積極化しています。

## ■全学年を通して、資格取得・検定・試験を積極サポート



## ■『第一級陸上無線技術士』に合格



前列左から) 栗山 麗音さん、石橋 樹さん、松井 敦朗さん、後列左から) 坂井 ひかるさん、愛智 裕太さん、田上 晴空さん (情報通信工学科)

## ■『第三種電気主任技術者』に合格



左から) 加納 侑弥さん、山地 敬太さん、福井 裕之さん、田中 和輝さん(電気工学科)

▶ 令和5年4月に「社会連携センター」を設置しました。学生の能力をさらに伸ばす資格取得支援や社会ニーズに沿った講座の開設を行う予定です。  
▶ 資格取得、検定・試験の合格実績の詳細は、P58「バックデータ集」を参照してください。

# 5. キャンパスライフサポートの取組

## 学修・キャンパスライフ・進路決定を一体的にワンストップサポート

学生課、教務課、大学院事務室、就職課を「学生サポートセンター」(E棟)に一体的に配置しています。学生の学修、学生生活、就職、大学院進学まで、親身なサポートを継続しています。

### ■学生サポートセンター(E棟)など学生生活をサポートする施設の充実



約50人の学生課、教務課、大学院事務室及び就職課スタッフが対応するサポートデスク・カウンター&commons (E棟2階)



就職活動の個別指導の様子 (E棟2階)



寛ぎ・コミュニケーションのためのデッキ (E棟2階学生広場)



コンビニ(セブンイレブン)を設置し充実した学生生活をサポート (B棟1階)



「デリシャス&ヘルシー」に配慮したカフェテリア(レストラン・カフェ) (C棟1階)



遊歩道&屋外カフェテラス (B棟)

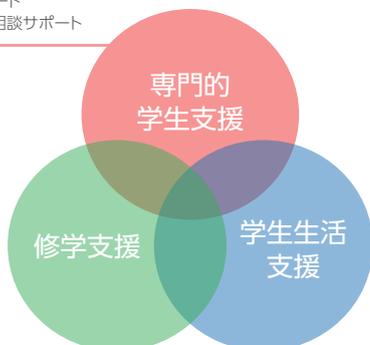
▶ 4年度は、A棟学生ホールの改修を行いました。キャンパス全域のラーニングcommons化、課外教育施設のリニューアルが完了し、快適性・利便性が格段に向上しました。

## 多様化・複雑化する学生の相談に専門カウンセラーが対応。「親身に」学生生活をサポート

多様化・複雑化する学生生活や学修上の悩み・不安に対して、専門カウンセラーと教職員が連携してサポートを行っています。また、入学時健康診断の結果等から、早期の問題把握・サポートにも努めています。

### ■学生生活サポートの内容(取組例)

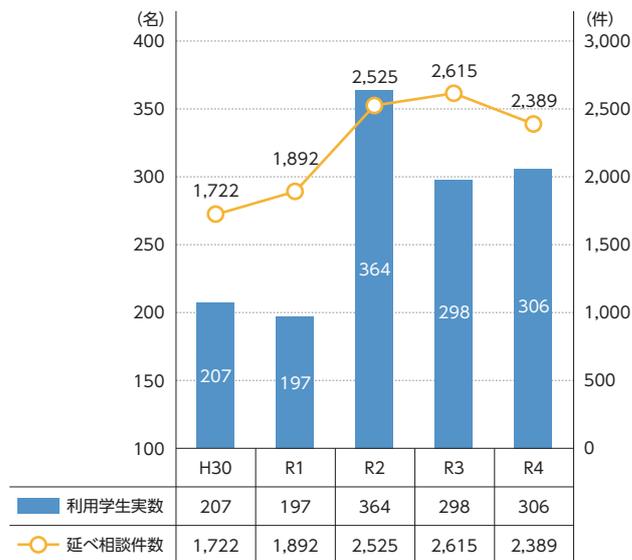
- 臨床心理士等専門的相談の体制
- 学生生活相談の体制
- 進路に関する相談(キャリアサポート)
- 健康管理サポート
- 保護者からの相談サポート



- クラス担任配置によるサポート
- ゼミ等での学習指導
- オフィスアワーの設定
- 学習相談コーナー開設
- 学生相互の学び(ピア・レビュー)

- 新入生全員面談の実施
- 新入生オリエンテーションの実施
- 履修・生活相談の随時対応
- 女子学生・留学生へのサポート
- 住居・アルバイトの紹介

### ■学生相談件数の推移(H30~R4)

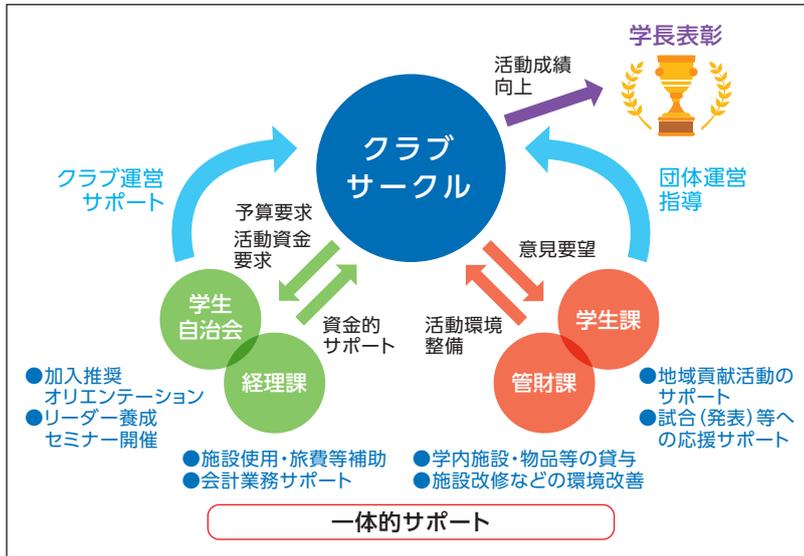


▶ 教職員対象の研修会等(学生相談室スタッフミーティング、新入生全員面談事前説明会、障がいのある学生サポート調整会議など)を行い、学生対応スキルの向上を図っています。

# 学生に寄り添い、一体的にクラブ・サークル活動の活性化をサポート

学術・文化・スポーツ活動、学生自治活動等の課外活動は、学生の成長・学修の重要な機会と考えています。諸活動の活性化、学生生活の充実にむけて、一体的なサポートを行っています。

## ■クラブ・サークル活性化の枠組み



## ■「FIT学生団体サミット2022」の様子

「大学における学生団体ってなに?」をテーマにサミットを開催



集合写真



グループワークの様子

- ▶ このほか、学生運営の組織にはFIT-join、FIT隊、FIT女子会、学生自治会、GSL学生メンバーなどがあります。
- ▶ 各クラブ・サークルの加入者数の詳細は、P62、学生表彰結果は、P39を参照してください。

# 学業・スポーツ・芸術活動優秀者、経済的困窮者等を育英・サポート

各種育英・奨学制度を設け(国の高等教育修学支援新制度の機関要件にも適合)、学業・特技優秀者のいっそうの精励や、経済的に修学が困難な学生の支援等を行っています。

## ■本学独自奨学支援制度の枠組み

<p><b>1</b></p> <p>入試成績の上位者に対し授業料を免除(全額もしくは半額)</p>	<p><b>2</b></p> <p>入学後の学業優秀者に対し授業料を半額免除</p>	<p><b>3</b></p> <p>スポーツ等の優秀者に対し授業料などを免除</p>
<p><b>4</b></p> <p>学生表彰制度(学術・文化・スポーツ・社会貢献・地域貢献などの分野で活躍した学生を、学長が表彰する制度)</p>	<p><b>5</b></p> <p>海外派遣プログラムの渡航費用を一部補助</p>	<p><b>6</b></p> <p>課外活動(クラブ、サークル)の活動費をサポート</p>
<p><b>7</b></p> <p>経済的に修学困難な学生に対し授業料を半額免除</p>	<p><b>8</b></p> <p>働きながら学ぶ学内ワークスタディ支援制度</p>	<p><b>9</b></p> <p>アルバイト(学内・学外)紹介</p>

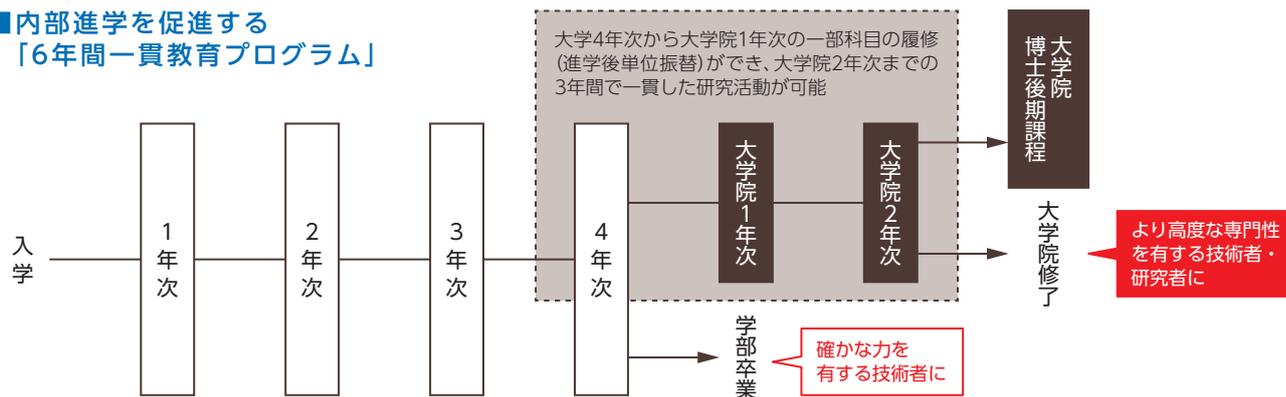
- ▶ このほか、経済的理由により学費納入が困難な場合、一定の範囲で柔軟に延納・分納を認めるなど、学生・ご父母に親身に寄り添う相談・支援体制を構築しています。

# 1. 大学院の取組

上場、大手・中堅企業への就職率(90.3%)、第一志望企業への就職決定率(88.0%)  
 がともに過年度最高。「優秀な技術者・高度専門職業人」として産業界から高評価

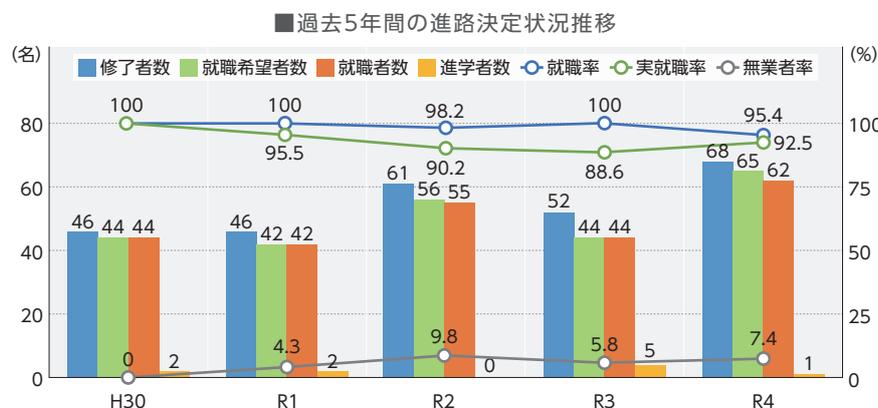
卓越した研究者(国等のプロジェクトに参画)のもとでの研究指導、国内外企業・研究所等のバックアップ、教職員一体でのキャリア教育の徹底等により、過年度最高の進路決定状況、学会表彰として結実。産業界からの期待の高まりとして評価しています。

## ■ 内部進学を促進する「6年間一貫教育プログラム」



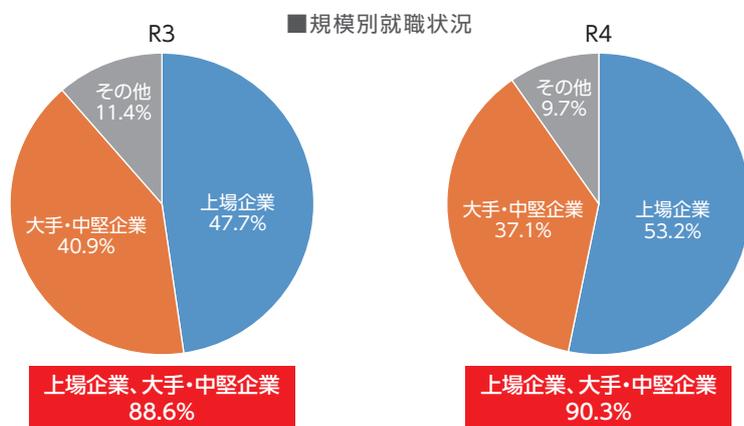
「6年間一貫教育プログラム」:学部の4年間+修士課程の2年間で高度な専門能力を持つ技術者・研究者を育成する教育課程

## ■ 大学院生の就職状況

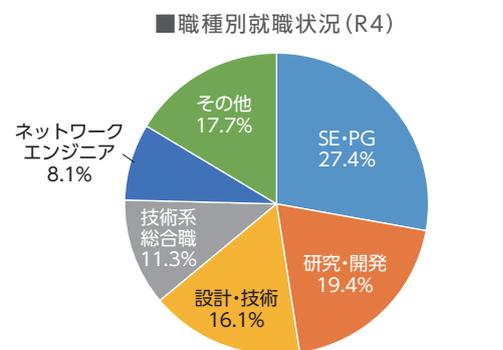


就職率 **95.4%**  
 実就職率 **92.5%**

修了者数 68名  
 就職希望者数 65名  
 就職者数 62名  
 進学者数 1名



上場企業、大手・中堅企業\*への就職率が過年度最高  
 (R4:90.3%、R3:88.6%、R2:89.1%)



・研究開発職の割合19.4%となり、2年連続して大幅に拡大(R3:11.4%、R2:1.3%)  
 ・第9次MPの職種(専門技術職(研究・開発職、設計・技術職、コンピューター関連職))別の占有率目標(80%以上)に対する実績71.0%

▶ \*「大手・中堅企業」:資本金3億円以上もしくは従業員300名以上の企業群

## 産業界との対話の機会を拡大、キャリア形成・就活サポートを高度化

左記プログラムの実施期間を通じ、大手企業就職支援講座(トップアップ講座20回開催)や国内トップ企業の役職者等による企業講話(12回開催)などを実施しました。

### ■ 大学院トップアップ講座の実績

令和4年度実績  
受講者21名の進路決定状況

就職率 **100%**

上場、大手・中堅企業への就職者数  
**20名 95.2%**

### ■ 企業講話の様様



東芝三菱電機産業システム(株)様の講話の様様 (R5.6月)

▶ 4年度の主な就職先一覧:(株)三井ハイテック、タカラバイオ(株)、(株)荏原製作所、(株)GSユアサ、NECネットエスアイ(株)、デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)、セイコーエプソン(株)等 <東証プライム市場上場>

## 「FIT大学院修学支援事業」で大学院進学や在学中の研究・学びをサポート

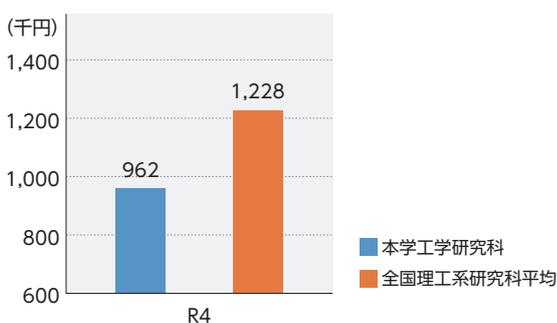
研究意欲旺盛な学生が、経済的な理由で大学院進学を断念することがないように、本学独自で様々な経済支援方策でサポートしています。

### ■ 独自修学支援制度の概要

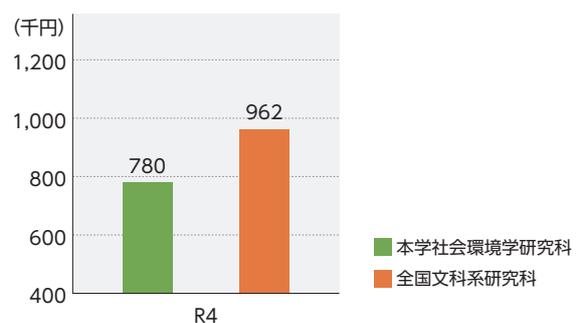
対象	採用人数	支援内容
学業特別奨学生制度	各学年9名	授業料の半額を補助
奨励金支給制度	各専攻1学年当たり2名	毎月80,000円を支給
学会出席旅費等補助制度	全員	学会参加に必要な費用のほぼ全額を補助

年間授業料が半額免除となる「学業特別奨学生制度」や毎月8万円の奨励金を支給する「奨学金支給制度」を設けています

### ■ 大学院(工学研究科)の学費の相対比較(入学金含む)



### ■ 大学院(社会環境学研究科)の学費の相対比較(入学金含む)



理工系研究科で全国平均を大きく下回る低学費施策で修学を支援しています。

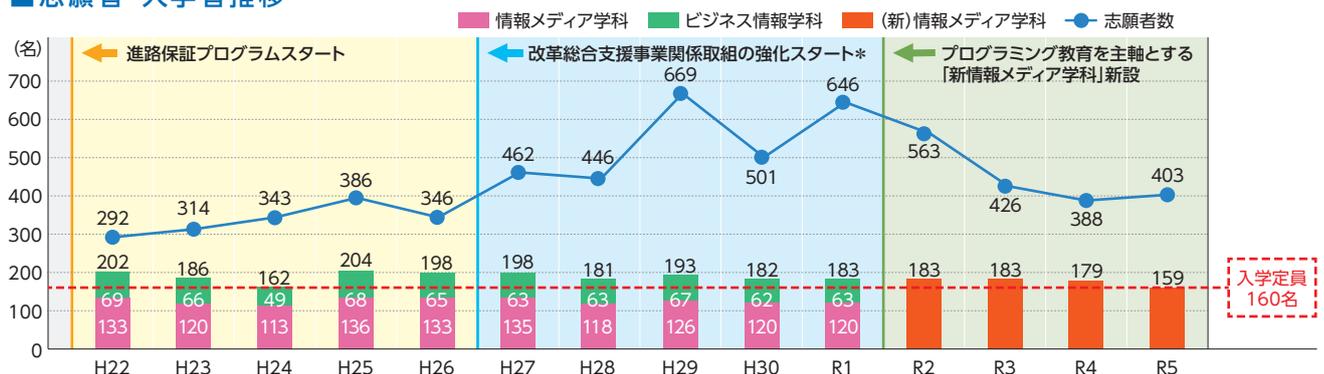
▶ 奨学制度や低学費施策の他、国内外で開催される学会へ参加するための旅費や宿泊費などを支給する「学会出席旅費等補助制度」でサポートしています。

## 2. 短期大学部の取組

# 九州唯一の「ICT専門短大」として、入学志願者は高水準を維持。進路決定率も好成績

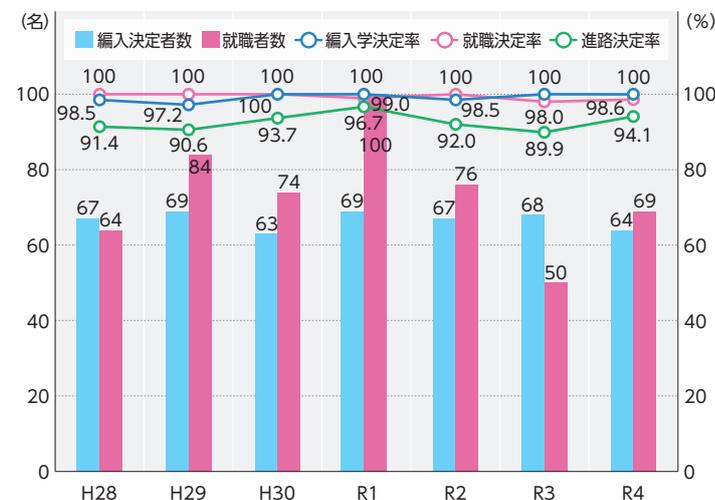
学生一人ひとりへの丁寧な教育や、「進路保証プログラム」に沿った編入学・就職支援の充実が、地域や企業等から高く評価されています。入学志願者は高水準を維持、進路決定率も94.1%の好成績となりました。

### ■ 志願者・入学者推移



\*私立大学等改革総合支援事業タイプ1「教育の質向上」に8年連続(H27～R4)で採択

### ■ 進路決定状況推移



編入学決定率 100%  
就職決定率 98.6%  
進路決定率 94.1%

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
卒業者数	151	171	159	181	162	139	153
編入決定者数	67	69	63	69	67	68	64
就職者数	64	84	74	100	76	50	69
進路決定者数	138	155	149	175	149	125	144
編入学決定率	98.5%	97.2%	100%	100%	98.5%	100%	100%
就職決定率	100%	100%	100%	99.0%	100%	98.0%	98.6%
進路決定率	91.4%	90.6%	93.7%	96.7%	92.0%	89.9%	94.1%

### ■ 短期大学部での2年間の学習体系



▶ 学生自身の進路設計にもとづき、1年生後期から「情報工学コース」と「メディアコミュニケーションコース」に分かれて、専門知識と課題解決能力を修得します。

## 編入支援プログラムに沿って、国公立大学等への編入学を強力サポート

学生の約4割が4年制大学への編入を目指します。志望大学に対応した支援プログラムを多数実施しています。大学別試験対策講座や面接指導の徹底が成果として結実しました。

### ■ 編入教育プログラム

英語、数学、物理、小論文などの集中課外講座、個別添削指導、外部試験（TOEICなど）活用など

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	編入支援
国公立大学 (理系・文系) プログラム	正規科目 先取り履修	基礎講座 (物理・数学・英語)	志望校別 編入対策講座 (物理・数学・専門・英語・TOEIC)	弱点強化講座 (編入先別)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「進路設計」科目での編入指導</li> <li>●編入説明会</li> <li>●編入チューターによるサポート</li> <li>●志望大学別対策講座</li> <li>●面接指導</li> <li>●口頭質問対策</li> <li>●TOEIC®対策</li> <li>●科目等履修生制度</li> <li>●編入学試験のための交通費支援</li> </ul>
福岡工業大学 プログラム	基礎講座	工学部 科目等履修生	情報工学部・社会環境学部 科目等履修生	編入対策講座 (学科毎)	
私立大学 (理系・文系) プログラム	基礎講座	志望校 選択ガイダンス	直前対策講座 (志望校別)	直前対策講座 (学科毎)	

▶ 編入合格学校実績や進学先の詳細は、P51「バックデータ集」を参照してください。

## 就職教育プログラムに沿って、進路決定を強力サポート

学生が希望職種の知識や技術を身につけられるように、体系的なキャリア教育を実施しています。「学生就職カルテ」を利用した細やかな個別指導が、高い就職実績につながりました。

### ■ 就職教育プログラム

希望職種別キャリア教育、ゼミ単位の特別支援、就職に有用な資格取得支援など

#### ● 共通プログラム

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
業界研究		能力適性検査(SPI)対策	
インターンシップ	履歴書添削・面接の指導	面接特訓	
		学内合同企業説明会	
		学内単独企業説明会・選考会	

#### ● キャリアアッププログラム 通常の授業に検定試験の内容を組み入れるなど充実したサポートを実施

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
専門基礎 修得	メディア系 CG-ARTS検定 ベーシック 取得	情報工学系 ITパスポート 取得	基本情報技術者 CG-ARTS検定 エキスパート 取得

▶ 就職先の詳細は、P54「バックデータ集」を参照してください。

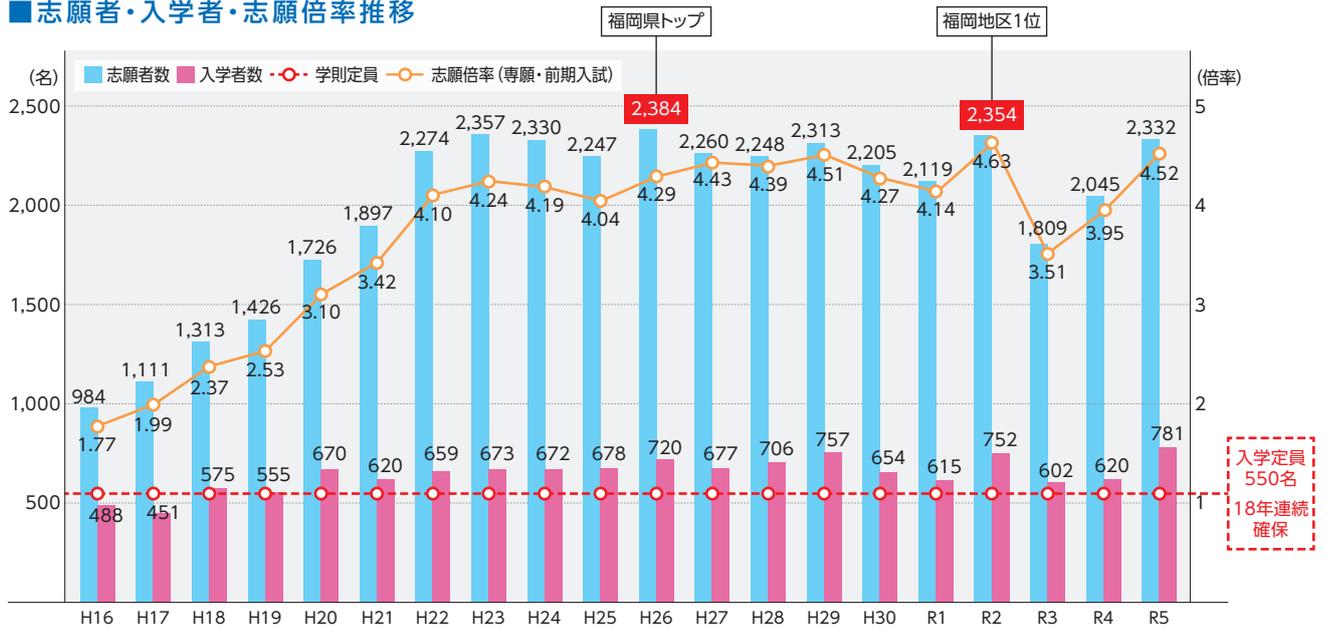
就職支援
●カリキュラムを通じた進路設計・資格取得支援
●保護者ガイダンスの実施
●業界研究会・学内合同説明会の開催
●インターンシップ支援
●OB・OG就職プチカフェの開催
●個別指導(面接指導・履歴書添削等)の徹底(対面・WEB)
●ゼミ別学生面談会、面接特訓会での指導
●短期大学部単独企業選考会の開催
●就職活動の旅費を補助
●進路未決定者に対し卒業後も支援

# 3. 附属城東高校の取組

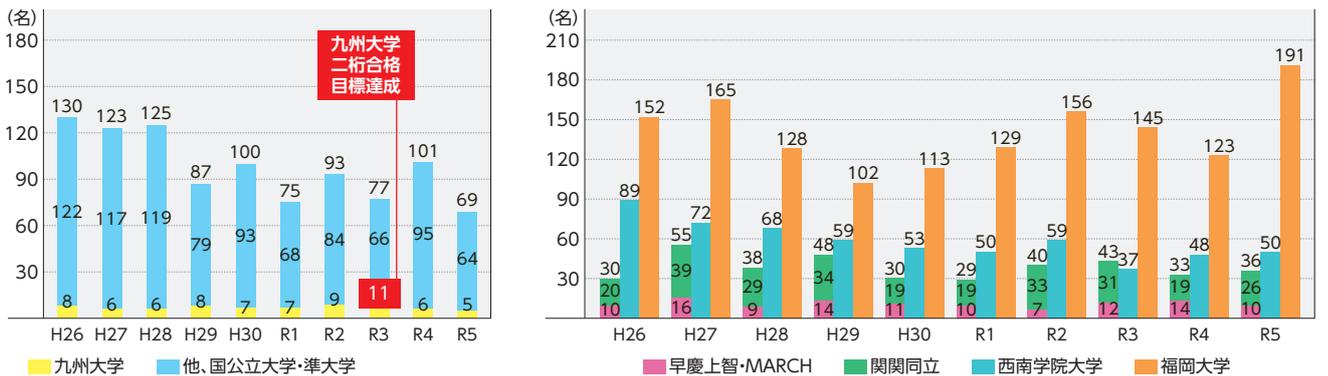
入学志願者数・志願倍率は「県下トップクラス」で推移、入学者も継続的に安定確保。進学・就職状況も良好な水準を維持しています。

入学志願者は、改革元年（平成12年）以降着実に増加し高水準を維持しています。5年度入試も志願者数2,332名・志願倍率4.52倍（専願・前期入試）と高水準でした。コロナ禍や新入試制度導入等の変化対応が求められる状況下で、国公立大・難関私大等の進学実績や就職実績は良好な水準を維持しています。

## ■ 志願者・入学者・志願倍率推移



## ■ 合格者推移



## ■ 就職状況推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
就職対象者	50	72	84	68	77	89	103	70	67	77
就職希望者	50	72	84	68	77	89	103	70	67	77
就職希望率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
就職者	50	72	84	68	77	89	103	70	67	77
就職率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

就職対象者：卒業者数－進学者数

▶ 国公立大学にⅡ類（普通科一般）クラスから3名（Ⅱ類特別選抜からは13名）、工業科クラスから6名が合格しています。就職は、「学校紹介内定率10年連続100%」を達成しました。

## ICTを積極的に活用。進学・就職成績向上対策、キャリア教育をいっそう充実・積極化

進学・就職成績向上対策として、早朝・3年生・放課後学習会、難関大特別学習会、資格取得支援、模擬面接等に加え、校内予備校開催、演習課題の充実等を拡充しました。また、生徒が自分の将来を主体的に考える機会として、キャリア教育、環境教育、ボランティア体験、海外研修等、実体験教育も充実・積極化しています。

### ■ 進学・就職対策、キャリア教育の様子 (対面・オンライン併用)



総合的な探求の時間



i-STEM 高大連携授業(研究室ツアーの様子)



高校生模擬企業グランプリ「リアビズ」  
「アミーみよズ」が銀賞受賞



第一種電気工事士37名合格、合格率97% 全国4位



ニュージーランド語学プログラム(2週間、3か月)



English Challenge (Eチャレ)  
福岡工業大学国際連携室と連携

▶ オンラインでの授業動画配信・添削指導や、デジタル教材「スタディサプリ」を利用した、対面・オンラインでのハイブリッド授業・課題配信など、ICT活用を積極化しています。

## 生徒の「主体的学び」を重視。課外での生徒会活動・地域貢献活動が活発化

生徒会活動や地域貢献活動は、「人間性・社会性を育む重要な教育の機会」と考えています。生徒は協働し、目標達成や課題解決に向けて主体的・実践的に取り組み、その活動はいっそう活発化しています。

### ■ 活発な生徒会活動・部活動の様子



生徒会環境部 第25回福岡県環境教育学会年会



第3回全国AIアスリート選手権大会  
DQ(データクエスト)部門全国3位、  
RQ(ロボクエスト)部門企業賞



高校生ロボット相撲全国大会2022  
ラジコン型部門 準優勝、  
自立型部門 経済産業大臣賞



女子バレーボール部 春の高校バレー全国大会出場



ダンス部 MISS DANCE DRILL TEAM  
INTERNATIONAL IN USA 2023  
HIPHOP女子部門Small編成2位



科学部 サイエンスキャッスル九州大会2022  
流星班 最優秀賞、アマモ班 優秀賞

# 1. キャンパスの概要

キャンパス全域の環境整備が完了。教育・研究・社会貢献の諸活動がいっそう活発化しています。

4年度をもって、20余年にわたるキャンパス整備が完了し、「学修者本位の教育拠点」にむけて、AI型授業拡大・ICT高機能化・研究高度化・学生サービス機能向上等、教育・研究環境高度化が進展しました。また、文化・スポーツイベント、地域交流等の諸活動も活発化しています。

## ■ 学園全景



## ■ 主な校舎・施設等



A棟



B棟



C棟



D棟



E棟



F棟



α棟



FITアリーナ



FITホール



おとめが池



附属城東高校全景



附属城東高校体育館



坦心寮



コスモス寮



塩浜総合グラウンド

## ラーニングサポート施設が充実。「主体的な学び」を育む学習環境が高度化

学園全体の環境整備を「アクティブラーニング」をコンセプトに総合しました。学校改革（主体的な学び、学びの質向上、教育指導力向上、教育DX・ICT教育高度化等）の推進力が高まっています。

### ■直近5年間に整備した主な施設



城東高校1号館外観



A棟学生ホール



城東高校人工芝グラウンド・体育館



DXスタジオ(本部棟8階)

### ■キャンパスリニューアルが私学関係広報誌や地域情報誌の表紙に採用



・月報私学2023.2月号  
(日本私立学校振興・共済事業団)



・WAJICO2023春号  
(福岡市東区・コミセンわじろ)

▶ 城東高校の施設・設備整備が完工しました。新校舎・新体育館、全面人工芝グラウンドなど、アクティブラーニング、スポーツ・コミュニケーション機能が充実しました。

## キャンパスライフサポート施設が充実。文化・スポーツ・地域交流が活発化

文化・スポーツ・地域交流施設としてアリーナ、ホール、スタジアム、セミナーハウス等を、大学生活サポート施設としてウエストコート、相撲場、BBQ施設等を設置しています。併せて地域社会に貢献する機能も充実させています。



FITアリーナ



FITホール



FITスタジアム



FITセミナーハウス



FIT Link(図書館)



エクステンションセンター



モノづくりセンター



音とモノづくりの歴史資料館



FITアリーナWESTコート



相撲場



FIT BBQ



FIT A.store(A棟売店)  
(4年度改修)

〈学会表彰〉令和4年度卒業証書・学位記授与者

■大学院

QAFZEZI ERMIONI (工学研究科 博士後期課程 知能情報システム工学専攻、アルバニア)

2020.2 EIDWT-2020 Best Paper Award

2022.7 IMIS-2022 Best Paper Award

小野 彩華 (工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、筑紫高校)

電子情報通信学会 インターネットアーキテクチャ研究会  
学生研究奨励賞

中島 大吾 (工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、下関工科高校)

ICIC2022 Best Presentation Award

西田 拓翔 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、北筑高校)

一般社団法人日本鉄鋼協会 第184回秋季講演大会  
学生ポスターセッション優秀賞

中島 裕二 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、常盤高校)

2021年度物理化学インターカレッジセミナー兼  
日本油化学会 界面科学部会 九州地区講演会 優秀口頭発表賞  
The 4th ICMRI: Best Poster Award-Third Place  
ICNM2022: Best Poster Presentation Award

陣内 楓 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、修猷館高校)

日本機械学会 九州支部 第75期講演会 若手優秀講演  
フェロー賞  
日本機械学会 三浦賞

小林 正人 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、島原工業高校)

日本金属学会 第171回秋期講演大会 優秀ポスター賞

末吉 康嗣 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、東海大付属福岡高校)

精密工学会 2022年度九州支部・中国四国支部  
久米米地方講演会 ベストプレゼンテーション賞

谷石 涼輔 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、北九州市立高校)

計測自動制御学会 SICE優秀学生賞

井手 健太郎 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、福岡舞鶴高校)

電気・情報関係学会 九州支部連合大会 優秀論文発表賞B賞  
九州パワーアカデミー 産学連携フェスタ 最優秀グループ賞

加納 侑弥 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、小倉高校)

ICEE 2022 Best Poster AWARD  
電気・情報関係学会 九州支部連合大会 優秀論文発表賞B賞  
電気設備学会 学生研究発表会 準優秀賞

酒井 秀哉 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、長崎総合科学大学附属高校)

電気学会 九州支部 支部長賞  
低温工学・超電導学会 九州・西日本支部 支部奨励賞

田中 祥貴 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、筑紫台高校)

低温工学・超電導学会 九州・西日本支部 支部奨励賞

遠藤 繁之 (工学研究科 修士課程 情報通信工学専攻、嘉穂総合高校)

FIT2021 学生奨励賞

貞清 正真 (工学研究科 修士課程 情報システム工学専攻、豊浦高校)

日本生体医工学会 2022年日本生体医工学会  
九州支部学術講演会 研究奨励賞  
日本機械学会 第34回バイオエンジニアリング講演会  
Outstanding Student poster Presentation賞  
日本生体医工学会 2023年日本生体医工学会  
九州支部学術講演会 研究奨励賞

■大学

三好 優衣 (工学部 電子情報工学科、香椎高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞  
電子情報通信学会 九州支部 学生講演会  
学生会講演奨励賞

松谷 尚音 (工学部 生命環境化学科、ひびき高校)

表面技術協会 九州支部 優秀学生賞

篠原 成 (工学部 生命環境化学科、宮崎北高校)

日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部長賞

庄司 綾乃 (工学部 生命環境化学科、益田高校)

日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部長賞  
化学工学会 学生発表会 優秀賞

永露 将 (工学部 生命環境化学科、福岡工業大学附属城東高校)

資源・素材学会  
Outstanding Student Award, Kyushu MMIJ

鶴嶋 真紅 (工学部 生命環境化学科、人吉高校)

若野 広幸 (工学部 生命環境化学科、唐津西高校)  
物理化学インターカレッジセミナー兼日本油化学会  
界面科学部会 九州地区講演会 優秀ポスター発表賞

原田 元気 (工学部 知能機械工学科、福岡工業高校)

日本機械学会 畠山賞

藤村 輝 (工学部 知能機械工学科、修猷館高校)

計測自動制御学会 SICE優秀学生賞

小林 柊斗 (工学部 電気工学科、福岡工業大学附属城東高校)

電気学会 九州支部長賞

関本 一輝 (情報工学部 情報工学科、星琳高校)

犬塚 陽菜 (情報工学部 情報通信工学科、福岡西陵高校)  
電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

栗谷 南帆 (情報工学部 情報通信工学科、中村学園女子高校)

日本バーチャリアリティ学会 テレマージョン技術研究委  
員会 テレマージョン技術研究発表賞

佐藤 海斗 (情報工学部 情報通信工学科、別府翔青高校)

電気・情報関係学会 九州支部連合大会  
IEEE福岡支部 発表奨励賞  
International Session on Electromagnetic  
Waves and Antennas

池田 昂 (情報工学部 情報システム工学科、鞍手高校)

諫山 紫苑 (情報工学部 システムマネジメント学科、福岡工業高校)  
電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

竹田 愛佳(情報工学部 システムマネジメント学科、香椎高校)  
日本経営工学会 優秀学生賞

本多 夏音(情報工学部 システムマネジメント学科、福岡中央高校)  
浦本 匠(情報工学部 システムマネジメント学科、第一高校(熊本))  
日本バーチャルリアリティ学会 サイバースペースと仮想都市  
研究会 第25回シンポジウム 優秀発表賞(共著)

### ■短期大学部

田代 東都(情報メディア学科、東筑高校)  
CG-ARTS協会 CG-ARTS協会賞

## 〈卒業時学業成績優秀者〉

### ■大学

牧 海成(工学部 電子情報工学科、長崎北高校)

原田 元気(工学部 知能機械工学科、福岡工業高校)

関本 一輝(情報工学部 情報工学科、星琳高校)

川角 尚也(情報工学部 情報システム工学科、三刀屋高校)

城 来香(社会環境学部 社会環境学科、古賀竟成館高校)

庄司 綾乃(工学部 生命環境化学科、益田高校)

大塚 麻由(工学部 電気工学科、育徳館高校)

栗谷 南帆(情報工学部 情報通信工学科、中村学園女子高校)

下江 博文(情報工学部 システムマネジメント学科、新宮高校)

### ■短期大学部

山根 美(情報メディア学科、戸畑高校)

麻生 三月(情報メディア学科、城東高校)

## 〈学生表彰〉

### ■個人表彰(下期)

中島 大吾(工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、  
下関工科大学)  
16th International Conference on Innovative Computing,  
Information and control Best Presentation Award賞

西田 拓翔(工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、北筑高校)  
一般社団法人日本鉄鋼協会 第184回秋季講演大会  
学生ポスターセッション 優秀賞

酒井 秀哉(工学研究科 修士課程 電気工学専攻、  
長崎総合科学大学附属高校)  
2022年度低温工学・超電導学会 九州西日本支部  
支部奨励賞

田中 祥貴(工学研究科 修士課程 電気工学専攻、筑紫台高校)  
2022年度低温工学・超電導学会 九州西日本支部  
支部奨励賞

藤井 美穂(工学研究科 修士課程 システムマネジメント専攻、  
宇美商業高校)

本多 夏音(情報工学部 システムマネジメント学科、福岡中央高校)  
浦本 匠(情報工学部 システムマネジメント学科、第一高校(熊本))  
日本バーチャルリアリティ学会CS研究会  
第25回シンポジウム 優秀発表賞  
画像関連学会連合会第8回秋季大会 優秀ポスター賞

三好 優衣(工学部 電子情報工学科、香椎高校)  
2022年度 第30回電子情報通信学会  
九州支部学生講演会 学生講演奨励賞

栗谷 南帆(情報工学部 情報通信工学科、中村学園女子高校)  
日本バーチャルリアリティ学会  
2022年度テレマージョン技術研究会  
テレマージョン技術研究発表賞

千々和 真美佳(情報工学部 情報システム工学科、自由ヶ丘高校)  
宮 直希(情報工学部 情報システム工学科、戸畑工業高校)  
日本産業技術教育学会  
第17回発明・工夫作品コンテスト学会長賞

羽田野 真尋(社会環境学部 社会環境学科、三重総合高校)  
第35回九州学生女子柔道体重別選手権大会 78kg級 2位

藏森 歩(工学部 生命環境化学科、八幡南高校)  
今西 秀太(工学部 生命環境化学科、東福岡高校)  
ニセ電話詐欺の被害防止に貢献



学生表彰(下期)表彰式

### ■団体表彰(下期)

ラグビー部  
令和4年度九州学生ラグビーリーグ優勝

吹奏楽団  
第70回全日本吹奏楽コンクール 大学の部 銀賞  
第16回福岡県アンサンブルコンテスト 大学の部 金賞  
第48回九州アンサンブルコンテスト 大学の部 金賞

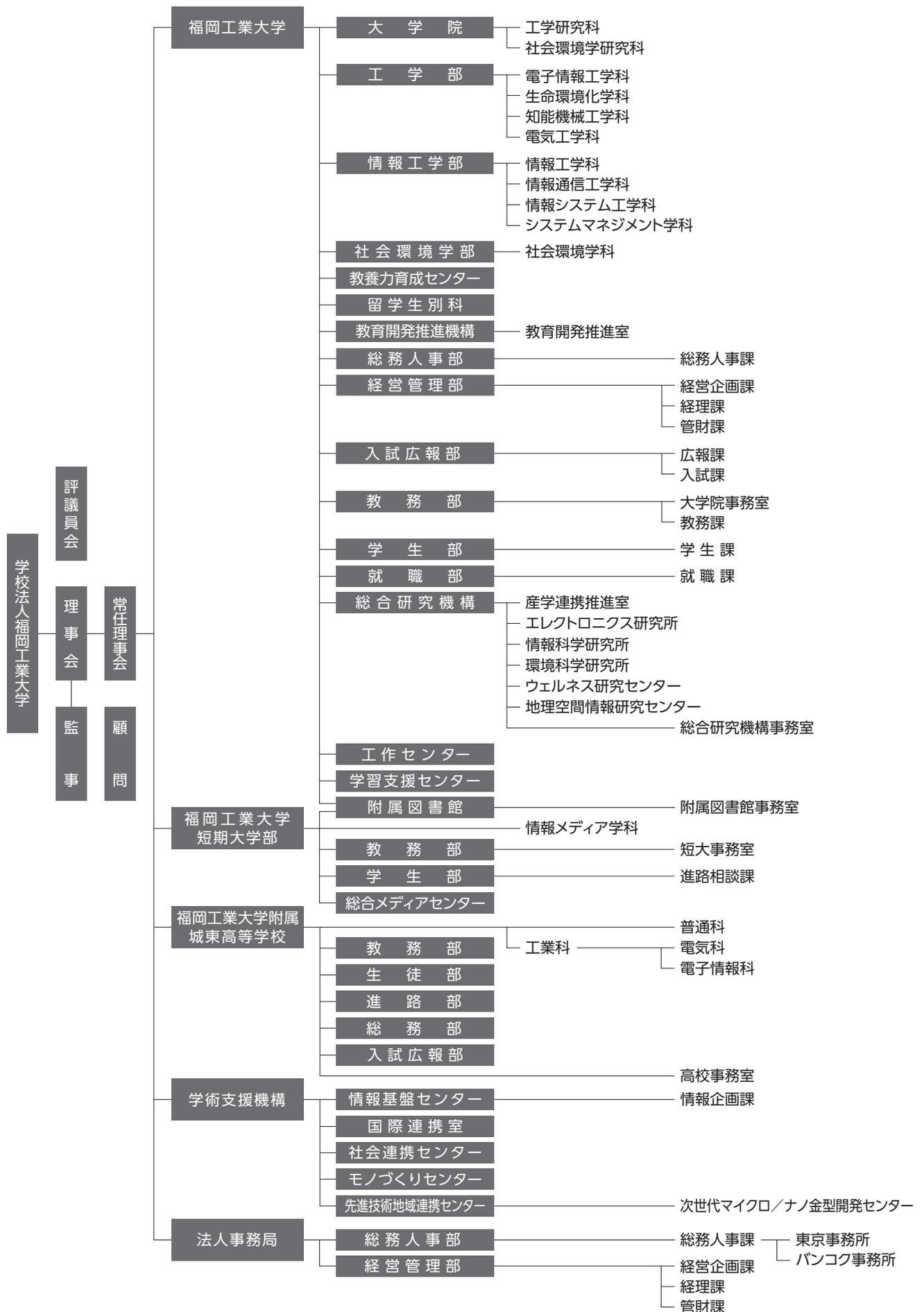
軟式野球部  
令和4年度九州学生軟式野球連盟秋季リーグ大会 優勝



ラグビー部



吹奏楽団



# 役員等の状況 令和5年4月1日現在

## ■役員一覧

①理事[定数9～13、実数11(1号2名、2号1名、3号8名)]

役職等名	区分※	氏名	常勤	現職・前職名
理事(理事長)	3号	大谷 忠彦	○	理事長
理事(常務理事)	3号	山下 剛	○	常務理事
理事	1号	村山 理一	○	福岡工業大学・同短期大学部学長
理事	1号	佐伯 道彦	○	附属城東高等学校長
理事	3号	川口 敏弘	○	経営管理部長
理事	3号	三澤 礼一郎	○	法人事務局長
理事	2号	小幡 修	-	(株)福岡銀行 行友
理事	3号	川原 正孝	-	株式会社ふくや 代表取締役会長
理事	3号	森 紀久雄	-	株式会社ユーコー 相談役兼監査役
理事	3号	谷地 明弘	-	学千葉敬愛学園 常務理事
理事	3号	和志武 三樹男	-	那珂川市春日那珂川水道企業団 代表監査委員

②監事[定数2～3、実数2]

役職等名	区分※	氏名	常勤	現職・前職名
監事	-	松本 友行	-	元 福岡市総合図書館 館長
監事	-	森川 康朗	-	(株)福岡銀行 顧問

③評議員[定数19～27、実数25(1号4名、2号3名、3号3名、4号15名)]

役職等名	区分※	氏名	現職・前職名
評議員	1号	村山 理一	福岡工業大学・同短期大学部学長
評議員	1号	佐伯 道彦	附属城東高等学校長
評議員	1号	倪 宝栄	福岡工業大学 教授
評議員	1号	前田 洋	福岡工業大学 教授
評議員	2号	田中 秀司	元 福岡工業大学 教授
評議員	2号	中野 武志	(株)電子商事 代表取締役
評議員	2号	本行 義洋	学生部兼就職部事務部長
評議員	3号	伊藤 昭彦	(株)福岡放送
評議員	3号	伊東 鐘賛	創生会グループ 代表
評議員	3号	松本 香奈美	福岡工業大学 教育後援会
評議員(理事長)	4号	大谷 忠彦	理事長
評議員(常務理事)	4号	山下 剛	常務理事
評議員	4号	川口 敏弘	経営管理部長
評議員	4号	三澤 礼一郎	法人事務局長
評議員	4号	小幡 修	(株)福岡銀行 行友
評議員	4号	川原 正孝	(株)ふくや 代表取締役会長
評議員	4号	森 紀久雄	(株)ユーコー 相談役兼監査役
評議員	4号	谷地 明弘	学千葉敬愛学園 常務理事
評議員	4号	和志武 三樹男	那珂川市春日那珂川水道企業団 代表監査委員
評議員	4号	阿山 光利	元 福岡工業大学 教授
評議員	4号	池田 悦雄	福岡工業大学 東京事務所長
評議員	4号	内田 一徳	元 福岡工業大学 教授
評議員	4号	梶原 寿了	福岡工業大学 教授
評議員	4号	高田 洋征	前澤工業(株)九州支店 顧問
評議員	4号	藤原 満	プロ野球解説者

※1号理事：学長・校長、同2号：評議員、同3号：学識経験者  
1号評議員：学長・校長、同2号：卒業生、同3号：父母、同4号：学識経験者

## ■役員賠償責任保険制度の加入状況

私立学校法改正(令和2年4月1日施行)に伴い、第406回理事会決議(令和4年2月25日開催)により、令和4年4月1日から役員賠償責任保険に加入

団体契約者	日本私立大学協会
被保険者	理事・監事・評議員
補償内容	①役員に関する補償(法律上の損害賠償金、訴訟費用等) ②法人に関する補償(内部調査費用、第三委員会設置・活動費用等) ※但し、侵害行為を行った本人に発生する損害賠償責任は補償の対象外

## ■大学 役職者一覧(学長・副学長・部科長等)

役職名	氏名
学長	村山 理一
副学長	倪 宝栄
副学長	前田 洋
工学研究科長	江口 啓
社会環境学研究科長	鄭 雨宗
工学部長	松尾 敬二
情報工学部長	藤岡 寛之
社会環境学部長	尹 諒重
教養力育成センター長	徳永 光展
電子情報工学科長	前田 文彦
生命環境化学科長	松山 清
知能機械工学科長	江頭 竜
電気工学科長	井上 昌睦
情報工学科長	正代 隆義
情報通信工学科長	藤崎 清孝
情報システム工学科長	吉田 耕一
システムマネジメント学科長	田嶋 拓也
社会環境学科長	木下 健
教務部長	山澤 一誠
学生部長	渡邊 智明
就職部長	渡邊 智明
入試広報部長	大山 和宏
附属図書館長	木室 義彦
教育開発推進機構長	前田 洋(兼任)
総合研究機構長	倪 宝栄(兼任)
エレクトロニクス研究所長	三田 肇
情報科学研究所長	宋 宇
環境科学研究所長	乾 隆帝
産学連携推進室長	倪 宝栄(兼任)
学術支援機構長	倪 宝栄(兼任)
情報基盤センター長	松木 裕二
社会連携センター長	松木 裕二
モノづくりセンター長	数仲 馬恋典

## ■短期大学部 役職者一覧(学長・部長)

役職名	氏名
学長	村山 理一
教務部長	藤井 厚紀
学生部長	平岡 茂夫

## ■附属城東高校 役職者一覧(校長・副校長・教頭)

役職名	氏名
校長	佐伯 道彦
副校長	迫田 勝之
教頭	松尾 智晴
教頭	村上 文司
教頭	野本 博文

はじめに

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的な取組状況

各設置校の状況

フアンリティ

バックデータ集

# 設置学部・学科／教養力育成センター／専攻概要

設置校	学部・研究科名	学科名	設置コース/学習領域[教養力育成センター]	教育研究上の目的/カリキュラム編成の基本方針[教養力育成センター]
大学	工学部	電子情報工学科		現代社会において、科学技術者は、科学技術への貢献はもとより、社会人として自立し、広い視野に立ち柔軟な発想を行えることが求められている。本学科は、電子技術と情報技術が融合した技術分野において、このような要請に応えることができる実践型の人材の養成を目的とする。
		生命環境化学学科	生命環境化学基盤コース 生命環境化学アドバンスコース	地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物学的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した物質系・生物系技術者の人材の養成を目的とする。
		知能機械工学科		情報技術と生産技術を融合した知能機械が主流となった機械分野において、基礎及び専門技術に関する知識と応用力を身につけるとともに、それらを駆使したデザイン能力とコミュニケーション能力を有し、技術者倫理をもってグローバルな活躍ができる人材の養成を目的とする。
		電気工学科		日々進歩する電気・電子・情報工学の技術を理解し、習得するための素養と専門知識及び技術を身につけ、国際感覚と倫理観を有するとともに、地域産業のニーズも理解し、地域的また国際的連携の両方を意識して活躍できるグローバルな技術人材の養成を目的とする。
	情報工学部	情報工学科		コンピュータのソフトウェア・ハードウェアの基礎及び応用を教授研究し、プログラミングに熟習させるとともに、インターネットや人工知能、知能ロボット、自然言語処理、画像処理、データベース、マルチメディア、CG、システム LSI などの最先端のコンピュータ技術・応用技術を持つ専門的職業人及び教育研究者の人材の養成を目的とする。
		情報通信工学科		今日の情報通信関連技術は、あらゆる産業分野における基幹技術としての影響力を持つようになり、社会生活の中に深く関係している。このように情報通信工学の裾野が限りなく広がり、技術的な可能性が満ち溢れる世界で、独創性を発揮し、多様な先端技術を開拓できる技術者及び情報通信関連分野の研究能力を有する人材の養成を目的とする。
		情報システム工学科		今日まで発展を遂げてきた情報技術が社会的基盤となり、人々の暮らしを支える情報システムのサービス形態は、変化・適用・深化を繰り返しながらこれからも発展し続けていくことが予想される。本学科では、情報技術、ロボット制御、生体システムを柱とする実践的教育を展開し、技術者倫理、コミュニケーション能力、エンジニアリングデザイン能力を身につけることで、社会の持続的発展に不可欠な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者の養成を目的とする。
		システムマネジメント学科		高度に情報化、国際化が進む現代社会において、企業の生産管理技術と情報管理技術について、経営、生産、メディアの観点から基礎的な素養を身につける教育を行い、それらの知識に裏付けされた人間哲学に基づいてシステムのマネジメントを行える人材の養成を目的とする。
	社会環境学部	社会環境学科	経営コース 地域コース	環境に関わる諸問題に関して主として社会科学の立場からアプローチし、社会の仕組みを理解した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる実践型の人材の養成を目的とする。
	教養力育成センター (全学部共通)		①基礎科目(文化・社会・自然・情報)、②キャリア科目、③外国語科目、④ウェルネス科目、⑤教職科目	
大学院	工学研究科	物質生産システム工学専攻 (博士後期課程)		物質生産システム工学専攻は、電子物性工学、機能材料応用工学、エネルギーシステム工学及び設計生産システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
		知能情報システム工学専攻 (博士後期課程)		知能情報システム工学専攻は、知能情報工学、情報伝送工学、知的メディア工学及び情報制御システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
		電子情報工学専攻		現代社会は、コンピュータを先頭とした電子情報技術が著しく発達し、広く普及している社会である。本専攻では、広い視野に立って、電子情報工学の理論及び応用を教授、研究し、高度な専門知識を背景に、独創的な研究開発能力を身につけた技術者を養成することを目的とする。
		生命環境化学専攻		本学の建学の綱領に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、科学技術や社会の進歩向上に寄与する人材を育成することを目的とする。具体的に本専攻では、広い視野に立って精深な学識を授け、物質工学及び生物工学を中心とした専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。
		知能機械工学専攻		機械工学は、ナノ・マイクロテクノロジーから巨大システムまで基盤となる技術を開拓していく学問分野です。機械工学はそれ自身の高度化、先進化及び微細化とともに電子情報技術の飛躍的な発達により機械の知能化が進んでいます。本専攻では機械工学の基礎分野の知識を十分修得した上で、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		電気工学専攻		本専攻は電気系工学・技術の分野において活躍できる、高度の問題解決能力と研究開発能力を備えた技術者を養成することを教育の目的とする。このため工学部電気系学科修了程度の基礎知識を有する学生を対象に、進歩を続ける技術に長期的に対応して行けるよう電気関連主要分野の深い基礎理論を講究するとともに、並行してこの分野の先端的研究テーマについての研究に取り組み創造的対応能力を培う。
		情報工学専攻		人工知能や集積回路、マルチメディアや画像処理、データベースやソフトウェア開発などの情報工学分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		情報通信工学専攻		携帯電話や無線LAN、光ファイバ伝送などの情報伝送技術やインターネットなどの情報ネットワークの分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		情報システム工学専攻		情報システム工学専攻は、少子高齢化社会で求められる様々な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、情報社会の発展に役立つ研究課題を自ら探求して解決する能力を備えた人材の育成を目的とする。
		システムマネジメント専攻		システムマネジメント専攻は、経営、生産、情報メディアシステムに対して調査・分析・設計・評価に必要な学術的な諸手法について教授し、これらのシステムから得られる情報を有効に利用してシステムを構築・解析・最適化する能力を備えた人材の育成を目的に、教育研究を行う。
社会環境学	社会環境学専攻		環境に関わる諸問題に関して主として社会科学及び人文科学の立場からアプローチし、個人・企業・社会全体の仕組みを研究する能力を醸成した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる高度な専門性が求められる職業を担うための能力を培うことを目的とする。	
短期大学部		情報メディア学科		情報メディア学科は、情報教育を中心とした教育プログラムにより、高度にIT化された社会における即戦力となる情報活用能力を身につけた人材の育成に加え、社会の構成員として力強く生きていくためのリテラシーを身につけた人材を養成することを目的とする。

※令和5年5月1日現在

資格について  
 ○/ 所定の単位取得により、在学中または卒業と同時に取得できる資格  
 ●/ 所定の単位取得により、実務経験を経て取得  
 ○/ 指定科目の単位を取得すると、資格試験の一部が免除  
 □/ 全学的に支援・支援講座を行っている資格(社会連携センター主催)  
 ■/ 各学科で支援・支援講座を行っている資格  
 ☆/ 国家資格

教員構成(人)※	取得可能学位	取得可能な教員免許	取得支援を実施している資格*
教授 3 准教授 8 助教 3	学士 (工学)	高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/☆第一級陸上特殊無線技士</li> <li>■/☆第一級陸上無線技術士</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> </ul>
教授 8 准教授 6		高等学校教諭一種免許状(工業、理科) 中学校教諭一種免許状(理科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○/☆食品衛生管理者、食品衛生監視員</li> <li>○/☆毒物劇物取扱責任者</li> <li>○/☆公害防止管理者(水質)</li> <li>○/☆危険物取扱者(甲・乙)</li> <li>○/☆環境計量士</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■/環境測定分析士</li> <li>■/バイオ技術者認定</li> <li>■/NR-サプリメントアドバイザー</li> <li>■/化粧品成分検定</li> <li>■食品表示検定</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> <li>□/TOEIC L&amp;R</li> <li>□/JMOs</li> <li>■(Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士)検定2級・3級</li> </ul>
教授 9 准教授 5 助教 3		高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○修習技術者(→技術士補)</li> <li>■/☆機械保全技能検定</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■CAD利用技術者</li> <li>■機械設計技術者</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士)検定2級・3級</li> </ul>
教授 6 准教授 3 助教 3		高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●/■/☆電気主任技術者(第1種、第2種、第3種)</li> <li>■/☆電気工事士</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士)検定2級・3級</li> </ul>
教授 9 准教授 8 講師 1 助教 2	学士 (情報工学)	高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆応用情報技術者試験</li> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■/☆情報セキュリティマネジメント</li> <li>■Linux (Linux Professional Institute Certification)</li> <li>■CCNA (Cisco Certified Network Associate)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士)検定2級・3級</li> </ul>
教授 14 助教 1		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○/☆第一級陸上特殊無線技士</li> <li>○/☆海上特殊無線技士(第二級、第三級)</li> <li>○/■/☆第一級陸上無線技術士</li> <li>○/■/☆電気通信主任技術者(伝送交換主任技術者、線路主任技術者)</li> <li>○/■/☆工事担当者</li> <li>○(ネットワーク接続技術者)</li> <li>■Linux (Linux Professional Institute Certification)</li> <li>■CCNA (Cisco Certified Network Associate)</li> <li>■ネットワークスペシャリスト</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士)検定2級・3級</li> </ul>
教授 6 准教授 5 講師 2 助教 1		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■Linux (Linux Professional Institute Certification)</li> <li>■CCNA (Cisco Certified Network Associate)</li> <li>■MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士)検定2級・3級</li> </ul>
教授 5 准教授 4 助教 1		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■Linux (Linux Professional Institute Certification)</li> <li>■CCNA (Cisco Certified Network Associate)</li> <li>■CGクリエイター検定</li> <li>■CGエンジニア検定</li> <li>■DTPエキスパート</li> <li>■MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士)検定2級・3級</li> </ul>
教授 8 准教授 7 助教 1	学士 (社会環境学)	高等学校教諭一種免許状(公民) 中学校教諭一種免許状(社会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■eco検定(環境社会検定試験)</li> <li>■環境管理士</li> <li>■ピオトップ管理士</li> <li>■3R-低炭素社会検定</li> <li>■/□/☆MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>■日商簿記検定2級</li> <li>■/□/☆日商簿記検定3級</li> <li>■/□リテールマーケティング(販売士)検定2級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士)検定3級</li> <li>■GIS学術士</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> </ul>
教授 10 准教授 3 助教 1	博士 (工学)		
教授 16 准教授 3			
教授 19 准教授 1			
教授 8 准教授 3 助教 3	修士 (工学)	高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 8 准教授 6		高等学校教諭専修免許状(理科) 中学校教諭専修免許状(理科)	
教授 8 准教授 3 助教 2		高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 6 准教授 3 助教 3		高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 8 准教授 7 助教 1		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)	
教授 12 助教 1		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)	
教授 6 准教授 5 講師 1 助教 1		高等学校教諭専修免許状(情報)	
教授 5 准教授 4 助教 1		高等学校教諭専修免許状(情報)	
教授 10 准教授 5	修士 (社会環境学)		
教授 6 准教授 5 助教 2	短期大学士 (情報工学)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/□/☆応用情報技術者試験</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■/□/☆秘書技能検定</li> <li>■日商PC検定</li> <li>■CGエンジニア検定</li> <li>■マルチメディア検定</li> <li>■CGクリエイター検定</li> <li>■Webデザイナー検定</li> <li>■/□/☆TOEIC</li> <li>■/□/☆日商簿記検定</li> </ul>

はじめに

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的な取組状況

各設置校の状況

ファミリー

バックデータ集

# 教職員数 令和5年5月1日現在

## ■教員数

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
	合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
学部・学科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
男女別	78	5	83	29	2	31	34	0	34	8	0	8	7	3	10	5	1	6
教授	36	8	44	15	2	17	15	2	17	4	3	7	2	1	3	4	1	5
准教授	3	0	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講師	14	2	16	9	0	9	5	0	5	0	1	1	0	1	1	2	0	2
助教	131	15	146	53	4	57	57	2	59	12	4	16	9	5	14	11	2	13
合計	10	2	12	4	0	4	4	1	5	2	1	3	0	0	0	1	0	1
(うち外国籍教員)																		

## ■年齢区分別 教員数

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
	合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
学部・学科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
男女別	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
29歳以下	18	3	21	8	0	8	5	2	7	3	1	4	2	0	2	2	0	2
30歳～39歳	46	8	54	17	3	20	25	0	25	4	2	6	0	3	3	3	0	3
40歳～49歳	44	3	47	17	1	18	18	0	18	4	0	4	5	2	7	2	2	4
50歳～59歳	23	0	23	11	0	11	9	0	9	1	0	1	2	0	2	4	0	4
60歳～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70歳以上	131	15	146	53	4	57	57	2	59	12	4	16	9	5	14	11	2	13
合計																		

## ■専任教員・非常勤教員比率

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
	合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
学部・学科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
専任教員	131	15	146	53	4	57	57	2	59	12	4	16	9	5	14	11	2	13
(比率・%)	56.7%	38.5%	54.1%	49.1%	25.0%	46.0%	62.6%	20.0%	58.4%	54.5%	57.1%	55.2%	90.0%	83.3%	87.5%	55.0%	33.3%	50.0%
非常勤教員	100	24	124	55	12	67	34	8	42	10	3	13	1	1	2	9	4	13
(比率・%)	43.3%	61.5%	45.9%	50.9%	75.0%	54.0%	37.4%	80.0%	41.6%	45.5%	42.9%	44.8%	10.0%	16.7%	12.5%	45.0%	66.7%	50.0%
合計	231	39	270	108	16	124	91	10	101	22	7	29	10	6	16	20	6	26

## ■城東高校教員数

学校名	福岡工業大学附属城東高校		
学部・学科名	男	女	計
男女別	1	0	1
校長	1	0	1
副校長	1	0	1
教諭	45	15	60
専任講師・常勤講師	33	11	44
合計	80	26	106

## ■職員数

学校名	福岡工業大学			福岡工業大学短期大学部			福岡工業大学附属城東高校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
男女別	57	15	72	2	1	3	4	1	5
専任職員	7	46	53	0	4	4	1	10	11
特定・嘱託・契約職員	3	15	18	0	0	0	0	2	2
派遣職員	67	76	143	2	5	7	5	13	18
合計									

# 卒業・修了生累計、同窓会会員数

## ■卒業・修了生累計

**57,713**名 (令和5年3月31日現在)

学部 43,675名  
 大学院 1,685名  
 修士 1,615名  
 課程博士 66名  
 論文博士 4名

短期大学部 12,353名

## ■地域別同窓会会員数 (令和5年2月28日現在)

地域名	会員数	地域名	会員数
北海道・東北	32	中国	2,976
関東	822	四国	1,137
東海	290	福岡県	15,980
関西・北陸	672	九州・沖縄(福岡県を除く)	8,280
		合計	30,189

# 令和4年度学位授与数

## ■学士・短期大学士授与数

学部等名	授与数
工学部	371
情報工学部	381
社会環境学部	183
短期大学部	160

## ■博士・修士授与数

研究科名	修士授与数	博士授与数
工学研究科	69	4
社会環境学研究科	9	-

## ■JABEEコース修了者数

コース名	修了者数
知能機械工学科	110

(R4.9月卒業生1名、R5.3月卒業生109名全員)

# 学生数 各年度5月1日現在

## ■大学、短期大学部在籍学生数

学部	学科	令和4年度										5年度		
		定員	現員	定員充足率	留年者数※	留年率	休学者	休学率	退学除籍者数	中退率	定員	現員	定員充足率	
工学部	電子情報工学科	360	408	1.13	59	14.5%	28	6.9%	14	3.4%	360	406	1.13	
	生命環境化学科	360	402	1.12	28	7.0%	25	6.2%	12	3.0%	360	396	1.10	
	知能機械工学科	440	510	1.16	43	8.4%	17	3.3%	16	3.1%	440	510	1.16	
	電気工学科	360	414	1.15	62	15.0%	22	5.3%	22	5.3%	360	409	1.14	
	合計	1,520	1,734	1.14	192	11.1%	92	5.3%	64	3.7%	1,520	1,721	1.13	
情報工学部	情報工学科	520	593	1.14	28	4.7%	17	2.9%	14	2.4%	520	592	1.14	
	情報通信工学科	360	419	1.16	41	9.8%	15	3.6%	13	3.1%	360	420	1.17	
	情報システム工学科	360	402	1.12	25	6.2%	18	4.5%	9	2.2%	360	413	1.15	
	システムマネジメント学科	260	301	1.16	25	8.3%	14	4.7%	13	4.3%	260	300	1.15	
	合計	1,500	1,715	1.14	119	6.9%	64	3.7%	49	2.9%	1,500	1,725	1.15	
社会環境学部	社会環境学科	700	716	1.02	34	4.7%	17	2.4%	16	2.2%	700	708	1.01	
福岡工業大学合計		3,720	4,165	1.12	345	8.3%	173	4.2%	129	3.1%	3,720	4,154	1.12	
大学院	工学研究科(修士)	128	152	1.19	9	5.9%	10	6.6%	3	2.0%	128	179	1.40	
	工学研究科(博士)	12	11	0.92	2	18.2%	2	18.2%	0	0.0%	12	9	0.75	
	社会環境学研究科	12	11	0.92	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	4	0.33	
	合計	152	174	1.14	11	6.3%	12	6.9%	3	1.7%	152	192	1.26	
福岡工業大学・大学院合計		3,872	4,339	1.12	356	8.2%	185	4.3%	132	3.0%	3,872	4,346	1.12	
福岡工業大学短期大学部	情報メディア学科	320	381	1.19	49	12.9%	10	2.6%	22	5.8%	320	358	1.12	

※卒業単位不足者+進級単位不足者の合計

## ■高等学校在籍生徒数

課程	令和4年度			5年度		
	定員	現員	定員充足率	定員	現員	定員充足率
普通科	1,050	1,384	1.32	1,050	1,454	1.38
電気科	300	171	0.57	300	138	0.46
電子情報科	300	387	1.29	300	374	1.25
福岡工業大学附属 城東高等学校合計	1,650	1,942	1.18	1,650	1,966	1.19

## ■学校別在籍学生・生徒数(経年比較)

学校名	平成26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
大学	4,149	4,287	4,238	4,299	4,293	4,220	4,222	4,225	4,165	4,154
大学院	142	124	130	137	139	151	162	163	174	192
短期大学部	403	395	389	398	389	393	373	355	381	358
高校	2,024	2,023	2,059	2,114	2,082	1,978	1,992	1,946	1,942	1,966
合計	6,718	6,829	6,816	6,948	6,903	6,742	6,749	6,689	6,662	6,670

## ■収容定員充足率(経年比較)

学校名	平成26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
大学	1.23	1.24	1.19	1.18	1.15	1.13	1.13	1.14	1.12	1.12
大学院	1.01	0.89	0.89	0.86	0.91	0.99	1.07	1.07	1.14	1.26
短期大学部	1.26	1.23	1.22	1.24	1.22	1.23	1.17	1.11	1.19	1.12
高校	1.23	1.23	1.25	1.28	1.26	1.20	1.21	1.18	1.18	1.19
合計	1.22	1.22	1.20	1.21	1.18	1.15	1.16	1.14	1.14	1.14

## ■国別留学生数

	令和4年度										5年度							
	合計	中国	台湾	タイ	韓国	ベトナム	トンガ	アルバニア	ネパール	合計	中国	台湾	タイ	韓国	ベトナム	トンガ	アルバニア	ネパール
大学	10	6	0	0	2	1	1	0	0	9	6	0	0	1	0	2	0	0
短期大学部	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
大学院	32	28	0	3	0	0	0	1	0	30	26	0	4	0	0	0	0	0
研究生	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
科目等履修生	3	0	0	2	1	0	0	0	0	7	0	5	1	1	0	0	0	0
合計	47	35	0	5	3	1	1	1	1	47	32	5	5	2	0	2	0	1

# 令和5年度入試状況

## ■大学

学部	学科	定員	総合型選抜						学校推薦型※1 (指定校・附属校・併願制)			一般(3教科型)※2			一般(共通テスト利用)※3			留学生			合計			
			スペシャルスキル		専願制総合型【後期】																			
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	
工学部	電子情報工学科	90	0	0	0	0	0	0	70	57	42	242	148	36	1,072	461	26	1	1	1	1,385	667	105	
	生命環境化学科	90	1	1	1	5	4	4	42	36	24	234	150	27	769	443	41	0	0	0	1,051	634	97	
	知能機械工学科	110	0	0	0	0	0	0	62	51	43	276	200	56	873	406	27	0	0	0	1,211	657	126	
	電気工学科	90	6	6	6	0	0	0	72	58	52	230	150	20	880	394	23	0	0	0	1,188	608	101	
	学部合計	380	7	7	7	5	4	4	246	202	161	982	648	139	3,594	1,704	117	1	1	1	4,835	2,566	429	
情報工学部	情報工学科	130	4	4	4	10	5	5	124	74	71	485	210	45	1,201	251	20	2	1	0	1,826	545	145	
	情報通信工学科	90	0	0	0	0	0	0	65	57	50	170	91	35	1,010	374	16	1	0	0	1,246	522	101	
	情報システム工学科	90	1	1	1	4	2	2	58	54	48	348	145	40	1,094	354	12	0	0	0	1,505	556	103	
	システムマネジメント学科	65	2	1	1	4	3	3	43	36	33	75	34	11	749	316	26	0	0	0	873	390	74	
	学部合計	375	7	6	6	18	10	10	290	221	202	1,078	480	131	4,054	1,295	74	3	1	0	5,450	2,013	423	
社会環境学部	社会環境学科	160	39	39	39	5	4	4	102	101	92	254	157	38	568	278	13	2	0	0	970	579	186	
	合計	915	53	52	52	28	18	18	638	524	455	2,314	1,285	308	8,216	3,277	204	6	2	1	11,255	5,158	1,038	

※1 専願制、併願制の合計 ※2 追加合格分を含む。社会環境学部は共通テスト併用選抜を含む ※3 前期、中期、後期及びそれらの追加合格分の合計

## ■大学(編入学)

学部	学科	定員※	志願者	合格者	入学者
工学部	電子情報工学科	-	1	0	0
	生命環境化学科	-	0	0	0
	知能機械工学科	-	0	0	0
	電気工学科	-	0	0	0
	学部合計	-	1	0	0
情報工学部	情報工学科	-	18	9	8
	情報通信工学科	-	7	2	2
	情報システム工学科	-	7	3	3
	システムマネジメント学科	-	7	4	4
	学部合計	-	39	18	17
社会環境学部	社会環境学科	30	10	5	5
	合計	-	50	23	22

※工学部、情報工学部の定員は「若干名」

## ■大学院

研究科	専攻	定員	一般※1			協定校※2			外国人※3			合計		
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
工学研究科	電子情報工学専攻	8	8	7	7	2	2	2	1	1	1	11	10	10
	生命環境科学専攻	8	22	21	18	0	0	0	0	0	0	22	21	18
	知能機械工学専攻	8	13	11	10	3	3	3	0	0	0	16	14	13
	電気工学専攻	8	17	16	16	1	1	1	0	0	0	18	17	17
	情報工学専攻	10	15	15	15	5	5	5	0	0	0	20	20	20
	情報通信工学専攻	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	8	8	8
	情報システム工学専攻	8	12	11	10	0	0	0	0	0	0	12	11	10
	システムマネジメント専攻	6	1	1	1	2	2	2	0	0	0	3	3	3
	工学研究科合計	64	96	90	85	13	13	13	1	1	1	110	104	99
社会環境学研究科	社会環境学専攻	6	2	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2
	修士課程合計	70	98	92	87	13	13	13	1	1	1	112	106	101
工学研究科 (博士後期課程)	物質生産システム工学専攻	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1
	知能情報システム工学専攻	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	博士後期課程合計	4	3	2	2	0	0	0	0	0	0	3	2	2

※1 推薦入試、一次・二次入試の合計 ※2 キングモンクット工科大学(タイ)、南京理工大学(中国)、青島科技大学(中国) ※3 一次・二次入試の合計

## ■短期大学部

学科	定員	学校推薦型※1			自己推薦			一般※2			一般(共通テスト利用)※3			留学生			合計		
		志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
情報メディア学科	160	59	58	53	22	17	17	139	100	63	183	180	26	0	0	0	403	355	159
合計	160	59	58	53	22	17	17	139	100	63	183	180	26	0	0	0	403	355	159

※1 専願制、公募制推薦制選抜の合計 ※2 一期、二期選抜の合計 ※3 前期・中期・後期選抜の合計

# 令和5年度県別・学部・男女別入学者一覧表 令和5年5月1日現在

地区	学部(学科)名 都道府県名	大学合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			短期大学部(情報メディア学科)		
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
北海道・東北	北海道	1	1	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1
	青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北関東・南関東	茨城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埼玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	千葉	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	東京	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	神奈川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸・甲信越	新潟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山梨	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海	岐阜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	静岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	愛知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	滋賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大阪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	兵庫	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	奈良	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国	鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	島根	2	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1
	岡山	2	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	広島	2	2	4	1	0	1	0	0	0	1	2	3	0	0	0
四国	山口	24	2	26	9	0	9	13	1	14	2	1	3	1	0	1
	徳島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	香川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	愛媛	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	高知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福岡	624	101	725	264	38	302	265	33	298	95	30	125	96	23	119
	佐賀	52	6	58	21	4	25	26	0	26	5	2	7	6	1	7
	長崎	47	4	51	22	3	25	14	0	14	11	1	12	2	1	3
	熊本	28	3	31	11	1	12	10	1	11	7	1	8	1	1	2
	大分	38	2	40	13	0	13	19	2	21	6	0	6	6	1	7
	宮崎	33	5	38	14	2	16	12	2	14	7	1	8	4	1	5
鹿児島	39	3	42	19	0	19	10	3	13	10	0	10	8	1	9	
沖縄	7	1	8	3	0	3	4	1	5	0	0	0	0	1	1	
その他 (外国卒・検定等)	その他	3	0	3	1	0	1	1	0	1	1	0	1	2	0	2
	合計	906	149	1,038	381	48	429	377	46	423	148	38	186	128	31	159

はじめに

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的取組状況

各設置校の状況

ファミリー

バックデータ集

# 広報活動

## 令和4年度パブリシティ掲載状況(教育・研究活動、就活・キャリア支援、学生支援、地域貢献活動)

日時	区分	掲載された活動内容(掲載タイトル)	媒体(放送局・WEB・新聞社・雑誌社等、敬称略・順不同)
令和4年4月1日	教育	18歳成年年齢引き下げ 本学入式での取り組み	NHK福岡[ニュースロクいち福岡]・NHK福岡[ニュース845福岡]
4月5日	教育	コロナ禍で迎えるキャンパスライフ 新入生の期待と不安	Yahoo!ニュース・gooニュース
4月5日	教育	コロナ禍での新入生 オリエンの様子	FBS福岡放送[めんたいワイド](福岡)
4月7日	高校	ブルーカーボンオフセット～海藻の力で脱炭素(城東高校)	RKB毎日放送[タダイマ!](福岡)・Yahoo!ニュース
4月8日	経営	ワクチン接種 大学での取り組みは	FBS福岡放送[めんたいワイド](福岡)・日本テレビ [ZIP!]-Yahoo!ニュース
4月9日	経営	福工大で入学式	J-com福岡[WEEKLYニュース]
4月15日	学生	理工系女子学生の取材(電気工学科・田島研究室3年大塚さん)	朝日新聞出版[AERA大学ランキング]
4月17日	研究	熊本地震6年(情報通信工学科・石田教授コメント)	読売新聞
4月18日	教育	コロナ禍での新入生 キャンパスでの出会い創出	読売新聞
4月19日	研究	生命環境化学科・松山教授 パラールテニウム系触媒特許	産業新聞西九州版
4月26日	高校	colorful!ハイスクール 城東高校図書館紹介	RKB毎日放送[タダイマ!](福岡)
4月27日	経営	福岡工業大学 一般入試志願倍率5年連続九州No.1を達成	RKB毎日放送・西日本新聞・読売新聞オンライン・小倉経済新聞・博多経済新聞・ニコニコニュース・All About NEWS・NewsCafe・JOLLDANニュース・とれまがニュース・ハビママ・ウレぴあ総研・BIGLOBEニュース・Infoseekニュース・ORICON NEWS・財經新聞・おたくま経済新聞・エキサイトニュース・niftyビジネス・時事ドットコム・ReseMom(リセママ)
5月7日	教育	大学対面授業徐々に授業新様式デジタル活用	読売新聞
5月13日	研究	みみよりくらし解説 防災GO!紹介	NHK総合・NHKBS
5月13日	研究	福岡工大と篠栗町 介護予防のデータ活用	西日本新聞・西日本新聞me
5月15日	研究	もち吉かんかんランキング(生命環境化学科・久保研究室)	FBS福岡放送[福岡くん](福岡)
5月25日	経営	九州大学勢力圏・学部系統別就職率:本学ランクイン	週刊東洋経済[本当に強い大学2022]
5月27日	研究	ささぐり元気もん調査:高齢者2,000人の健康測定 コロナ禍、状態把握 篠栗町と福工大協力、「元気もん調査」実施	毎日新聞
5月27日	研究	追跡パリスーチー 魚の生息域変化(生命環境化学科・乾教授)	NHK福岡[ニュースロクいち福岡]・NHK福岡[ニュース845福岡]
6月2日	国際	KMITL:タイから福工大の留学生が県庁を訪問	RKBニュース[タダイマ](福岡)・Yahoo!ニュース・gooニュース
6月2日	就職	就活選考解禁 各大学の状況について(就職課・坂田課長コメント)	西日本新聞
6月2日	国際	福岡工業大学も歓迎3年ぶりにタイから留学生「日本のマナー勉強したい」	TNCテレビ西日本[報道ワイド記者のチカラ](福岡)・MSNニュース・ドコモDニュース
6月10日	学生	学内、オアシス紹介	RKBラジオ[アンタッチャブル](福岡)
6月21日	高校	城東高校 部活動生の活躍紹介(落語同好会・無線部・ダンス部)	RKBラジオ[カリメン](福岡)
6月23日	経営	新型コロナワクチン3回目接種	RKB毎日放送[タダイマ](福岡)
6月23日	経営	接種率4割の若者に新型コロナワクチンを～大学に「集団接種チーム」派遣	TBS[NEWS DIG]
6月28日	研究	あなたのスマホにも!? 身に覚えのない危険メール 福工大と県警協定	TVQニュース(福岡)・Yahoo!ニュース
6月28日	研究	サイバー犯罪へ連携…福岡県警と福岡工業大学が協定	KBC九州朝日放送[シリタカ](福岡)・Yahoo!ニュース・gooニュース
6月28日	研究	サイバー犯罪対策で連携協定 福岡県警と福岡工業大学	TNCテレビ西日本[報道ワイド記者のチカラ](福岡)・Yahoo!ニュース・gooニュース
6月28日	研究	サイバー犯罪防止へ協定 県警と福工大、情報共有=福岡	RKB毎日放送[タダイマ](福岡)・読売新聞・Yahoo!ニュース・docomoDニュース
6月28日	研究	福工大と県警、サイバー犯罪防止で協定	NHK福岡[昼ニュース](福岡)・NHK福岡[ニュースロクいち福岡]
6月29日	研究	協定:産官学連携 サイバー犯罪防止へ協定 県警、福岡工大と/福岡	毎日新聞
6月30日	研究	[サバ][白いさくらげ]地元の農水産物を化粧品原料に～福岡工業大学で研究進む	Yahoo!ニュース
6月30日	研究	生命環境化学科・桑原研究室 研究紹介	RKB毎日放送[タダイマ](福岡)
7月6日	高校	参議院選挙へ向け「私の声」城東高校	KBC九州朝日放送[シリタカ](福岡)
7月7日	就職	福工大 実就職率96.6%で九州私大1位に	読売新聞オンライン・西日本新聞オンライン・ニコニコニュース・大学Times・All About NEWS・エキサイトニュース・BIGLOBEニュース・ORICON NEWS・ウレぴあ総研・時事ドットコム・niftyビジネス・Infoseekニュース
7月16日	研究	書評:社会環境学科・木下准教授「政治家のレトリック」	信濃毎日新聞(長野)
7月22日	高校	附属城東高校 野球部 夏の甲子園善戦	KBC九州朝日放送[シリタカ](福岡)
7月28日	研究	福岡県警と本学サイバーセキュリティ協定締結	朝日新聞
8月2日	研究	ガラスレンズ微細化 切削工具で直径0.1mmに 福工大とワークス共同研究	日刊工業新聞
8月4日	学生	えこFITのエコやSDGsに關した取り組み	KBC九州朝日放送ラジオ「PAO-N」(福岡)
8月7日	高校	高校生のロボット相撲、福工大城東が全国大会	西日本新聞
8月14日	研究	生命環境化学科・久保研究室「もち吉在検証」再放送	FBS福岡放送[福岡くん](福岡)
8月23日	部活動	羽田野さん団体V、豊後大野市に報告 全日本学生柔道優勝大会	大分合同新聞(大分)
8月26日	研究	新しい高エントロピー合金超伝導体HfMoNbTiZrを発見	All About NEWS・DIME(アットタイム)・Jbpress・読売新聞オンライン・西日本新聞オンライン・産経ニュース・FNNプライムオンライン・時事ドットコム・東洋経済オンライン・財經新聞・とれまがニュース・ニコニコニュース・BIGLOBEニュース・マピオンニュース・Fresh eye ニュース・niftyビジネス・Infoseekニュース・エキサイトニュース・NewsCafe・SEOTOOLS・ウレぴあ総研・産業新聞
8月27日	部活動	九州吹奏楽コンクール、日本経済大と福岡工業大が全国へ	朝日新聞速報ニュース・朝日新聞
8月29日	部活動	県内5団体、全国切符 大学、職場、一般 九州吹奏楽コン /福岡県	朝日新聞
8月31日	研究	災害情報デジタル化の重要性(情報通信工学科・石田研究室、生命環境化学科・森山研究室、同上杉研究室)	RKB毎日放送[タダイマ](福岡)
9月1日	研究	災害情報デジタル化の重要性(情報通信工学科・石田研究室紹介)	TBS[NEWS DIG]・Yahoo!ニュース(TOP)
9月7日	教育	ビヨンドコロナの大学戦略 下村学長インタビュー	教育学術新聞
9月9日	高校	福岡工業大学附属城東高校、環境問題に対応した新グラウンド竣工	読売新聞オンライン・時事ドットコム・西日本新聞WEB・All About NEWS・講談社現代ビジネス・ニコニコニュース・マピオンニュース・BIGLOBEニュース・Fresh eye ニュース・エキサイトニュース・Infoseekニュース
9月12日	研究	日本鉄鋼協会秋季講演大会、3年ぶり開催/福岡工大で	鉄鋼新聞
9月13日	高校	城東高校 部活動紹介 ロボットproject	RKBラジオ[カリメン](福岡)
9月14日	高校	城東高校 部活動紹介 落語同好会	RKBラジオ[カリメン](福岡)
9月15日	高校	城東高校 部活動紹介 映像クリエイターP	RKBラジオ[カリメン](福岡)
9月18日	経営	「オススメ大学」ランキング 本学ランクイン	サンデー毎日
9月20日	学生	こども食堂 本学学生の取り組み紹介	西日本新聞
10月2日	学生	コロナに負けずに運動を 福工大の学生らが介護予防カード	朝日新聞
10月7日	部活動	金の音色導く、優しいタクト 福工大を指揮、いざ全国の舞台へ	朝日新聞
10月19日	高校	まじもん!城東高校紹介	RKB毎日放送(福岡)
10月29日	部活動	大学吹奏楽団 全国吹奏楽コンテスト銀賞受賞	朝日新聞
10月31日	研究	血管の硬さ、血圧、心拍数、一つの「指輪」で明らかに	朝日新聞デジタルマガジン&読売新聞オンライン・産経デジタル・西日本新聞・時事メディカル・時事ドットコム・ORICON NEWS・GREEニュース・Jbpress・とれまがニュース・niftyビジネス・マピオンニュース・ZDNet Japan・エキサイトニュース・Infoseekニュース・SEOTOOLS・ウレぴあ総研

日時	区分	掲載された活動内容(掲載タイトル)	媒体(放送局・WEB・新聞社・雑誌社等、敬称略・順不同)
11月7日	研究	古賀市:データ活用、政策立案 古賀市と福岡市の会社協定	毎日新聞
11月8日	研究	福工大と古賀市協定…AIで仮名加工情報を分析	読売新聞
11月9日	教育	西日本新聞社との連携 コミュニケーションに関する出前講座開始	西日本新聞
11月10日	高校	ぶよぶよで「人材育成」? 城東高校で特別授業	TVQ「ぶくサテ」(福岡)・Yahoo!ニュース
11月10日	高校	報道ワイド記者のチカラ「城東高校春高バレー決勝進出」	TNCテレビ西日本「報道ワイド記者のチカラ」(福岡)
11月11日	高校	城東高校 女子バレーボール部 春高バレー 福岡県代表決勝戦に向けて	TNCテレビ西日本「報道ワイド記者のチカラ」(福岡)
11月14日	研究	「ウィ・ラブ・ヒューマン」 短期大学部・吉原教授にジェンダーについてインタビュー	RKBラジオ(福岡)
11月14日	高校	福岡市長選挙の投票率アップへ 城東高校映像クリエイターPが選挙をPR	FBS福岡放送「めんたいワイド」(福岡)・TNCテレビ西日本「報道ワイド記者のチカラ」(福岡)・西日本新聞・Yahoo!ニュース
11月16日	高校	城東高校「ぶよぶよ」プログラミング教育特集	読売新聞
11月18日	高校	「マジ税金高えって…」選挙権ない高校生が投票啓発動画 福岡市長選	西日本新聞me
11月18日	高校	高校生「1票の重み感じ」 事務作業を体験 福岡市長選	読売新聞
11月18日	研究	匿名化した情報活用し解析 介護予防施策に反映 古賀市と福工大が連携協定	西日本新聞
11月18日	高校	福岡市長選「未来を創り変えろ」 福工大城東高生、投票啓発動画	毎日新聞
11月19日	高校	ぶよぶよでプログラミング学習 セガ、福工大城東高生に授業 講師はeスポーツプロ選手	西日本新聞
11月19日	部活動	ラグビー大学選手権が開幕 福岡工大、2回戦へ	日経電子版
11月20日	部活動	ラグビー全国大学=福岡工大 快勝発進	西日本新聞
11月20日	部活動	福岡工大が完勝/ラグビー	東京読売新聞
11月21日	高校	福岡県福岡市長選挙=高校生が投票呼びかけ(城東高校映像P)	フジテレビ「めざまし8」
11月24日	研究	自治体の「仮名加工情報」ビッグデータをAIが分析、行政施策に貢献へ	産経ニュース・産経新聞iza・時事ドットコム・朝日新聞デジタルマガジン&読売新聞オンライン・西日本新聞WEB・DX.WITH 西日本新聞メディアラボ・DIME(アットタイム)・とれまがニュース・Ledge.ai(レッジエーアイ)・財經新聞・BIGLOBEニュース・All About NEWS・プレジデントオンライン・Infoseekニュース・東洋経済オンライン・niftyビジネス・Jbpress・エキサイトニュース
11月27日	部活動	「亡き仲間と全国8強だ」 福岡工大ラグビー部 きょう2回戦	西日本新聞
12月2日	学生	「weekend live あんたっちゃぶる」 オアシスでの学生インタビュー	RKBラジオ(福岡)
12月7日	研究	社会環境学科・木下准教授コメント:大阪府政のコロナ対策などについて	毎日新聞(大阪)
12月9日	高校	城東高校バレー部が春高進出。市教委訪問	TNCテレビ西日本(福岡)・TNCテレビ西日本「報道ワイド記者のチカラ」(福岡)・西日本新聞・TVQ「ぶくサテ」(福岡)・KBC九州朝日放送「KBCニュース」(福岡)
12月16日	高校	全国出場選手ら健闘誓う。城東高校バレー部県知事訪問	読売新聞
12月25日	部活動	11団体、九州大会へ 県アンサンブルコン中学・大学	朝日新聞
12月27日	学生	80代あわや詐欺被害、福岡工大の2人救う	朝日新聞・朝日新聞デジタル・Yahoo!ニュース・MSNニュース・gooニュース・docomoDニュース
12月27日	学生	ニセ電話詐欺防いだ福工大生2人に感謝80代女性に代わって電話対応	FBS福岡放送「めんたいワイド」(福岡)・TNCテレビ西日本「FNNニュース」(福岡)
12月29日	研究	生命環境化学科・久保研究室「もち吉生検証」再放送	FBS福岡放送「福岡くん」(福岡)
令和5年1月1日	経営	「選ばれる大学」全国に誇る教育拠点目指す 下村学長あいさつ	ぶくおか経済
1月6日	経営	新・親も知らない今どき入試 面倒見の良い大学ランキング 福工大5位	タ刊フジ
1月14日	経営	共通テスト きょうから本番 福工大の感染対策のようす	読売新聞
1月20日	研究	川にすむ魚の種類と量、採水だけで推定 山口大、福工大、京都大	日経電子版
1月22日	高校	早口言葉選手権 城東高校放送部が出場	KBC九州朝日放送「高校生のじかん」(福岡)
1月23日	研究	生物はどこから来た? 命の起源を探る宇宙空間での実験に取り組んでいます	読売新聞オンライン・西日本新聞WEB・朝日新聞デジタルマガジン&時事ドットコム・産経ニュース・FNNプライムオンライン・DX.WITH 西日本新聞メディアラボ・プレジデントオンライン・BIGLOBEニュース・マビオンニュース・sorae・DIME(アットタイム)・niftyビジネス・財經新聞・とれまがニュース・現代ビジネス・東洋経済オンライン・Jbpress・Infoseekニュース・All About NEWS・エキサイトニュース
1月25日	研究	福岡工大 篠栗町と連携事業 指輪型血管計測器を開発中	西日本新聞・47news
2月5日	就職	【新型コロナ「知りたい」情報】就活 大型イベント復活=福岡 福工大の合説紹介	読売新聞
2月10日	高校	城東高校女子バレーボール部 全九州選抜高等学校バレーボール大会出場チーム紹介	RKB毎日放送「タダイマ」(福岡)
2月16日	高校	ロイチ福岡 高校生へのインタビュー企画に城東高校出演	NHK福岡(福岡)
2月24日	高校	福岡工大城東高校で出前授業 ライフプラン設計を伝授	朝日新聞
2月25日	研究	「たんぼぼ計画」ボスは福工大教授?	西日本新聞WEB
2月25日	研究	民間「たんぼぼ計画」 代表は福岡工大教授(生命環境化学科・三田教授) ISS外でアミノ酸の結合実験	西日本新聞
2月27日	高校	高3「お金の運用」学ぶ 福工大城東高校 福銀が出前授業	西日本新聞
3月1日	就職	就活解禁 学生「自己PR不安」本学学生インタビュー	読売新聞
3月2日	研究	「所さん!事件ですよ!」実験協力(電気工学科・田島研究室)	NHK総合(福岡)
3月2日	就職	24年卒向け会社説明会 解禁 福工大のWEB面接指導紹介	西日本新聞
3月2日	経営	福岡工業大の次期学長に村山理一、工学部長	西日本新聞
3月2日	経営	福工大学長に村山氏を選出	読売新聞
3月3日	高校	高校生版マネーの虎!? 福工大附属城東高校「ジェットエンジンプログラム」最終審査会を実施	学校市場ガワイチ
3月3日	高校	生徒に最大100万円の応援金を支援するオーディション最終審査会を実施 福工大附属城東高校	教育家庭新聞WEB
3月6日	教育	新聞コミュニケーション大賞2022 福岡工業大×西日本新聞 新聞を読み視野広がる	西日本新聞
3月8日	研究	AIが自動で「絵本」を作る研究、学会賞をダブル受賞	ORICON NEWS(オリコンニュース)・Ledge.ai(レッジエーアイ)・朝日新聞デジタルマガジン&産経ニュース・時事ドットコム・読売新聞オンライン・西日本新聞WEB・西日本新聞メディアラボ・中国新聞デジタル・東洋経済オンライン・東洋経済教育×ICT・Fresh eyeニュース・BIGLOBEニュース・PRESIDENT Online・DIME・All About NEWS・財經新聞・ニコニコニュース・とれまがニュース・niftyビジネス・エキサイトニュース・Infoseekニュース・現代ビジネス・iza(イザ)
3月10日	地域	福工大生スマホ教室 高齢者に丁寧に説明	毎日新聞
3月11日	研究	備え 教訓生かし 安否迅速に システム開発(情報通信工学科・石田教授)	読売新聞
3月15日	高校	城東高校JETENGINEプロジェクト紹介	RKB毎日放送「タダイマ」(福岡)
3月24日	地域	記者コラム「福工大スマホ教室、古賀市との取り組み」	毎日新聞

## ■募集・広報活動等関連指標の推移

項目	年度	H25 (H26年度入試)	H26 (H27年度入試)	H27 (H28年度入試)	H28 (H29年度入試)	H29 (H30年度入試)	H30 (R1年度入試)	R1 (R2年度入試)	R2 (R3年度入試)	R3 (R4年度入試)	R4 (R5年度入試)
志願者数	人数	6,343	6,564	6,939	9,564	9,949	10,874	12,585	11,345	10,746	11,255
H Pセッション数	件数	434,342	497,216	548,592	654,073	666,425	764,196	842,800	1,082,623	919,792	927,653
パブリシティ掲載	件数	-	226	268	376	175	204	295	338	337	299

# 令和4年度進路状況 令和5年3月卒業者

## ■大学

学部名	学科名	卒業者数 ※1	就職希望者数	就職内定者数	大学院進学者数	就職率 ※2	実就職率 ※3
工学部	電子情報	92	83	83	7	100%	97.6%
	生命環境	90	70	70	18	100%	97.2%
	知能機械	109	97	96	12	99.0%	99.0%
	電気	80	63	63	17	100%	100%
	学部合計	371	313	312	54	100%	98.4%
情報工学部	情報	140	124	124	13	100%	97.6%
	情報通信	89	80	80	8	100%	98.8%
	情報システム	86	73	73	13	100%	100%
	システムマネジメント	66	64	63	2	98.4%	98.4%
	学部合計	381	341	340	36	99.7%	98.6%
社会環境学部	社会環境	183	174	174	3	100%	96.7%
	大学合計	935	828	826	93	99.8%	98.1%

※1 前期卒業者を除く ※2 就職率=就職内定者数/就職希望者数 ※3 実就職率=就職内定者数/(卒業者数-大学院進学者数)

## ■大学院修士課程

専攻名	修了者数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
電子情報	9	9	9	0	100%	100%
生命環境	4	4	4	0	100%	100%
知能機械	12	12	12	0	100%	100%
電気	8	7	7	0	100%	87.5%
情報	11	10	9	0	90.0%	81.8%
情報通信	9	9	9	0	100%	100%
情報システム	11	10	9	1	90.0%	90.0%
システムマネジメント	0	0	0	0	-	-
社会環境	4	4	3	0	75.0%	75.0%
大学院合計	68	65	62	1	95.4%	92.5%

※前期修了者を除く

## ■短期大学部

学科名	卒業者数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
情報メディア	153	70	69	64	98.6%	77.5%
短大合計	153	70	69	64	98.6%	77.5%

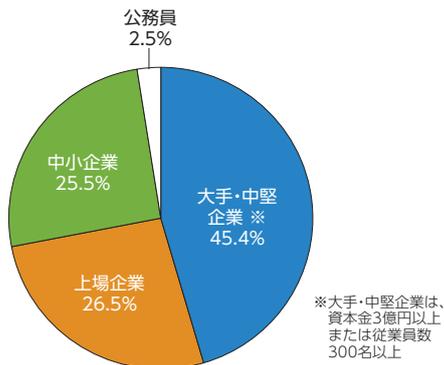
## ■短期大学部 編入学実績一覧

学科名	編入希望者数	編入決定者数				編入決定率	うち、情報・工学系への編入	
		国公立大学	福岡工業大学	私立大学	合計		人数	割合
情報メディア	64	7	22	35	64	100%	51	79.7%
合計	64	7	22	35	64	100%	51	79.7%

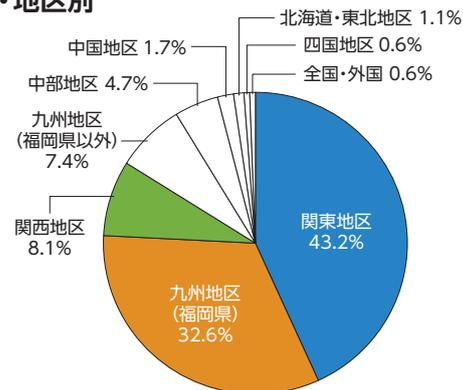
## ■短期大学部 編入学合格者・進学者一覧

大学種別	学校名	学部	合学者数(延べ数)	大学種別	学校名	学部	合学者数(延べ数)
国公立大学	佐賀大学	理工学部	1	私立大学(その他)	近畿大学	産業理工学部	1
	宮崎大学	工学部	1		九州産業大学	理工学部	8
	鹿児島大学	工学部	1		九州産業大学	芸術学部	1
	島根大学	総合理工学部	1		九州産業大学	国際文化学部	1
	静岡大学	情報学部	1		九州産業大学	人間科学部	1
	群馬大学	情報学部	1		西日本工業大学	デザイン学部	3
	北九州市立大学	国際環境工学部	1		西日本工業大学	工学部	1
	福知山公立大学	情報学部	1		久留米工業大学	工学部	6
					久留米大学	経済学部	1
					久留米大学	商学部	1
					中村学園大学	栄養科学部	1
					中村学園大学	流通科学部	1
					筑紫女学園大学	人間科学部	1
					九州情報大学	経営情報学部	13
					九州共立大学	経済学部	2
					日本大学	経済学部	1
				環太平洋大学	次世代教育学部	1	
				福山大学	工学部	1	
合計			8	合計			45
私立大学(福岡工業大学)	福岡工業大学	情報工学部	18	総合計			76
	福岡工業大学	社会環境学部	5				
合計			23				

■大学・企業規模別

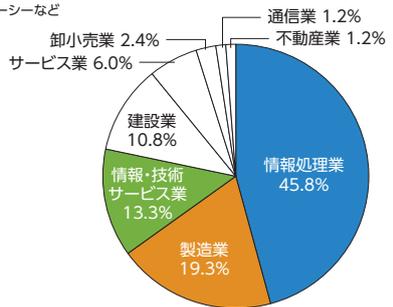


■大学・地区別



電子情報工学科

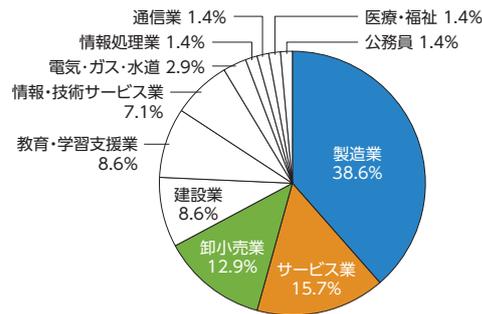
株式会社わん／エクスオグループ株式会社／明電舎株式会社／KDDIテクノロジー／マルゼン工業株式会社／アルプスアルパイン株式会社／共和電業株式会社／富士フィルムビジネスソリューションズ株式会社／アイティフォー株式会社／NECネットワークス株式会社／NSW株式会社／シスデナ株式会社／TDCシステム株式会社／KSK株式会社／アドービジネスコンサルティング株式会社／エクスオ・デジタルソリューションズ株式会社／オネスト株式会社／CLIS株式会社／ケイ・シー・シー株式会社／中央システム株式会社／テクノトップ株式会社／ミライト・ワン・システムズ株式会社／ユニバーサルコンピュータシステム株式会社／リソクラ／三菱電機株式会社／アールエスワン株式会社／ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社／三菱電機システムサービス株式会社／三菱電機ビルソリューションズ株式会社／アウトソーシングテクノロジ株式会社／WDB株式会社／日研トータルソリューションズ株式会社／アマノ株式会社／東芝インフラシステムズ株式会社／パナソニックITS株式会社／アルファシステムズ株式会社／富士ソフト株式会社／サイバーコム株式会社／日立社会情報サービス株式会社／日立情報通信エンジニアリング株式会社／アルトナー／トーテックアメニティ株式会社／京セラ株式会社／住友電設株式会社／ダイダイン株式会社／日本エレクトロニクスシステムズ株式会社／不二熱学工業株式会社／NTTデータSBC株式会社／丸九電工株式会社／ニシム電子工業株式会社／八光オートメーション株式会社／イノス／Qsol株式会社(旧丸九電機ビルソリューションズ)株式会社／サンレイズ株式会社／システムプラネット株式会社／TIS西日本株式会社／ニシニコ株式会社／ネットワーク応用技術研究所／QNet株式会社／TJfoods株式会社／サニックス株式会社／菅原株式会社／ワールドインテック株式会社／西研グラフィックス株式会社／久野野電機製作所株式会社／平田精工株式会社／テクノクリエイティブ株式会社／オーイーシーなど



就職率 100%・実就職率 97.6%

生命環境化学科

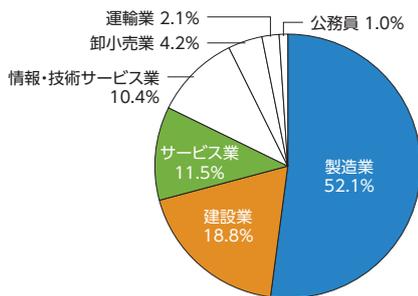
アイングループ株式会社／データベース株式会社／いぬき株式会社／グレイッシュ株式会社／パイロットコーポレーション株式会社／PDRファーマ株式会社／アルテミラ製薬株式会社／テツゲン株式会社／セイシン企業株式会社／共和電業株式会社／東京電力ホールディングス株式会社／ATGS株式会社／徳巴商会株式会社／EP総合株式会社／新日本科学株式会社／アウトソーシングテクノロジ株式会社／WDB株式会社／丸カ社株式会社／OCC株式会社／日本空調サービス株式会社／ボッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社／ヤマコ株式会社／トリコインダストリーズ株式会社／共栄製鋼株式会社／パナソニック環境エンジニアリング株式会社／アドバンテック株式会社／メルコパワーデバイス株式会社／株式会社あじかん株式会社／マイクロメモリジャパン株式会社／ベルポリエステルプロダクト株式会社／あわしま堂株式会社／丸九電工株式会社／新日本熱学株式会社／ゼオライト株式会社／一番食品株式会社／ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社／ニシ醤油株式会社／ニチバンメディカル株式会社／日本磁力選鉱株式会社／昭和鉄工株式会社／フジマックネオ株式会社／西日本新聞広告株式会社／アブライド株式会社／アステックペイント株式会社／ヴァーナル株式会社／佐藤食品株式会社／サモス薬品株式会社／ロイヤルホールディングス株式会社／福岡県公立学校教員(中学)株式会社／福岡市公立学校教員(中学)株式会社／学校法人九州産業工科大学九州産業高等学校／福岡市内中学校／環境テクノ株式会社／サニックス株式会社／キューセツAQUA株式会社／サニクニク九州株式会社／東亜非破壊検査株式会社／日本ライフサポート株式会社／ワールドインテック株式会社／ニシタ株式会社／長崎市消防局／KMバイオロジクス株式会社／江藤酸業株式会社など



就職率 100%・実就職率 97.2%

智能機械工学科

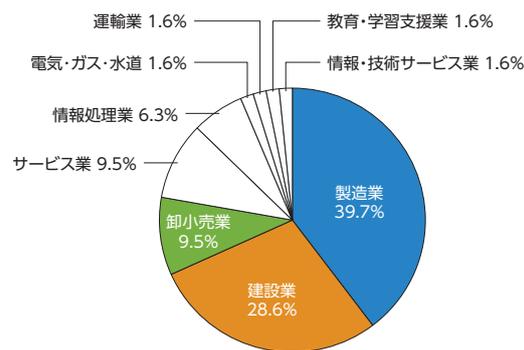
前澤工業株式会社／山九株式会社／太平電業株式会社／イクス株式会社／佐藤建設工業株式会社／ジョンソンコントロールズ株式会社／新晃アトム株式会社／日鉄テクノエンジニアリング株式会社／三菱電機プラントエンジニアリング株式会社／旭有機材株式会社／スチールセンター株式会社／精発ばね工業株式会社／オート電子株式会社／矢崎総業株式会社／住友原製作所株式会社／リコージャパン株式会社／ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社／アクセントシステム株式会社／三菱電機システムサービス株式会社／三菱電機ビルソリューションズ株式会社／アビスト株式会社／トランスコスモス株式会社／スタッフサービスエンジニアリング事業本部株式会社／テクノプロテクノプロ・デザイン株式会社／株式会社メイテックフィルダース株式会社／アマノ株式会社／日産オートモーティブテクノロジ株式会社／SOLIZE株式会社／新明工業株式会社／中興エンジニアリング株式会社／デンソーテクノ株式会社／三菱電機メカトロニクスエンジニアリング株式会社／トーテックアメニティ株式会社／I-PEX株式会社／住友電設株式会社／積水ハウス株式会社／大和ハウス工業株式会社／パナソニックEWエンジニアリング株式会社／東洋シャッター株式会社／新晃工業株式会社／パナソニックホールディングス株式会社／株式会社村造船所株式会社／エスベック株式会社／メルコパワーデバイス株式会社／西川ゴム工業株式会社／株式会社ヤマ／テルモ山口株式会社／三浦工業株式会社／アテックス株式会社／丸九電工株式会社／ダイキンHVACソリューション九州株式会社／西日本プラント工業株式会社／サニックス株式会社／濱田重工株式会社／不二精機株式会社／昭和鉄工株式会社／アイム電機工業株式会社／日本エレベーター製造株式会社／フジマックネオ株式会社／三井ハイテック株式会社／安川電機株式会社／オングエンジニアリング株式会社／九州テック株式会社／豊前東芝エレクトロニクス株式会社／マリナーハイドロテクノ株式会社／九州旅客鉄道株式会社／博多港サイロ株式会社／オーレック株式会社／筑豊製作所株式会社／アスパーク株式会社／九州技術開発株式会社／唐津市役所株式会社／メルコアドバンスデバイス株式会社／不動産設計株式会社／ジャパンセミコンダクター大分事業所株式会社／大分キャンパル株式会社など



就職率 99.0%・実就職率 99.0%

電気工学科

株式会社前澤エンジニアリングサービス株式会社／日本リーテック株式会社／明電舎株式会社／三光設備株式会社／東光電気工事株式会社／日本ファシリティ株式会社／HEXELWorks株式会社／日本マイクロニクス株式会社／プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社／株式会社峰製作所株式会社／NECプラットフォームズ株式会社／中央システム株式会社／東テック株式会社／エス・イー・シーエレベーター株式会社／日立ビルシステム株式会社／三菱電機ビルソリューションズ株式会社／アルプス技研株式会社／ミネベアミツミ株式会社／株式会社コムCS東海株式会社／新明工業株式会社／株式会社マキノ株式会社／レッドパボン株式会社／三菱電機メカトロニクスエンジニアリング株式会社／フジテック株式会社／I-PEX株式会社／浅海電気株式会社／栗原工業株式会社／パナソニックEWエンジニアリング株式会社／東洋シャッター株式会社／関西電力株式会社／エレコム株式会社／西日本旅客鉄道株式会社／三浦工業株式会社／丸九電工株式会社／黒崎播磨株式会社／協立エアテック株式会社／アイム電機工業株式会社／三井ハイテック株式会社／安川電機株式会社／ジェイエムテクノロジ株式会社／アドーワテック株式会社／ヤマエ久野株式会社／株式会社カミヤ株式会社／福岡トヨタ自動車株式会社／福岡県公立学校教員(高校)株式会社／ニシタ株式会社／明興テクノス株式会社など



就職率 100%・実就職率 100%

はじめに  
大学の主要な取組成果

学校改革の具体的な取組状況

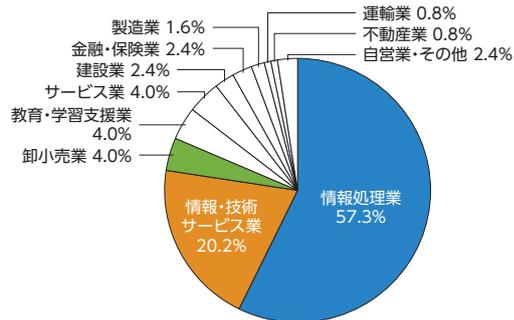
各設置校の状況

ファミリー

バックデータ集

## 情報工学科

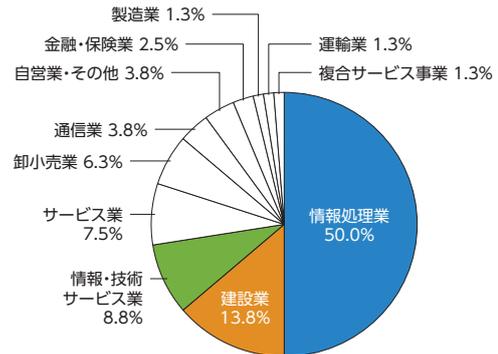
株式会社/高砂熱学工業株式会社/新生テクノ株式会社/東芝テック株式会社/株式会社アイフォー/NECネットワークスエスアイ株式会社/NS W株式会社/GMOインターネットグループ株式会社/株式会社システナ/株式会社ジャステック/株式会社BlueMeme/株式会社ピリッツ/株式会社プロビジョン/株式会社イメージ/株式会社SIG/株式会社NTTデータMHIシステムズ/エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社/株式会社キネティックサイス/キャロルシステム株式会社/株式会社クレイトソリューションズ/コムシス情報システム株式会社/サン情報サービス株式会社/CTCテクノロジー株式会社/株式会社システム・サイエンス/株式会社SHINKO/株式会社スタイル・フリー/デーコム株式会社/東京コンピュータサービス株式会社/日本ソフト技術株式会社/株式会社ニューズピックス/ユニテックス株式会社/株式会社ラドネット/株式会社スタイル・エッジグループ/株式会社ジェイテック/株式会社アウトソーシングテクノロジ/株式会社エイジェック/株式会社テクノプロテクノ/エンジニアリング株式会社/株式会社テクノプロテクノ/プロ・デザイン社/日研トータルソーシング株式会社/株式会社ビネックステクノロジーズ/株式会社ヒト・コミュニケーションズ/UTエイム株式会社/富士通株式会社/株式会社アイネット/株式会社アルファシステムズ/富士ソフト株式会社/株式会社ジャパニクス株式会社/株式会社シンクロジック/株式会社電子工学センター/東芝デジタルソリューションズ株式会社/日立情報通信エンジニアリング株式会社/株式会社テラプロ/株式会社アルトナー/株式会社アルプス技研/SOLIZE株式会社/株式会社アルゴ/株式会社第一コンピュータリソース/トーテックアメニティ株式会社/センコー情報システム株式会社/ナビオコンピュータ株式会社/株式会社SNK/株式会社NTTマーケティングアクト/パーソナルエクセルHRパートナーズ株式会社/株式会社ナノコネク/三菱電機ソフトウェア株式会社/株式会社九電工/アイコムソフトウェア株式会社/株式会社イノス/FFGコンピュータサービス株式会社/応研株式会社/九州NSソリューションズ株式会社/株式会社九州DTS/株式会社九州日立システムズ/Qsol株式会社(旧九電ビジネスソリューションズ)/株式会社サンレイズ/株式会社シー・ソフトウェア/株式会社システムニッソウ/システムックスCNA株式会社/株式会社ソフトサービス/TIS西日本株式会社/株式会社ランテック/アプライド株式会社/エコー電子工業株式会社/株式会社新出光/福岡トヨタ自動車株式会社/西日本シティ銀行株式会社/PayPayカード株式会社/福岡県公立学校教員(中学)/福岡市公立学校教員(中学)/東海大学付属福岡高等学校/株式会社東海レジャー/株式会社にしけい/株式会社アソウ・アルファ/株式会社ワールドインテック/株式会社佐賀電算センター/佐賀県公立学校教員(中学)/株式会社RKKCS/株式会社ATTS/株式会社オーイーシー/株式会社スリー・エイ・システムズなど



就職率 100%・実就職率 97.6%

## 情報通信工学科

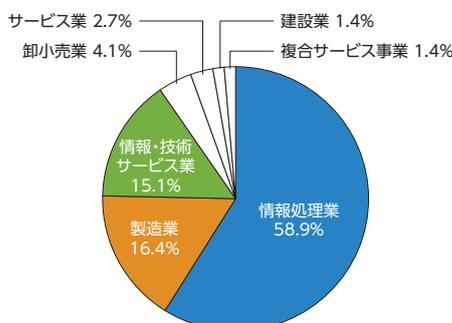
株式会社サンコーポレーション/株式会社関電工/株式会社ミラノ・ワン/サンコムシステムエンジニアリング株式会社/日本コムシス株式会社/株式会社インターネットイニシアティブ(IIT)/株式会社SBテクノロジー/株式会社NECネットワークスエスアイ株式会社/株式会社セラク/株式会社DTS/株式会社ISTソフトウェア/株式会社エグジオ・デジタルソリューションズ株式会社/株式会社SETソフトウェア株式会社/株式会社SKB/SCS Kシステムマネジメント株式会社/株式会社エム・アンド・アイ/CTCテクノロジー株式会社/株式会社第一生命情報システム株式会社/株式会社ディアイティ/株式会社情報システム/東京コンピュータサービス株式会社/株式会社日本キャスト/日本電気航空宇宙システム株式会社/株式会社ブリヂストンソフトウェア株式会社/株式会社放送衛星システム(B-SAT)/日本放送協会(NHK)/リコージャパン株式会社/スターバックスコーヒージャパン株式会社/株式会社総合警備保障株式会社/一般財団法人日本建設情報総合センター/株式会社エイジェック/株式会社テクノプロテクノ/エンジニアリング株式会社/株式会社テクノプロテクノ/プロ・デザイン社/日研トータルソーシング株式会社/株式会社Modis株式会社/株式会社サイバーコム株式会社/太陽建機レンタル株式会社/株式会社アイアス/日本エレクトロニクスシステムズ株式会社/西日本電信電話株式会社(NTT西日本)/株式会社日立ソリューションズ西日本/ニシム電子工業株式会社/株式会社NTTデータNCB/応研株式会社/株式会社キヤノンアルゴソリューションズ株式会社/株式会社九州日立システムズ株式会社/株式会社Gcomホールディングス株式会社/株式会社シティアスコム株式会社/株式会社センリンマップテック株式会社/株式会社トリガ/株式会社BCC/ユニティ・ソフトウェア株式会社/株式会社富士通Japanソリューションズ九州株式会社/株式会社博通社/アプライド株式会社/株式会社トライアルベネフィット/PayPayカード株式会社/株式会社九州シー・アイ・シー/内定(企業名不明)/株式会社佐賀IDC/長崎西彼農業協同組合/株式会社スリー・エイ・システム/株式会社鹿児島銀行/自営業など



就職率 100%・実就職率 98.8%

## 情報システム工学科

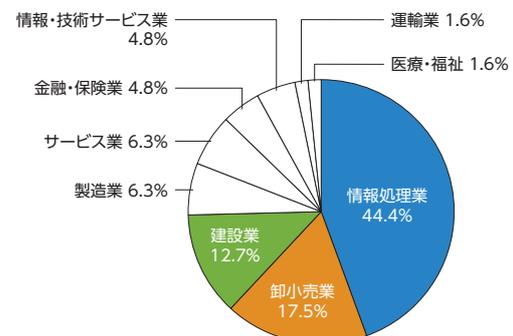
株式会社エイジェックO&Mインテグレート/株式会社OKIソフトウェア/株式会社フジキン/NSW株式会社/株式会社コア九州カンパニー/株式会社システナ/株式会社システム情報/株式会社セラク/株式会社BlueMeme/株式会社協栄産業株式会社/株式会社ISIDインターネットテクノロジー/株式会社ATGS/NTTコムウェア株式会社/株式会社NTTデータニューソン/株式会社キヤノンITソリューションズ株式会社/株式会社GSI/株式会社スタイル・フリー/株式会社テクノ情報システム/株式会社ニコシシステム/株式会社日立ソリューションズ・テクノロジ/株式会社富士電機ITソリューション株式会社/三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社/株式会社レノボ・ジャパン合同会社/日商エレクトロニクス株式会社/株式会社アウトソーシングテクノロジ/株式会社エイジェック/株式会社スタッフサービスエンジニアリング事業本部/WDB工務株式会社/株式会社中央エンジニアリング/アマノ株式会社/富士ソフト株式会社/株式会社日立社会情報サービス/株式会社アルプス技研/株式会社菊水化学工業株式会社/株式会社ネットフォース株式会社/株式会社トーテックアメニティ株式会社/株式会社立花エレテック/株式会社ハーテック・ミワ/株式会社ケーイーシー/株式会社長府製作所/株式会社西部電気工業株式会社/株式会社サンテック九州/株式会社正興電機製作所/株式会社三井ハイテック/株式会社豊前東芝エレクトロニクス株式会社/株式会社メディアファイブ株式会社/アイコムソフトウェア株式会社/株式会社FCCテクノ/株式会社キヤノンアルゴソリューションズ株式会社/株式会社九州NSソリューションズ株式会社/株式会社九州DTS/Qsol株式会社(旧九電ビジネスソリューションズ)/株式会社ゲット/株式会社サンレイズ/JR九州システムソリューションズ株式会社/株式会社ソフトネット/株式会社ライフクリエイト/株式会社ネオ倶楽部/株式会社アスパーク/株式会社ネクストライン/大分県キヤノン株式会社/株式会社オーイーシー/株式会社システム開発/株式会社崎県ソフトウェアセンターなど



就職率 100%・実就職率 100%

## システムマネジメント学科

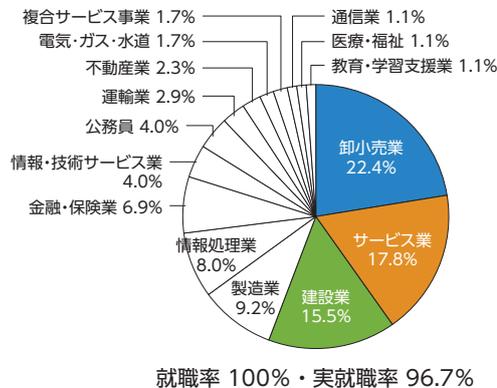
株式会社東工エンジニアリング/横河ソリューションサービス株式会社/KYB株式会社/株式会社NSD/株式会社クロスキャット/株式会社システナ/株式会社アクシス/株式会社BlueMeme/株式会社デジタル・インフォメーション・テクノロジ/株式会社ISTソフトウェア株式会社/株式会社アルファウェア/株式会社エイチフロンティア株式会社/株式会社エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社/株式会社ココト/シグマトロン株式会社/株式会社スタイル・フリー/株式会社タウン・システム/株式会社日立テレWands/日本クリエイティブシステム株式会社/ヤマト運輸株式会社/株式会社ジェコス株式会社/株式会社リコージャパン株式会社/株式会社スターバックスコーヒージャパン株式会社/株式会社STAYGOLD/株式会社/株式会社東和エンジニアリング/トランスコスモス株式会社/株式会社アウトソーシングテクノロジ/日研トータルソーシング株式会社/株式会社アルファシステムズ/富士ソフト株式会社/協立システム開発株式会社/株式会社サン電工社/ゼオライト株式会社/株式会社ドコモCS九州/西部電機株式会社/三友機器株式会社/株式会社ディ・アイ・エス/株式会社YEDIGITAL/九州NSソリューションズ株式会社/株式会社ゲット/株式会社システムニッソウ/株式会社日本ノベルティ/株式会社福岡情報ビジネスセンター/イワタニ九州株式会社/株式会社ニシイ/日野出株式会社/福岡大同青果株式会社/株式会社モス食品/トヨタカローラ福岡株式会社/西日本シティ銀行株式会社/株式会社福岡銀行/NPO法人つながろう・アースフレンズ株式会社/株式会社サンクリン九州株式会社/株式会社マイティエース株式会社/株式会社佐賀銀行/株式会社LibWork株式会社/株式会社アーバンライク株式会社/SYSKEN株式会社/RKKCS株式会社/株式会社崎県ソフトウェアセンターなど



就職率 98.4%・実就職率 98.4%

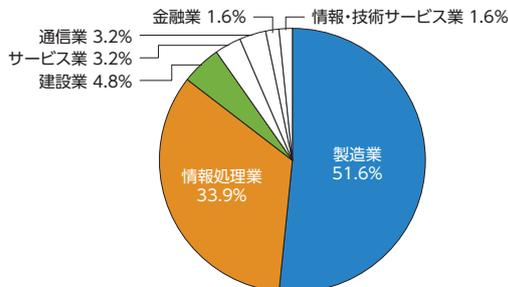
## 社会環境学科

株式会社Maverick / 株式会社かわでん / 株式会社PCER / 株式会社千葉県民球団 / 日特建設 / 小野田ケミコ / 新菱冷熱工業株式会社 / 中央開発 / 一建設 / 株式会社HEXELWorks / 前田道路 / 三菱電機冷熱プラント / 株式会社ノダ / 日本製鉄株式会社 / 株式会社電業 / サクサ / 株式会社システナ / 株式会社ソフトウェア / NDIソリューションズ / 株式会社サンクローズシステムズ / セントラルソフト / 日本ビジネスシステムズ / 株式会社ディ・アイ・システム / 日本通運 / 日本郵便 / 新光商事 / 東テック / 旭エレクトロニクス / 株式会社巴商会 / 三菱電機住環境システムズ / コーポレーション / 渡辺パイプ / 株式会社ウイルプラスホールディングス / 株式会社オランダ / スターバック / コーヒー / 株式会社ナヤセ / 株式会社バシカメラ / 損害保険ジャパン / 旧損保ジャパン / 日本興亜 / 株式会社木下不動産 / GATES / 株式会社インソース / 株式会社パスコ / 株式会社アクティオ / 株式会社NTTSportsX / ティー・ティー・コーポレーション / 富士レックス / トランスコスモス / 株式会社エイジェック / 株式会社マキキョー / 自衛隊 / 東京消防庁 / 株式会社日本コンピュータコンサルタント / 株式会社ティー・アイ・リアル / 太陽建設 / 株式会社リイツメディカル / ELI / ソーラーコーポレーション / 株式会社大阪防水建設 / 大和冷機工業 / フクシマガリレイ / 株式会社アイコム / 株式会社日本ビュアシステム / 英和 / 株式会社トップ / 住友生命保険相互会社 / 株式会社ビクター / 西尾レントオール / 株式会社極東技コンコンサルタント / 非破壊検査 / 株式会社ホクシンメディカル / 株式会社アマノ / 株式会社イズミ / 株式会社ウズナル / 株式会社プロス / 徳島県警察本部 / 株式会社九電工 / キューハイテック / ジーアンドエスエンジニアリング / 株式会社環境開発 / 九鉄工業 / 西日本高速道路エンジニアリング九州 / 西部電気工業 / JAうすきたまごファーム / 株式会社もち吉 / 株式会社新菱 / 株式会社水キャニウム / 大石産業 / 丸東産業 / 吉村オートパーツ / 九洲酸素 / ユニティ・ソフト / 株式会社KBKプラス / 株式会社九州共栄システムズ / 株式会社サポート福岡本店 / ANA福岡空港 / 株式会社ヤマックス / 株式会社丸海運 / 小野建機 / 株式会社キヤ / 株式会社新出光 / 株式会社九州クボタ / 九州風雲堂販売 / 正見 / 株式会社はせがわ / 株式会社エト / 株式会社サンリブ / 九州スズキ販売 / 九州三菱自動車販売 / 農事組合法人福栄組合 / 福岡ダイハツ販売 / 福岡トヨタ自動車 / 福岡トヨタ販売 / 株式会社福岡中央銀行 / 福岡信用金庫 / 株式会社福岡銀行 / 西日本シティ銀行 / 株式会社ほけんの110番 / 株式会社シノグループ / 株式会社古賀組 / 医療法人財団池友会福岡新水巻病院 / 株式会社アビタシオン / 学校法人巨樹の会令和健康科学大学 / 株式会社ACN九州 / 福岡八女農業協同組合 / JAふくおか八女 / 株式会社ニックス / コカ・コーラボトラーズジャパン / 株式会社CTIランドプランニング / 株式会社クリーン九州 / 株式会社ヨタレント / 株式会社にしけい / 株式会社新協社 / 九電産業 / 日本ライフサポート / 直方市消防局 / コトバキ製紙 / ダレックス / ホンダカーズ佐賀 / 株式会社佐賀銀行 / 伊万里・有田消防本部 / 佐賀市役所 / 扇精光コンサルタント / トヨタカローラ長崎 / ジョウツ / 生活協同組合コープおおいた / 大分県庁 / 株式会社末吉建設 / 高崎信用金庫 / 宮崎梅田学園 / 株式会社コアガス日本 / 株式会社西原商會 / 株式会社キャリアナ大隅 / 株式会社鹿児島銀行 / JA鹿児島県連など



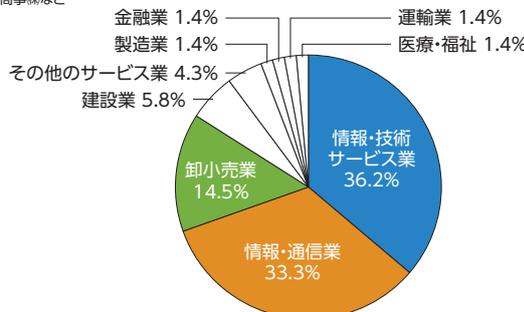
## 大学院

株式会社かわでん / 高砂熱学工業株式会社 / NTTインフラネット / 株式会社ダイショー / 古河電気工業株式会社 / SMC / 芝浦機械 / 日機装 / 株式会社牧野フライス製作所 / 株式会社東芝 / 三菱自動車工業株式会社 / フクダ電子 / 株式会社村田製作所 / 株式会社原製作所 / 株式会社パンダタイムコエンターテイメント / 株式会社くふうカンパニー / SCSK / NEC ネットウェア / 株式会社NSW / 株式会社システナ / デジタル・インフォメーション・テクノロジ / 株式会社ISID / インターテクノ / ロジ / エイチ・シー・ネットワークス / NECソリューションイベータ / NECフィールディング / NTTコムウェア / 近代システムビューロー / サン情報サービス / 総合警備保衛 / 株式会社小野測器 / 東芝デバイス&ストレージ / 富士ソフト / 東芝デジタルエンジニアリング / 東芝デジタルソリューションズ / 富士通ネットワークソリューションズ / セイコーエプソン / タカラバイオ / 株式会社GSユアサ / 京セラ / 京セラコミュニケーションシステム / 株式会社NSC / パナソニックホールディングス / サノヤホールディングス / 株式会社インタークエスト / アドバンテック / 株式会社ドコモCS九州 / 株式会社アステック / 株式会社三井ハイテック / 株式会社ゼンリン / Qsol / 株式会社旧九電ビネスソリューションズ / QTnet / PayPayカード / 株式会社西日本シネ用品 / 株式会社ジャパンセミコンダクター大分事業所 / 株式会社トヨタ車体研究所 / PMT technologies (Suzhou) Co., Ltd. / 精密製造研究院など



## 短期大学部

佐藤建設工業株式会社 / 大黒電機株式会社 / 株式会社エム・アンド・アイ / 株式会社システム・サイエンス / 株式会社システムハウス / アイエヌジー / ジャパンシステム / 株式会社ポリアオニー / デジタル / 株式会社オンデーズ / 株式会社UNICS / 株式会社東京サウンド・プロダクション / 株式会社アウトソーシングテクノロジ / 株式会社クロスソリューション / 株式会社エイジェック / nmsエンジニアリング / 株式会社スタッフサービスエンジニアリング事業本部 / 日研トータルソーシング / 株式会社平山 / 株式会社マイナビEdge / 株式会社メイトックフィルダース / 富士通 / ジャパンアス / サイバーコム / 協立システム開発 / 東芝ITサービス / トーテックアメニティ / パーソルクロステクノロジ / 株式会社浅海電気 / ナビコンコンピュータ / 株式会社日本トラフィックサービス / コーナン商事 / 株式会社イズミテック / 株式会社ダイキエンジニアリング / 株式会社ガン / 株式会社エス・エス・エル / 株式会社サンテック / システムクス / 株式会社スミオン / 株式会社コーポレーション / 株式会社ディジテック / 株式会社ニシコン / 株式会社ネスコウイング / 株式会社HAT / 株式会社岩田産業 / 株式会社はせがわ / 株式会社アスタリスタ / 株式会社サンキュードラッグ / 株式会社BC / 福岡サバル / 福岡トヨタ自動車 / 福岡信用金庫 / 株式会社ニシケン / 株式会社アルテクス / 名村情報システム / 株式会社テクノアート / 株式会社テクノロジーイティブ / 植松商事など



## 令和4年度進学状況 令和5年3月卒業生

(敬称略・順不同)

### ■大学院

- 福岡工業大学大学院 工学研究科 博士後期課程 (知能情報システム 情報制御システム)
- 名古屋大学大学院 博士課程
- 金沢大学大学院 博士課程

### ■大学

- (国公立大学・大学院)
  - 九州大学大学院 総合理工学府 修士課程
  - 九州工業大学 情報工学府 博士前期課程
  - 大分大学 工学部 機械エネルギー専攻
  - 佐賀大学 理工学部 機械エネルギー工学コース
  - 長崎大学 電気電子工学科
  - 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 博士前期課程
- 福岡教育大学大学院
- (私立大学・大学院)
  - 明治大学専門職大学院 会計専門職研究科
  - 福岡工業大学大学院 工学研究科 修士課程
  - 福岡工業大学大学院 社会環境学研究科 修士課程

### ■短期大学部

- (国公立大学)
  - 群馬大学 情報学部
  - 静岡大学 情報学部
  - 島根大学 総合理工学部
  - 佐賀大学 理工学部
  - 鹿児島大学 工学部
  - 福知山公立大学 情報学部
  - 北九州市立大学 国際環境工学部
- (私立大学)
  - 中村学園大学 栄養科学部
  - 中村学園大学 流通科学部
  - 久留米大学 経済学部
  - 久留米大学 商学部
  - 久留米工業大学 工学部
  - 九州産業大学 理工学部
  - 九州産業大学 国際文化学部
- 九州産業大学 芸術学部
- 西日本工業大学 デザイン学部
- 九州情報大学 経営情報学部
- 日本大学 商学部
- 環太平洋大学 次世代教育学部
- 福山大学 工学部
- 福岡工業大学 情報工学部
- 福岡工業大学 社会環境学部

# 令和4年度附属城東高校進路状況(合格実績)

## ■令和4年度(5年度入試)進学(合格者)実績<福岡工業大学・同短期大学部除く、既卒者含む>

(敬称略・順不同)

国立大学		私立大学			
九州大学	5	早稲田大学	1	近畿大学	16
九州工業大学	2	上智大学	1	神戸女子大学	1
福岡教育大学	2	東京理科大学	2	岡山理科大学	2
佐賀大学	10	明治大学	3	環太平洋大学	3
長崎大学	2	青山学院大学	1	広島経済大学	1
熊本大学	3	中央大学	1	広島国際大学	2
大分大学	2	法政大学	3	松山大学	1
宮崎大学	2	関西学院大学	1	テイラーズ大学	2
鹿児島大学	2	同志社大学	10	(九州地区)	
琉球大学	1	立命館大学	15	西南学院大学	50
群馬大学	1	流通経済大学	1	福岡大学	191
大阪大学	1	国際医療福祉大学	3	九州産業大学	137
山口大学	1	共栄大学	1	九州栄養福祉大学	3
公立大学		千葉工業大学	1	九州共立大学	12
北九州市立大学	13	大妻女子大学	1	九州国際大学	4
福岡女子大学	3	工学院大学	2	九州女子大学	3
長崎県立大学	2	国士舘大学	1	久留米工業大学	11
熊本県立大学	1	駒澤大学	5	久留米大学	26
名桜大学	1	昭和女子大学	1	純真学園大学	6
都留文科大学	1	創価大学	2	西南女学院大学	4
山陽小野田市立山口東京理科大学	1	大東文化大学	1	聖マリア学院大学	4
下関市立大学	1	拓殖大学	7	第一薬科大学	1
国公立大学 計		帝京大学	12	筑紫女学園大学	17
		東海大学	5	中村学園大学	19
準大学等		東京電機大学	2	西日本工業大学	4
防衛大学校	2	桐朋学園大学	1	日本経済大学	2
職業能力開発総合大学校	2	日本体育大学	3	日本赤十字九州国際看護大学	3
九州職業能力開発大学校	7	日本赤十字看護大学	1	福岡看護大学	1
千葉職業能力開発短期大学校	1	日本大学	2	福岡国際医療福祉大学	7
準大学等 計		文化学園大学	1	福岡女学院看護大学	5
		神奈川工科大学	1	福岡女学院大学	30
		関東学院大学	1	令和健康科学大学	10
		洗足学園音楽大学	1	西九州大学	1
		金沢工業大学	3	活水女子大学	1
		朝日大学	2	長崎国際大学	1
		愛知学院大学	1	長崎総合科学大学	1
		名古屋芸術大学	2	熊本学園大学	1
		南山大学	2	崇城大学	4
		日本福祉大学	1	日本文理大学	2
		京都産業大学	1	別府大学	1
		京都精華大学	1	九州保健福祉大学	1
		佛教大学	1	宮崎国際大学	1
		龍谷大学	2	鹿児島純心女子大学	1
		大阪学院大学	2	私立大学 計	
		大阪芸術大学	1	712	
		大阪産業大学	5	大学 合計	
		大阪電気通信大学	1	781	
国公立大学・準大学等 合計				短期大学	
				25	

## ■令和4年度就職(合格者)実績<令和5年3月卒業者> (企業等名:敬称略・アイウエオ順)

- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)エディオン</li> <li>・F-LINE(株)</li> <li>・(株)オオサカネーム</li> <li>・岡山シーガルズ(株)</li> <li>・(株)オンデーズ</li> <li>・(株)関電工</li> <li>・九州電力(株)</li> <li>・(株)九電工</li> <li>・(株)九電送配サービス</li> <li>・(株)キューヘン</li> <li>・京セラ(株)</li> <li>・(株)きんでん</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)クボタ</li> <li>・コカ・コーラボトラーズ</li> <li>・ジャパンベンディング(株)</li> <li>・沢井製薬(株)</li> <li>・三友ボディー(株)</li> <li>・(株)ジャパンシーフーズ</li> <li>・スカイマーク(株)</li> <li>・西武鉄道(株)</li> <li>・(一社)全日検九州支部</li> <li>・(株)ダイショー</li> <li>・ダイハツ九州(株)</li> <li>・千代田計装(株)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)デンソー</li> <li>・東京地下鉄(株)</li> <li>・東通西日本(株)</li> <li>・(株)東洋システム</li> <li>・トヨタ自動車(株)</li> <li>・トヨタ自動車九州(株)</li> <li>・トヨタ車体(株)</li> <li>・航海造船(株)</li> <li>・西日本高速道路(株)</li> <li>・日東電工(株)</li> <li>・ニビシ醤油(株)</li> <li>・ハウス食品(株)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・八光オートメーション(株)</li> <li>・(株)日立産機テクノサービス</li> <li>・福岡ダイハツ販売(株)</li> <li>・(株)福岡電設</li> <li>・福岡トヨタ自動車(株)</li> <li>・福岡ロジテム(株)</li> <li>・(株)福岡電設</li> <li>・文化シャッター(株)</li> <li>・マツダ(株)</li> <li>・(宗)宗像大社</li> <li>・菱電エレベータ施設(株)</li> </ul> |
|--|--|--|--|

## ■令和4年度公務員試験合格者実績 (敬称略・アイウエオ順)

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家一般(防衛省)</li> <li>・国家一般(国土交通省)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市職員(技術)</li> <li>・北九州市役所(技術)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県警察</li> <li>・兵庫県警察</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般曹候補生(陸上)</li> <li>・一般曹候補生(海上)</li> </ul> |
|--|---|---|--|

# 研究活動

## ■外部研究資金の取得実績推移

(単位:千円・件)

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
共同研究	金額	11,083	10,507	10,355	37,472	18,403	26,517	26,933	14,650	35,440	93,300
	件数	15	14	18	19	21	21	31	21	32	36
受託研究	金額	13,113	8,781	14,625	18,106	42,203	35,650	119,094	76,957	90,417	41,235
	件数	9	6	11	13	13	7	14	19	19	13
奨学寄付金	金額	500	7,949	18,635	14,426	17,200	11,222	20,270	19,520	8,600	5,180
	件数	1	9	20	16	15	10	31	23	14	12
科学研究費補助金※	金額	53,690	71,310	74,360	92,820	79,820	90,220	73,060	90,350	77,740	85,280
	件数	39	41	48	53	60	63	61	64	64	73
その他外部助成金	金額	23,570	653	540	0	1,620	0	3,850	550	10,679	7,755
	件数	10	4	1	0	2	0	18	26	31	25
合計	金額	101,956	99,200	118,515	162,824	159,246	163,609	243,207	202,027	222,876	232,750
	件数	74	74	98	101	111	101	155	153	160	159

※研究分担者受入分・外部分担者交付分を除く

## ■科学研究費申請・採択状況の推移(短期大学部含む、H27～特任教員含む)

(単位:件・%・千円)

		年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
申請	申請総教員数		151	155	161	158	158	161	157	155	157	158
	新規申請件数		61	69	71	78	91	82	86	80	72	78
	申請率※1		40.4	44.5	44.1	49.4	57.6	50.9	54.8	51.6	45.9	49.4
採択	総採択件数		39	41	48	53	60	63	61	64	64	73
	内訳	新規	10	15	20	13	20	20	18	17	9	20
		継続	29	26	28	40	40	43	43	47	55	53
	採択率(新規)※2		16.4	21.7	28.2	16.7	22.0	24.4	20.9	21.3	12.5	25.6
	採択率(新規+継続)※3		43.3	43.2	48.5	44.9	45.8	50.4	47.3	50.4	50.4	55.7
	金額		53,690	71,310	74,360	92,820	79,820	90,220	73,060	90,350	77,740	85,280

※1 申請率:新規申請件数/総教員数 ※2 採択率(新規):新規採択件数/新規申請件数 ※3 採択率(新規+継続):総採択件数/(新規申請件数+継続採択件数)

## ■令和4年度外部大型研究支援事業(府省庁所管) 取組実績(採択件数12件、採択金額合計98,064千円)

No.	研究助成機関名等	参画(代表・分担)している研究テーマ・内容等	研究者(職位:R4)	学科等
1	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)	触媒インフォマティクスの創成のための実験・理論・データ科学研究	蒲池 高志教授	生命環境化学科
2	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)	【SATREPS/東北大学主幹】バイポーラ膜電気透析による炭酸塩化技術の開発	久保 裕也准教授	生命環境化学科
3	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)	【未来社会創造事業】非線形・複雑系に着目した認知症のロバストネス数理モデルとそのハブ因子の解明	山口 裕助教	情報工学科
4	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)	大学発新産業プログラム(大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援)プログラム推進費	-	総合研究機構
5	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	航空機用先進システム実用化プロジェクト/次世代電動推進システム研究開発/高効率かつ高出力電動推進システム	井上 昌睦教授	電気工学科
6	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)	外科手術のデジタルトランスフォーメーション:情報支援内視鏡外科手術システムの開発	徳安 達士教授	情報システム工学科
7	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター(SBIR)	次世代農業生産技術「Plant Drug Delivery System」の開発	松山 清教授	生命環境化学科
8	国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)	2022年度NIMS連携拠点推進制度「多芯高温超伝導薄膜評価方法の開発」	井上 昌睦教授	電気工学科
9	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)	フッ化水素酸を用いないタンタル・ニオブの新製錬	久保 裕也准教授	生命環境化学科
10	国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所	避難促進と流域治水のための防災Go!®の開発	上杉 昌也准教授	社会環境学科
11	国土交通省 九州地方整備局「令和3年度河川砂防技術研究開発公募地域課題(河川生態)」	大規模な洪水攪乱下での河川構造の複雑性の機能と河川生態系の保全・回復に関する研究	乾 隆帝教授	社会環境学科
12	公益財団法人科学技術交流財団 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech)	世界初のガラス製両面微細マイクロレンズアレイを大量生産する超精密金型加工技術の開発	仙波 卓弥教授	知能機械工学科

はじめに

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的な取組状況

各設置校の状況

フアンリテイ

バックデータ集

## ■令和4年度登録案件一覧 登録案件5件

No.	国	特許番号	登録日	発明の名称	発明者(職位:R4)	学科
1	日本	特許第7072269号	2022/05/12	ボイド率計測装置およびボイド率計測方法	江頭 竜教授	知能機械工学科
2	日本	特許第7098175号	2022/07/01	気液溶解装置	江頭 竜教授	知能機械工学科
3	日本	特許第7127785号	2022/08/22	情報処理システム、内視鏡システム、学習済みモデル、情報記憶媒体及び情報処理方法	徳安 達士教授	情報システム工学科
4	日本	特許第7204211号	2023/01/05	パッチ式マイクロバブル液生成装置及び生成方法	江頭 竜教授	知能機械工学科
5	中国	ZL202010075362.2	2022/07/27	計測システム、計測方法および計測プログラム	盧 存偉教授	電子情報工学科

## 教育関係補助金の交付状況

### ■私立大学等経常費補助金(大学・大学院・短期大学部)の交付実績推移

(単位:千円)

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
一般補助	520,271	551,908	445,929	532,698	533,344	569,140	600,605	532,955	490,469	574,029
特別補助	96,906	137,690	168,196	160,145	241,195	232,182	160,019	168,328	122,045	139,987
合計	617,177	689,598	614,125	692,843	774,539	801,322	760,624	701,283	612,514	714,016
学生数 (大学・大学院・短期大学部)	4,695	4,694	4,806	4,757	4,834	4,821	4,764	4,757	4,743	4,720
学生1人あたり 経常費補助金	131	147	128	146	160	166	160	147	129	151

### ■福岡県私立学校経常費補助金(高校)の交付実績推移

(単位:千円)

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
経常費補助金	550,561	560,230	574,170	584,242	583,312	597,112	591,922	579,687	614,602	630,992
生徒数	1,967	2,024	2,023	2,059	2,114	2,082	1,978	1,992	1,946	1,942
生徒1人あたり 経常費補助金	280	277	284	284	276	287	299	291	316	325

### ■令和4年度文部科学省補助金交付実績

(単位:千円)

文科省補助区分	事業名	交付額
私立学校施設整備費補助金(令和3年度補正予算分)	B棟・D棟ネットワーク整備	37,502
私立大学等研究設備整備費等補助金	高度化する高周波・電磁波利用技術に対応できる技術者育成のための実験装置拡充(ベクトルネットワークアナライザー式)	20,920
私立高等学校等ICT教育設備整備推進事業費	ICT教育設備整備推進(クリエイティブルームADサーバー構築等)事業(高校)	13,428
私立学校施設整備費補助金	自動ドア化・スロープ化等段差解消工事	9,625
私立学校施設整備費補助金	空調設備設置工事	8,305
新型コロナウイルスワクチン接種促進事業費臨時補助金	新型コロナウイルスワクチン接種促進事業	116
合計		89,896

# 令和4年度資格取得実績

## ■教員免許取得者数

免許種類	学部	科目	取得者数
高校一種	工学部	理科	10
	工学部	工業	6
	情報工学部	数学	12
	情報工学部	情報	6
	社会環境学部	公民	4
合計			38

免許種類	学部	科目	取得者数
中学校一種	工学部	理科	8
	情報工学部	数学	12
	社会環境学部	社会	4
	合計		

## ■資格取得実績・大学

資格名称	資格者数
第三種電気主任技術者	7
公害防止管理者試験水質関係第1種	1
公害防止管理者試験水質関係第4種	3
第一級陸上無線技術士	7
第一級陸上特殊無線技士	12
第二級海上特殊無線技士	11
第三級海上特殊無線技士	10
危険物取扱者甲種	11
危険物取扱者乙種(1~6類)	13
エネルギー管理士	1
機械技術保全技能士2級	1
機械技術保全技能士3級	4
基本情報技術者試験(FE)	12
応用情報技術者試験	2
ITパスポート	39
情報セキュリティマネジメント試験	2
CCNA(Cisco Certified Network Associate)	1
上級バイオ技術者認定試験	2
中級バイオ技術者認定試験	10

資格名称	資格者数
2次元CAD利用技術者試験2級	15
CGエンジニア検定 エキスパート	2
CGエンジニア検定 ベーシック	2
Webクリエイター能力認定試験エキスパート	11
日本化粧品検定1級	3
日本化粧品検定2級	2
化粧品成分検定2級	2
NR・サプリメントアドバイザー	2
日商簿記検定2級	2
日商簿記検定3級	6
リテールマーケティング(販売士)2級	1
リテールマーケティング(販売士)3級	5
統計検定4級	2
eco検定(環境社会検定試験)	1
防災士	1
Microsoft Office Specialist Word	35
Microsoft Office Specialist Excel	33
Microsoft Office Specialist PowerPoint	18
合計	292

## ■資格取得実績・短期大学部

資格名称	資格者数
ITパスポート	1
Webクリエイター能力認定試験エキスパート	2
CGエンジニア検定 ベーシック	6
マルチメディア検定 ベーシック	3
日商簿記検定3級	1
Microsoft Office Specialist Word	3
Microsoft Office Specialist Excel	6
Microsoft Office Specialist PowerPoint	2
合計	24

# 国際交流

(大学名等敬称略・国別締結年順)

## ■国際交流協定校一覧(大学との協定締結校)

国名	大学名	締結年	協定内容						令和4年度交流学生数		令和3年度交流学生数	
			学術交流(包括)	共同研究	学生交流	教育・研究者交流	事務職員交流	留学生募集	本学からの派遣(オンライン含む)	協定校学生の受入(オンライン含む)	本学からの派遣(オンライン含む)	協定校学生の受入(オンライン含む)
アメリカ	フットヒルカレッジ	1992	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	カリフォルニア州立大学イーストベイ校	2003	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
	サンノゼ州立大学	2015	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	セントメアリーズカレッジカリフォルニア	2018	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
カナダ	センテニアルカレッジ	2023	○	-	○	○	-	-	-	-	-	
韓国	慶星大学校	1981	○	-	○	○	○	-	1	2	-	-
	亞洲大学校	1990	○	○	○	○	○	-	-	2	-	-
	啓明大学校工学部	2009	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
中国	大連理工大学	1988	○	○	○	-	-	○	1	-	2	-
	南京理工大学	1993	○	-	○	-	-	-	-	1	-	2
	青島科技大学	2008	○	○	○	○	○	○	-	10	2	17
	北華大学	2007	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
台湾	高雄科技大学	2017	○	○	○	○	○	○	43	39	27	36
	元智大学	2022	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校	2008	○	○	○	○	○	○	38	54	67	40
	チュロンコン大学理学部	2009	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	泰日工業大学	2017	○	○	○	○	○	○	1	-	-	-
	キングモンクット工科大学トンブリ校	2023	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
マレーシア	マラ工科大学	2023	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
オーストラリア	フェデレーション大学	2001	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
アルバニア	ティラナ工科大学	2009	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
イタリア	ナポリ・フェデリコ2世大学	2018	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
合計	22校								84	108	98	95

はじめに

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的な取組状況

各設置校の状況

フアンリテイ

バックデータ集

## ■令和4年度短期学生交換プログラム等の交流実績(協定校以外)

国名	大学・機関名	派遣・受入プログラム名	本学からの派遣 (わらいん数)	本学への受入れ (わらいん数)
アメリカ	南フロリダ大学	Virtually Assisted Language Exchange Program (FIT VALE) 南フロリダ大学との連携によるオンライン協働プログラム	10	8
フィリピン	Center for Premier International Language Studies (CPILS)	CPILSオンライン留学プログラム	10	-
フィリピン	Brighture English Academy	Brightureオンライン留学プログラム	3	-
シンガポール	シンガポール国立大学 (NUS)	社会環境学部 Virtual ECO-STEP	9	-
合 計			32	8

## ■令和4年度 Global Student Lounge (学内国際交流拠点GSL) 活動状況 GSL登録メンバー数:43名

活動内容・イベント名	実施回数	参加者数(延べ数)
GSL アクティビティ	12	355
英語校正	80	80
English café	40	136
FIT VALE	6	48
GSL Roundtable/Let's Chat	35	135
Global Challenge Program	6	198
プライベートレッスン(2名)	237	230
Halloween Party	1	14
CPILS事前レッスン	3	18
GSL Meetings	8	117
FIT TALKS コンテスト(ボランティア含む)	9	97
FIT writes コンテスト(ボランティア含む)	4	41
タイ派遣研修事前英語レッスン	3	38
台湾派遣研修事前語学レッスン	1	14
(GSLで開催したイベント等)		
新入生歓迎イベント	1	32
タイ留学生との国際交流イベント	1	35
グローバル座談会	1	13
スポーツ交流イベント	1	16
日本文化体験(お月見) イベント	1	14
カナダ留学座談会	1	9
Lounge Hour	4	87
春の国際交流イベント	1	23
合 計	456	1,750

## 地域連携 令和5年4月1日現在

(企業名等:敬称略・締結年月日順)

### ■自治体・企業・教育機関等との連携協定一覧

No.	協定名	協定先	締結年月日
1	㈱福岡銀行及び㈱ふくおかフィナンシャルグループと福岡工業大学との産学連携協力に関する協定	㈱福岡銀行、㈱ふくおかフィナンシャルグループ	H20.05.23
2	㈱西日本シティ銀行と福岡工業大学との産学連携協力に関する協定	㈱西日本シティ銀行	H20.07.28
3	東部地域大学連携に関する協定	九州産業大学、福岡女子大学	H23.11.09
4	国立大学法人九州工業大学と福岡工業大学との連携に関する協定	九州工業大学	H24.05.01
5	㈱西日本新聞社と学校法人福岡工業大学との包括的連携協力に関する協定	㈱西日本新聞社	H24.09.26
6	㈱九州電力との研究開発における包括連携協定	㈱九電工	H24.11.27
7	新宮町と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	新宮町	H26.03.20
8	古賀市と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	古賀市	H26.07.23
9	㈱正興電機製作所と福岡工業大学との包括的連携推進に関する協定	㈱正興電機製作所	H26.07.23
10	長崎大学、熊本県立大学及び福岡工業大学との環境分野における包括的連携協力における協定	長崎大学、熊本県立大学	H26.12.04
11	学校法人福岡工業大学と一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟との包括的連携に関する協定	(一社)ガールスカウト福岡県連盟	H27.02.15
12	福岡和白病院、創生会及び福岡工業大学の包括的連携に関する協定	(医) 池友会福岡和白病院、(福) 創生会	H27.03.05
13	中村学園大学短期大学部と福岡工業大学短期大学部との交流協定	中村学園大学短期大学部	H27.05.25
14	北九州工業専門学校、大分県立工科短期大学校及び福岡工業大学短期大学部との包括的連携協力	北九州工業専門学校、大分県立工科短期大学校	H27.07.10
15	芝浦工業大学と福岡工業大学との連携・協力に関する協定	芝浦工業大学	H28.10.07
16	長崎県島原市と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	島原市	H30.10.12
17	福岡未来創造プラットフォームに関する包括連携協定	福岡市、福岡商工会議所、(一社)福岡市中小企業経営者協会、九州産業大学、九州大学、サイバー大学、純真学園大学、西南学院大学、第一薬科大学、筑紫女学園大学、日本赤十字九州国際看護大学、日本経済大学、福岡国際医療福祉大学、福岡歯科大学、福岡女子大学、福岡大学、令和健康科学大学(R4.04.01加盟機関更新)	R1.05.09
18	篠栗町と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	篠栗町	R2.08.07
19	国立大学法人大分大学と学校法人福岡工業大学との包括連携・協力協定	大分大学	R2.08.25
20	災害時における施設等の利用協力に関する協定	福岡市	R3.12.01
21	福岡工業大学と福岡県警察とのサイバーセキュリティに関する協定	福岡県警察	R4.06.28
22	古賀市と福岡工業大学との仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する連携協定	古賀市	R4.11.07

## 附属施設①(ラーニング・ commonsの対応状況)

※R2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各施設の臨時閉館・利用制限及び遠隔授業実施等により、利用者が大幅に減少しています。

### ■学生用ラーニング commonsの整備状況 (令和5年3月31日現在)

図書館席数	534
情報基盤センター席数	611
本部棟(1階・3階)フリー学修スペース席数	27
A棟フリー学修スペース席数	311
B棟フリー学修スペース席数	300
C棟フリー学修スペース席数	284
D棟フリー学修スペース席数	88
E棟フリー学修スペース席数	111
α棟フリー学修スペース席数	190
合計	2,456

### ■図書館蔵書数推移 (H26以降、各年5月1日現在)

図書区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
和書		229,965	234,178	238,641	241,502	247,603	251,730	254,996	258,115	261,143	264,025
洋書		65,804	66,060	66,229	66,618	66,773	67,800	67,928	68,115	68,275	68,433
電子書籍(和・洋)		1,742	1,749	1,689	1,698	1,706	278	539	917	1,390	1,642
AV資料		3,341	3,357	3,635	763	768	774	781	781	781	780
合計		300,852	305,344	310,194	310,581	316,850	320,582	324,244	327,928	331,589	334,880

### ■図書館利用者数推移

利用者区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
学内利用者数		39,632	41,206	70,846	137,662	164,170	167,212	162,640	42,814	97,068	94,606
学外利用者数		6,118	12,191	29,531	34,007	27,701	28,831	27,811	3	85	281
合計		45,750	53,397	100,377	171,669	191,871	196,043	190,451	42,817	97,153	94,887

### ■図書館資料アクセス数推移 (H25以降)

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
図書資料貸出数		14,630	13,172	15,332	16,384	16,477	15,603	13,800	6,451	10,006	11,139
電子書籍閲覧数		-	266	685	1,042	1,213	972	1,758	4,732	4,936	5,122
ホームページアクセス数		66,604	70,725	180,654	208,533	201,813	194,016	196,615	168,429	115,109	102,544
学術情報データベース・電子ジャーナル等アクセス数		80,448	247,423	107,659	164,322	141,045	212,091	205,754	129,265	163,157	127,258
合計		161,682	331,586	304,330	390,281	360,548	422,682	417,927	308,877	293,208	246,063

### ■情報基盤センターPC室稼働状況 (授業・授業外)

授業利用:1コマ90分授業の利用回数 / 授業外利用:1コマ90分の資格取得講座・課外講座等

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
授業利用数		2,621	2,988	2,595	2,457	3,113	3,086	2,993	1,251	2,936	3,141
授業外利用数		930	775	1,018	1,672	1,162	1,059	1,077	1,497	793	793
合計		3,551	3,763	3,613	4,129	4,275	4,145	4,070	2,748	3,729	3,934

### ■情報基盤センターPC利用状況推移 (PC設置数:611台 / B21,B22,B23,B24,B25,B31,B38 PC室 / IT commons)

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
利用者数		31,878	33,614	33,044	34,371	35,390	34,475	33,952	16,842	27,685	30,330
ログイン回数(延数)		408,066	421,330	414,000	371,624	399,088	330,996	324,720	85,172	217,943	262,005

## ■情報基盤センター高度情報化PC利用状況推移(H28開設、PC設置数:48台)

スペース名	施設概要 (台)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
クリエイティブ・ラボ (情報基盤センター) (高度メディア制作・プロジェクト学習対応)	高性能・大画面PC	19	利用者数(延数)	2,747	4,002	3,628	4,728	425	1,029	2,095
	うち大型ペンタブレット併設	10								
	スキャナ対応高速カラープリンター	1	利用時間数	3,971	4,390	4,310	5,013	544	1,008	2,320
クリエイティブブース (図書館) (高度メディア制作・プロジェクト学習対応)	高性能・大画面PC	18	利用者数(延数)	14,999	15,740	12,790	12,513	3,131	12,777	4,390
	うち大型ペンタブレット併設	10								
	スキャナ対応高速カラープリンター	1	利用時間数	21,065	20,735	16,814	15,134	4,570	14,795	6,509
学修スペース (B棟3階) (高度メディア制作・プロジェクト学習対応)	高性能PC	11	利用者数(延数)	11,653	11,456	9,616	12,377	3,646	6,160	5,295
	両面対応プリンター	1								
	ホワイトボード(可動式・スクリーン掛け)	9	利用時間数	11,118	11,014	10,916	8,247	2,929	3,301	3,321

## ■myFIT(学生ポータルサイト)利用状況

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
利用者数(延数)	3,922,381	3,896,444	3,672,194	3,442,414	4,624,127	4,305,542	3,625,750

- 令和4年度にmyFITを活用した遠隔事業数:2,032(大学1,462、大学院320、短期大学部250)
- myFITスマートフォンアプリインストール数(令和5年3月31日現在):4,222(大学3,795、大学院80、短期大学部347)

## ■無線LAN整備状況(令和5年4月15日現在)

棟・教室等	AP設置数※	(うち、R4年度新規設置)
本部棟(図書館含む)	25	3
FITアリーナ	4	0
FITホール	10	0
A棟	54	17
B棟*	43	23
C棟	22	0
D棟*	20	13
E棟	17	0
F棟	2	0
α棟	4	0
合計	201	56

\*B・D棟うち53台は、令和4年(3年度補正予算分)文部科学省施設整備費補助金(ICT活用推進事業)採択

※AP:アクセスポイント

## ■大学のデジタル化に係る設備状況(令和5年3月31日現在)

設備名等	構成、内容等
FIT-DX スタジオ (本部棟8階・インキュベーションスタジオ)	スタジオ大・小2室、配信機材、リモート操作カメラ、配信 PC、プロンプター 1式、データ保存・編集用 NAS及び仮設配信機材1式(持ち出し用仮設機器)、4K対応動画作成・編集 PC(デスクトップ 2式、ノート PC1式)、動画撮影用機材1式(4Kビデオカメラ、デジタル一眼レフカメラ、可搬式マイクと照明、その他撮影機材など)
学修支援システム	myFIT(Universal Passport RX及びGAKUEN EX)による授業運営及び学生生活に係る諸手続きのデジタル化、FIT-AIM(学習サポートフォリオ)、FIT Moodle(myFIT補完LMS)、myFIT学生用スマートフォンアプリ、WingNet(情報基盤センター PC室向け)、FIT Replay(授業アーカイブシステム)
全学ライセンスソフトウェア	Microsoft 365 Education A5(一人:メールボックス(50GB)とOneDrive(1TB)による保存領域及びOffice及びTeams等を提供)、Microsoft Stream(授業動画等の動画配信システム)
教員ソフトウェア	Dropbox(容量無制限ネットワークストレージ/研究等プロジェクト利用)
学生貸出PC・Wi-Fiルーター	ノートPC:60台、モバイルWi-Fiルーター:20台
B棟・D棟ネットワーク	B棟・D棟の各研究室・実験室・講義室等の学内ネットワーク設備及びWi-Fiを最新機器に更新し、建屋間を20Gbpsで接続させ、各部屋まで最大10Gbpsのマルチギガビットに対応
ファイアウォールシステム更新	世界トップを誇る次世代型高性能ファイアウォールシステムに更新し、サイバー攻撃から大学全体を防御しつつ、ネットワークセキュリティ対策レベルが向上
個別学習ボックス(附属図書館)	オンラインによる学習・就活・インターンシップ・各種試験に対応する防音機構を有するコワーキングスペース:8式
学生統合データベース	大学運営を高度化する、入試・学修成果・就職実績、授業及びカリキュラムの点検・評価の機能を有したデータベースシステム

## ■その他サポート状況(令和5年3月31日現在)

職種	部門長	専任職員※	特定嘱託	臨時職員	委託スタッフ	合計	備考
附属図書館(図書館員)	1	3	1	0	10	15	部門長:図書館長
情報基盤センター(情報技術員)	1	5	2	1	0	9	部門長:情報基盤センター長

※兼任含む

## 附属施設②(その他のラーニングサポート関係施設)

※R2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各施設の臨時閉館・利用制限及び遠隔授業実施等により、利用者が大幅に減少しています。

### ■エクステンションセンター(R5年度から社会連携センターに組織変更)受講者数推移

講座名	H29		H30		R1		R2		R3		R4	
	講座数	受講者数										
資格取得支援講座	32	761	29	692	26	669	19	535	19	681	22	603
文化教養講座	170	1,505	170	1,508	179	1,411	144	816	161	1,102	156	1,103
FIT講座	4	73	6	642	14	904	14	250	19	386	17	333
合計	206	2,339	205	2,842	219	2,984	177	1,601	199	2,169	195	2,039

※講座数は実開講数でカウントしています。

※資格取得支援講座に一般を含みます。(講座数・受講者数)

※文化教養講座・FIT講座に学生を含みます。(講座数・受講者数)

### ■令和4年度エクステンションセンター(R5年度から社会連携センターに組織変更)での地方公共団体・産業界等と連携した生涯学習・社会人教育実施講座

区分	実施日	講座名	企業名等(敬称略)	受講者数
金融	令和4年4月28日	人生100年時代の資産運用	(株)福岡銀行	14
	令和4年5月26日	楽しむ株式投資	FFG証券株	29
	令和4年11月16日	人生100年時代の資産運用	(株)福岡銀行	24
	令和4年11月29日	資産所得を増やすための株式投資～貯蓄から投資へ	FFG証券株	37
健康	令和4年4月23日	消化器系疾患による内科対応と外科対応	社会医療法人財団池友会 福岡和白病院	11
	令和5年2月20日	最新がん医療を知ろう～腫瘍内科の役割と心に寄り添う緩和ケア	社会医療法人財団池友会 福岡和白病院	16
行政	令和4年7月2日	待ったなし!地球温暖化対策	福岡県 環境部環境保全課	23
	令和4年11月3日	SDGs(持続可能な開発目標)について	福岡市 総務企画局企画調整部	46

### ■モノづくりセンター利用者数推移

利用者区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
学生プロジェクト	6,596	5,871	5,892	5,746	6,249	5,620	4,422	1,705	4,424	4,510
研究利用	375	410	504	485	534	672	624	400	709	534
一般利用	3,074	3,191	3,801	4,155	3,167	2,813	2,768	1,703	3,179	5,842
合計	10,045	9,472	10,197	10,386	9,950	9,105	7,814	3,808	8,312	10,886

## 課外活動

### ■令和4年度クラブ・サークル加入者数

クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数
【体育会本部】	822	水泳競技部	12	【学術文化会】	896
硬式野球部(強化部)	109	相撲同好会	12	吹奏楽団(強化部)	51
ラグビー部(強化部)	68	パワーリフティング同好会	11	写真部	164
女子柔道部(強化部)	5	サバイバルスポーツ同好会	11	All Round Music部	82
e-sports愛好会	75	陸上競技部	9	料理・スイーツ研究同好会	78
シーズンスポーツ同好会	59	アイスホッケー部	8	フォークソング研究部	71
アクションサッカー同好会	51	剣道部	8	モダンアート部	56
フットサルFANTASIA同好会	39	テコンドー部	7	環境サークルオアシス部	51
弓道部	35	少林寺拳法部	3	音楽研究部	50
男子バレーボール部	31			ロック部	45
バスケットボール部	30			福工大アンプラグド部	44
準硬式野球部	30			情報技術研究部	43
硬式テニス同好会	30			模型部	42
ダンス同好会	28			音響部	33
軟式野球部	27			国際交流サークル(FIT-ICE)同好会	20
ハンドボール同好会	26			ピオトーブ愛好会	15
卓球部	25			釣り愛好会	14
硬式テニス部	21			競技麻雀同好会	14
タッチラグビー同好会	20			ジャズ研究会	12
ソフトテニス部	18			茶道部	8
バドミントン部	14			アカペラサークル	3

加入者総数 1,718

### ■令和4年度モノづくりセンタープロジェクトメンバー数

プロジェクト名	メンバー数
ソーラーカー	25
ロボコン	25
4輪2輪メンテピット	16
手作りアクセサリー	14
おとめが池の環境保全	13
ロボットアーム	12
ロボット相撲	10
アマチュア無線体験	8
超電導デモ	8
衛星コン	6
二足歩行ロボット	6
エアホッケーロボット	5
グッズ製作	4
未来のICT	4
放電加工回路の作製	3
レゴからくり	1
創造的な研究室をDIY	5◎
においロボットの作製	5◎
EVフォーミュラカー	4◎
制動性の高いドローンの開発	2◎
合計	176

◎令和4年度の利用推進プロジェクト

# 令和5年度学費・徴収金

## ■大学院

(単位:円)

研究科	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
工学研究科 (修士課程)	1年次	150,000	560,000	170,000	62,000	20,000	-	21,750	983,750
	2年次以降	-	560,000	170,000	62,000	20,000	-	-	812,000
工学研究科 (博士後期課程)	1年次	150,000	560,000	170,000	62,000	20,000	-	22,600	984,600
	2年次以降	-	560,000	170,000	62,000	20,000	-	-	812,000
社会環境学研究所	1年次	150,000	490,000	120,000	-	20,000	-	21,750	801,750
	2年次以降	-	490,000	120,000	-	20,000	-	-	630,000

※学生諸費の内訳:同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料 修士課程1,750円(秋季入学生2,600円)、博士後期課程2,600円(秋季入学生3,300円)

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

## ■大学

(単位:円)

学部	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
工学部 情報工学部	1年次	200,000	895,000	270,000	90,000	10,000	20,000	81,300	1,566,300
	2年次以降	-	895,000	270,000	90,000	10,000	20,000	-	1,285,000
社会環境学部	1年次	200,000	705,000	170,000	-	10,000	20,000	81,300	1,186,300
	2年次以降	-	705,000	170,000	-	10,000	20,000	-	905,000

※学生諸費の内訳:学生自治会費28,000円、教育後援会費20,000円、同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料3,300円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

## ■短期大学部

(単位:円)

学科	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
情報メディア学科	1年次	170,000	640,000	160,000	100,000	5,000	15,000	47,750	1,137,750
	2年次以降	-	640,000	160,000	100,000	5,000	15,000	-	920,000

※学生諸費の内訳:学友会費10,000円、教育後援会費6,000円、同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料1,750円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

## ■高等学校

(単位:円)

課程	学年	入学申込金	施設設備費	授業料	施設維持費	ICT教育推進費	実習費	図書費	教育充実費	諸会費・積立金※	合計
普通科	1年次	40,000	190,000	396,000	69,600	42,000	-	0	0	120,000	857,600
	2年次以降	-	-	396,000	69,600	42,000	-	0	0	120,000	627,600
電気科・電子情報科	1年次	40,000	190,000	396,000	69,600	42,000	12,000	0	0	120,000	869,600
	2年次以降	-	-	396,000	69,600	42,000	12,000	0	0	120,000	639,600

※諸会費・積立金の内訳:生徒会費18,000円、同窓会費1,200円、PTA会費16,800円、積立金84,000円

積立金は、1年次4月～2年次11月は修学旅行積立金として、2年次12月～2年次3月は卒業積立金として徴収。3年次は徴収しない。

その他の費用 PTA入会費:10,000円(入学年度のみ)、学年予納金(実績):普通科52,375円等(各年度変動)、電気科・電子情報科53,875円等(各年度変動)

部分は12か月分納 教科書代が別途必要

# 奨学費

## ■令和4年度奨学費支出(福岡工業大学独自奨学金種別・設置校別)

(単位:千円)

奨学の趣旨	大学	短期大学部	高校	合計
学業奨励	96,618 (196人)	5,760 (15人)	57,873 (217人)	160,251 (428人)
課外活動奨励	65,348 (112人)		19,436 (107人)	84,783 (219人)
経済的事由対応	12,224 (37人)	1,290 (5人)		13,514 (42人)
経済的事由(留学生)	5,775 (18人)	320 (1人)		6,095 (19人)
国際交流支援	8,193 (27人)			8,193 (27人)
その他		5,185 (52人)	4,370 (23人)	9,555 (75人)
合計	188,157 (390人)	12,555 (73人)	81,679 (347人)	282,391 (810人)

## ■奨学費支出(福岡工業大学独自奨学金)経年推移

(単位:千円)

学校	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
福岡工業大学	185,849	187,992	187,834	206,702	213,593	215,747	210,086	229,138	192,347	188,157
福岡工業大学短期大学部	17,855	18,840	14,810	15,540	17,012	14,845	20,405	17,444	11,898	12,555
福岡工業大学附属城東高等学校	147,580	134,943	115,206	115,989	101,329	92,418	86,331	89,033	83,844	81,679
合計	351,284	341,775	317,850	338,231	331,934	323,010	316,822	335,615	288,089	282,391

## ■修学支援費(国の高等教育修学支援新制度:授業料等減免費交付金)支出経年推移

(単位:千円)

学校	R2	R3	R4
福岡工業大学	267,656	286,715	295,978
福岡工業大学短期大学部	27,824	31,236	34,449
合計	295,480	317,951	330,427

※令和2年度から交付開始

# 学校法人の沿革(学校・学部・学科等設置、組織変更等)

## ■沿革

年月	学校、学部等の開設、名称変更等<当該趣旨>
昭和29年4月	福岡高等無線電信学校創設
昭和33年4月	学校法人福岡電波学園福岡電波高等学校開設
昭和35年4月	福岡電子工業短期大学開設
昭和38年4月	福岡電波学園電子工業大学開学、同工学部開設
昭和41年4月	大学名称を「福岡工業大学」に変更、短期大学名称を「福岡工業短期大学」に変更
昭和48年9月	法人の名称を「学校法人福岡工業大学」に変更
昭和49年8月	高校の名称を「福岡工業大学附属高等学校」に変更
平成5年4月	大学院工学研究科(修士課程)開設
平成9年4月	大学に情報工学部を開設
平成11年4月	大学院工学研究科(博士後期課程)開設
平成13年4月	大学に社会環境学部を開設 高校の名称を「福岡工業大学附属城東高等学校」に変更
平成14年4月	短期大学の名称を「福岡工業大学短期大学部」に変更
平成17年4月	短期大学部電子情報システム学科を情報メディア学科に、OA情報システム学科をビジネス情報学科に名称変更
平成19年4月	大学院社会環境学研究科(修士課程)開設
平成21年4月	大学院工学研究科(修士課程)「機能材料工学専攻」を「生命環境科学専攻」に改組
平成22年4月	FD*1 推進機構を設置 *1 Faculty Development
平成25年4月	改革推進室を経営企画室と改称<経営計画策定とその実現性向上> 国際交流支援室を国際戦略室と改称<国のグローバル戦略への適応>
平成26年4月	先端計測技術研究センターを設置<研究成果の地域社会への還元> 大学・地域連携推進室を設置<外部連携による地域発展への貢献>
平成27年4月	大学の入学定員を830名から915名(工学部380名・情報工学部375名・社会環境学部160名)に変更 <学生定員の実質化(志願者ニーズへの適応)> 教養力育成センターを設置<教養教育の見直しとその教育方法等改善>
平成28年4月	物質・エネルギーデバイス研究センターを設置<研究成果の地域社会への還元> 学長室を設置<学長を中心とした教学ガバナンス強化> 大学院工学研究科(修士課程)「管理工学専攻」を「情報システム工学専攻」と「システムマネジメント専攻」に改組
平成29年8月	エレクトロニクス研究所インキュベーションスタジオ2を設置<研究の高度化・活発化への対応> 同研究所食品医薬品研究センター研究活動開始(研究7テーマの選定)
平成29年11月	情報科学研究所電磁波計測センターおよびインキュベーションスタジオ3を設置<研究の高度化・活発化への対応> 環境科学研究所あまみず社会研究センターを設置<研究の高度化・研究成果の地域社会への還元>
平成30年1月	インキュベーションスタジオ1を設置<研究の高度化・活発化への対応>
平成30年4月	大学工学部「生命環境科学科」の名称を「生命環境化学科」に変更
平成31年4月	大学院工学研究科(修士)「生命環境科学専攻」を「生命環境化学専攻」に名称変更
令和2年4月	短期大学部「情報メディア学科」を新設

はじめに

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的な取組状況

各設置校の状況

フアンリテイ

バックデータ集

**校地・校舎概要** (学園全体の校地面積：234,602㎡、同校舎面積：132,605㎡)

建物名	主な設備、用途	延床面積 (㎡)	建築年
A棟	クリーンルーム、学生ホール、ラーニングコーナー、売店、講義室28、演習室14、実験室16、研究室77、卒研室50	18,360	平成13年
B棟	情報基盤センター、レストラン、コンビニ、保健室、カウンセリング室、講義室15、演習室10、実験室10、研究室42、卒研室26、インキュベーションスタジオ1、PC室13	18,842	平成16年
C棟	地下ホール(収容人数300人)、学生ホール、レストラン、売店、書店、講義室7、実験室10、研究室26、卒研室25、セミナー室2	10,303	平成3年
D棟	工作センター、講義室14、実験室7、研究室25、卒研室25、演習室2、ゼミ室2、製図室1	8,504	平成16年
E棟	学生サポートセンター、学習支援センター、グループ学習室、アクティブラーニングエリア、研究所、オープンラボ、研究室2	6,884	平成28年
F棟	インキュベーションスタジオ2、研究スペース4	780	平成29年
α棟	モノづくりセンター、グローバルスチューデントラウンジ、ラーニングスペース、多目的ホール(収容人数200人)	1,750	平成11年
本部棟	FIT Link(図書館)、社会連携センター、次世代マイクロ/ナノ金型開発センター、インキュベーションスタジオ3、音とモノづくりの歴史資料館、事務局、DXスタジオ2	12,735	昭和61年
FITアリーナ	シンフォニーホール(収容人数2,400人)、運動施設	5,470	平成12年
FITホール	多目的ホール(収容員数1,000人)、会議室	3,612	平成23年
坦心寮	男子寮(部屋数196、収容人数238人)	6,556	平成15年
コスモス寮	女子寮(部屋数87、収容人数160人)	3,833	平成5年
国際交流会館	留学生寮(部屋数28、収容人数56人)	1,102	平成4年
附属城東高校1号館	J-STEP、放送室、職員室、研修室3、ミーティングルーム4	2,274	令和2年
附属城東高校2号館	校長室、事務室、保健室、スクールカウンセリング室、職員研修室、書道室、理科室2、音楽室、LL教室、家庭科室、キャリアサポートセンター、生徒相談室、教室35、特別教室、図書室、視聴覚教室、生徒会室、売店	15,364	昭和61年
附属城東高校3号館	工業科準備室、工業科実習室14、コンピュータ室4、普通教室19、特別教室4		
附属城東高校4号館	吹奏楽練習場、多目的ホール、部室	1,236	平成12年
附属城東高校体育館	メインフロア(収容定員数2,300人)、柔道場、剣道場、空手道場、男女更衣室、トレーニング室、多目的スペース2	6,336	令和2年
連絡歩道橋	連絡通路(1号館・体育館間)	0	令和3年
上善荘	調理室、実習室、茶室、宿泊室、セミナー室、多目的室	906	平成16年
和白グラウンド	高校部活動用地(全面人工芝18,217.5㎡)他	32,297	昭和37年
新宮総合グラウンド	野球場、ラグビー場、アーチェリー場、他運動施設	40,655	昭和62年
塩浜総合グラウンド	野球場、室内練習場、多目的グラウンド	38,188	平成23年
FITアリーナWESTコート	スポーツコート、相撲場	2,308	平成27年
FITセミナーハウス	課外研修・宿泊施設	1,310	平成24年

# 財務状況

## ■資金収支計算書

収入の部			
科 目	R2年度	R3年度	R4年度
学納金収入	6,607,228	6,622,937	6,657,897
手数料収入	147,020	144,163	138,218
寄付金収入	72,100	55,393	42,713
補助金収入	1,659,455	1,621,022	1,801,979
資産売却収入	1,000,000	500,000	0
付随事業・収益事業収入	237,158	287,669	299,303
受取利息・配当金収入	137,908	139,022	144,093
雑収入	219,115	344,193	175,917
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,196,850	2,047,796	2,186,548
その他の収入	397,510	266,031	329,845
資金収入調整勘定	△ 2,619,528	△ 2,506,803	△ 2,220,752
前年度繰越支払資金	2,120,940	1,397,525	1,317,427
<b>収入の部合計</b>	<b>12,175,756</b>	<b>10,918,948</b>	<b>10,873,188</b>

支出の部			
科 目	R2年度	R3年度	R4年度
人件費支出	4,789,736	5,040,151	4,818,481
教育研究経費支出	2,049,096	2,200,632	2,362,278
管理経費支出	611,090	532,473	541,712
借入金等利息支出	2,480	1,860	1,240
借入金等返済支出	200,000	200,000	200,000
施設関係支出	2,594,463	725,968	902,407
設備関係支出	540,733	562,734	686,246
資産運用支出	0	500,000	0
その他の支出	317,597	346,881	570,295
資金支出調整勘定	△ 326,963	△ 509,179	△ 335,809
翌年度繰越支払資金	1,397,525	1,317,427	1,126,338
<b>支出の部合計</b>	<b>12,175,756</b>	<b>10,918,948</b>	<b>10,873,188</b>

## ■活動区分資金収支計算書

教育活動による資金収支					
科 目		R2年度	R3年度	R4年度	
収入	学納金収入	6,607,228	6,622,937	6,657,897	
	手数料収入	147,020	144,163	138,218	
	特別寄付金収入	69,070	48,564	42,682	
	一般寄付金収入	3,030	30	31	
	経常費等補助金収入	1,600,933	1,566,655	1,702,949	
	付随事業収入	237,158	287,669	299,303	
	雑収入	219,115	344,193	175,917	
	<b>教育活動資金収入計</b>	<b>8,883,553</b>	<b>9,014,211</b>	<b>9,016,997</b>	
	支出	人件費支出	4,789,736	5,040,151	4,818,481
		教育研究経費支出	2,049,096	2,200,632	2,362,278
		管理経費支出	611,090	532,473	541,712
		<b>教育活動資金支出計</b>	<b>7,449,922</b>	<b>7,773,256</b>	<b>7,722,470</b>
差引	1,433,631	1,240,955	1,294,526		
<b>調整勘定等</b>	<b>△ 13,319</b>	<b>△ 278,093</b>	<b>272,548</b>		
<b>教育活動資金収支差額</b>	<b>1,420,312</b>	<b>962,862</b>	<b>1,567,075</b>		
施設整備等活動による資金収支					
科 目		R2年度	R3年度	R4年度	
収入	施設設備寄付金収入	0	6,800	0	
	施設設備補助金収入	58,522	54,366	99,030	
	<b>施設整備等活動資金収入計</b>	<b>58,522</b>	<b>61,166</b>	<b>99,030</b>	
支出	施設関係支出	2,594,463	725,968	902,407	
	設備関係支出	540,733	562,734	686,246	
	教育設備引当特定資産繰入支出	0	500,000	0	
	<b>施設整備等活動資金支出計</b>	<b>3,135,196</b>	<b>1,788,702</b>	<b>1,588,653</b>	
差引	△ 3,076,674	△ 1,727,537	△ 1,489,623		
<b>調整勘定等</b>	<b>△ 47,315</b>	<b>195,354</b>	<b>△ 173,491</b>		
<b>施設整備等活動資金収支差額</b>	<b>△ 3,123,989</b>	<b>△ 1,532,182</b>	<b>△ 1,663,114</b>		
<b>小計</b>	<b>△ 1,703,676</b>	<b>△ 569,320</b>	<b>△ 96,040</b>		
その他の活動による資金収支					
科 目		R2年度	R3年度	R4年度	
収入	有価証券売却収入	1,000,000	500,000	0	
	預り金収入	25,918	45,949	0	
	仮受金収入	11,859	0	0	
	保証金回収・仮払金収入・預託金	13,340	150	0	
	修学旅行預け金受入収入	23,704	29,838	19,892	
	<b>小計</b>	<b>1,074,821</b>	<b>575,937</b>	<b>19,892</b>	
	<b>受取利息・配当金収入</b>	<b>137,908</b>	<b>139,022</b>	<b>144,093</b>	
	<b>その他の活動資金収入計</b>	<b>1,212,729</b>	<b>714,960</b>	<b>163,985</b>	
	支出	借入金等返済支出	200,000	200,000	200,000
		有価証券購入支出	0	0	0
保証金・預託金・立替金支出		150	25	0	
預り金支出		0	0	23,499	
仮受金支出		0	2,432	12,475	
仮払金支出		0	1,528	934	
修学旅行預け金支払支出		29,838	19,892	20,887	
<b>小計</b>	<b>229,988</b>	<b>223,877</b>	<b>257,794</b>		
<b>借入金等利息支出</b>	<b>2,480</b>	<b>1,860</b>	<b>1,240</b>		
<b>その他の活動資金支出計</b>	<b>232,468</b>	<b>225,737</b>	<b>259,034</b>		
差引	980,261	489,223	△ 95,049		
<b>調整勘定等</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		
<b>その他の活動資金収支差額</b>	<b>980,261</b>	<b>489,223</b>	<b>△ 95,049</b>		
<b>支払資金の増減額</b>	<b>△ 723,416</b>	<b>△ 80,098</b>	<b>△ 191,088</b>		
<b>前年度繰越支払資金</b>	<b>2,120,940</b>	<b>1,397,525</b>	<b>1,317,427</b>		
<b>翌年度繰越支払資金</b>	<b>1,397,525</b>	<b>1,317,427</b>	<b>1,126,338</b>		

はじめに

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的な取組状況

各設置校の状況

フアンリティ

バックデータ集

## ■事業活動収支計算書

(単位:千円)

科 目		R2年度	R3年度	R4年度
教育活動収支	収入			
	学納金	6,607,228	6,622,937	6,657,897
	手数料	147,020	144,163	138,218
	寄付金	72,100	48,594	42,713
	経常費等補助金	1,600,933	1,566,655	1,702,949
	付随事業収入	237,158	287,669	299,303
	雑収入	176,964	297,955	160,655
	<b>教育活動収入計</b>	<b>8,841,402</b>	<b>8,967,973</b>	<b>9,001,735</b>
	支出			
	人件費	4,735,642	5,015,365	4,808,512
教育研究経費	3,116,020	3,388,164	3,626,905	
管理経費	672,186	595,186	613,682	
徴収不能額等	0	0	0	
<b>教育活動支出計</b>	<b>8,523,848</b>	<b>8,998,715</b>	<b>9,049,098</b>	
<b>教育活動収支差額</b>	<b>317,554</b>	<b>△ 30,743</b>	<b>△ 47,363</b>	
科 目		R2年度	R3年度	R4年度
教育活動外収支	収入			
	受取利息・配当金	132,959	134,073	139,294
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	<b>教育活動外収入計</b>	<b>132,959</b>	<b>134,073</b>	<b>139,294</b>
	支出			
	借入金等利息	2,480	1,860	1,240
その他の教育活動外支出	0	0	0	
<b>教育活動外支出計</b>	<b>2,480</b>	<b>1,860</b>	<b>1,240</b>	
<b>教育活動収支差額</b>	<b>130,479</b>	<b>132,213</b>	<b>138,054</b>	
<b>経常収支差額</b>	<b>448,033</b>	<b>101,471</b>	<b>90,691</b>	
科 目		R2年度	R3年度	R4年度
特別収支	収入			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	101,428	112,358	168,238
	<b>特別収入計</b>	<b>101,428</b>	<b>112,358</b>	<b>168,238</b>
	支出			
	資産処分差額	151,617	7,242	28,566
その他の特別支出	0	0	0	
<b>特別支出計</b>	<b>151,617</b>	<b>7,242</b>	<b>28,566</b>	
<b>特別収支差額</b>	<b>△ 50,189</b>	<b>105,117</b>	<b>139,671</b>	
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>397,844</b>	<b>206,587</b>	<b>230,362</b>	
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△ 2,400,648</b>	<b>△ 872,450</b>	<b>△ 1,482,264</b>	
<b>当年度収支差額</b>	<b>△ 2,002,804</b>	<b>△ 665,863</b>	<b>△ 1,251,901</b>	
<b>前年度繰越収支差額</b>	<b>△ 10,519,343</b>	<b>△ 12,520,960</b>	<b>△ 13,184,967</b>	
<b>基本金取崩額</b>	<b>1,186</b>	<b>1,856</b>	<b>0</b>	
<b>翌年度繰越収支差額</b>	<b>△ 12,520,960</b>	<b>△ 13,184,967</b>	<b>△ 14,436,869</b>	
(参考)				
<b>事業活動収入計</b>	<b>9,075,789</b>	<b>9,214,404</b>	<b>9,309,267</b>	
<b>事業活動支出計</b>	<b>8,677,945</b>	<b>9,007,817</b>	<b>9,078,904</b>	

## ■貸借対照表 (各年度3月31日現在)

資産の部

(単位:千円)

科 目	R2年度	R3年度	R4年度
<b>固定資産</b>	<b>34,924,931</b>	<b>34,998,892</b>	<b>35,284,343</b>
有形固定資産	26,301,150	26,386,263	26,681,665
土地	3,553,916	3,553,916	3,557,485
建物	16,804,328	16,538,779	16,174,260
構築物	1,479,774	1,758,190	2,245,518
教育研究用機器備品	3,075,388	3,091,048	3,214,186
管理用機器備品	156,930	195,598	241,989
図書	1,198,781	1,214,806	1,228,832
車両	32,033	26,797	19,395
建設仮勘定	0	7,128	0
特定資産	6,100,000	6,100,000	6,100,000
第3号基本金引当特定資産	1,500,000	1,500,000	1,500,000
退職給与引当特定資産	1,500,000	1,500,000	1,500,000
施設拡充引当特定資産	2,600,000	2,600,000	2,600,000
教育設備引当特定資産	500,000	500,000	500,000
その他の固定資産	2,523,781	2,512,629	2,502,678
借地権	19,805	19,805	19,805
電話加入権	5,157	5,157	5,157
施設利用権	4,859	4,278	3,696
預託金	25,069	24,944	24,944
保証金	0	0	0
ソフトウェア	12,740	10,617	8,494
長期前払金	12,085	8,713	6,266
有価証券	2,444,065	2,439,116	2,434,317
<b>流動資産</b>	<b>1,644,436</b>	<b>1,676,025</b>	<b>1,358,443</b>
現金預金	1,397,525	1,317,427	1,126,338
未収入金	190,094	309,953	172,956
修学旅行預け金	29,838	19,892	20,887
前払金	26,052	26,297	34,872
仮払金	928	2,456	3,390
<b>資産の部合計</b>	<b>36,569,367</b>	<b>36,674,916</b>	<b>36,642,786</b>

負債の部

(単位:千円)

科 目	R2年度	R3年度	R4年度
<b>固定負債</b>	<b>1,975,628</b>	<b>1,800,131</b>	<b>1,598,869</b>
長期借入金	400,000	200,000	0
長期未払金	17,894	20,945	14,391
退職給与引当金	1,557,734	1,579,186	1,584,478
<b>流動負債</b>	<b>3,044,020</b>	<b>3,118,480</b>	<b>3,057,249</b>
短期借入金	200,000	200,000	200,000
未払金	300,080	480,076	316,066
前受金	2,196,850	2,047,796	2,186,548
預り金	284,484	330,433	306,934
仮受金	62,607	60,175	47,700
<b>負債の部合計</b>	<b>5,019,648</b>	<b>4,918,610</b>	<b>4,656,118</b>

純資産の部

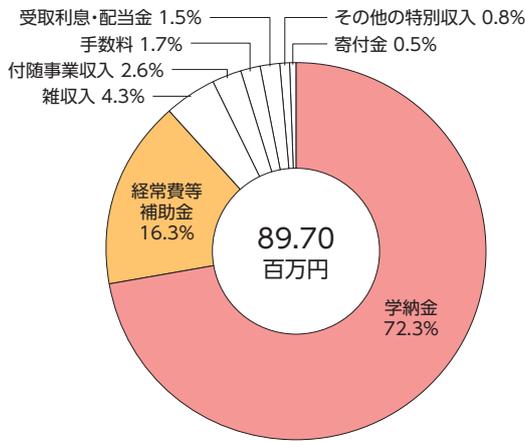
(単位:千円)

科 目	R2年度	R3年度	R4年度
<b>基本金</b>	<b>44,070,679</b>	<b>44,941,273</b>	<b>46,423,537</b>
第1号基本金	41,966,679	42,837,273	44,319,537
第3号基本金	1,500,000	1,500,000	1,500,000
第4号基本金	604,000	604,000	604,000
<b>繰越収支差額</b>	<b>△ 12,520,960</b>	<b>△ 13,184,967</b>	<b>△ 14,436,869</b>
翌年度繰越収支差額	△ 12,520,960	△ 13,184,967	△ 14,436,869
<b>純資産の部合計</b>	<b>31,549,719</b>	<b>31,756,306</b>	<b>31,986,668</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>36,569,367</b>	<b>36,674,916</b>	<b>36,642,786</b>

# 財務構造(事業活動収入・支出の5年比較)

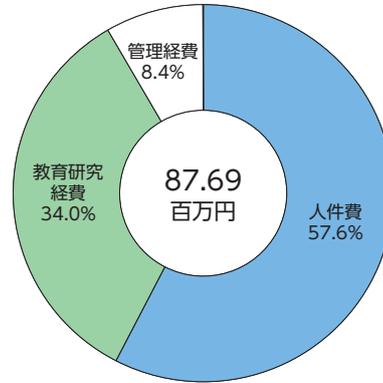
## ■収入

### H30年度事業活動収入

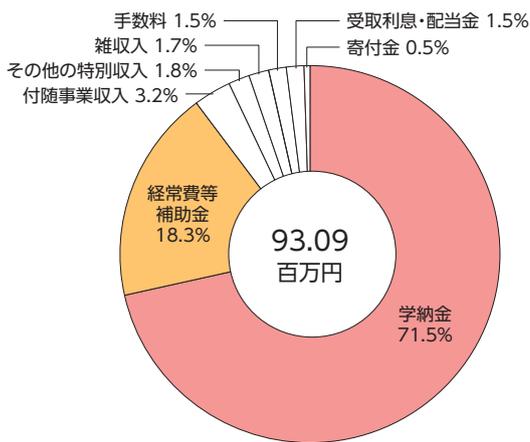


## ■支出

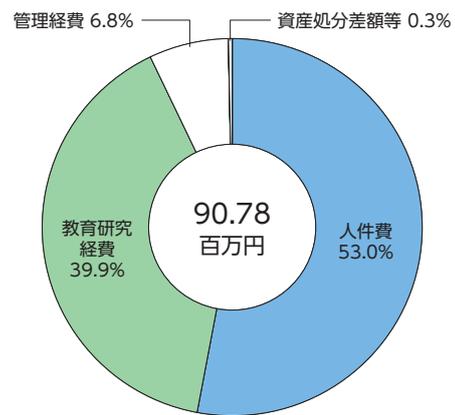
### H30年度事業活動支出



### R4年度事業活動収入



### R4年度事業活動支出



## 収入

科目	H30年度	R4年度	対比
学納金	6,487,807	6,657,897	170,090
手数料	149,478	138,218	△ 11,260
寄付金	43,428	42,713	△ 715
経常費等補助金	1,462,334	1,702,949	240,615
付随事業収入	233,135	299,303	66,167
雑収入	388,581	160,655	△ 227,925
受取利息・配当金	130,299	139,294	8,995
その他の教育活動外収入	0	0	0
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	74,469	168,238	93,769
(参考)			
事業活動収入計	8,969,530	9,309,267	339,737

## 支出

科目	H30年度	R4年度	対比
人件費	5,050,452	4,808,512	△ 241,940
教育研究経費	2,984,579	3,626,905	642,326
管理経費	732,356	613,682	△ 118,674
徴収不能額等	0	0	0
借入金等利息	0	1,240	1,240
その他の教育活動外支出	0	0	0
資産処分差額	1,212	28,566	27,354
その他の特別支出	0	0	0
(参考)			
事業活動支出計	8,768,600	9,078,904	310,304

# 学校法人福岡工業大学

## 「夢 つむぐ、つなぐ、むすぶ。FIT学生サポート寄付金」について

本学では、令和4年度に、自然災害やコロナ禍等により学習の機会を確保することが難しくなった学生を支援すること、学生の正課・課外活動のサポート体制を充実させること等を目的として、関係の皆さまに寄付金を募集いたしました。

これを機に、「学生の夢を紡ぎ、卒業生の思いを学生に繋ぎ、結実させる」、そのような学生支援活動を継続的に行える体制を構築していきたいと考えております。

この寄付金は、学生の自主自立的な諸活動をサポートするための資金として活用します。実社会の荒波を乗り越えて進むことのできる、知力・体力に優れ感受性に富んだ人材の育成に役立てて参ります。

### 1. 寄付金名称

学校法人福岡工業大学「夢 つむぐ、つなぐ、むすぶ。FIT学生サポート寄付金」

### 2. 募集期間

令和5年2月から随時

### 3. 寄付金の主な用途

- ①経済的な理由で修学困難な学生への支援
- ②優秀な学生の諸活動の支援
- ③スポーツ・芸術分野の課外活動(強化部)への支援
- ④学生の国際交流に関する支援
- ⑤その他、学生の教育・研究、課外活動、生活全般に関する支援(理工系女子学生支援を含む)

### 4. 口数・金額

個人：1口 5,000円(1口以上、口数制限なし)

法人・団体：1口の金額の定めなし

### 5. 税法上の優遇措置

個人：確定申告での、「所得控除制度」による税の還付等

法人・団体：「受配者指定寄付金(全額損金算入可能)」または

「特定公益増進法人への寄付金」から選択

## 寄付者ご芳名一覧 (令和4年4月1日~令和5年3月31日)

令和4年度にご寄付をいただいた方々のご芳名をここに記載致します。  
 ご支援を賜りました皆様に改めて感謝申し上げます。  
 なお、寄付者情報の公表を辞退された方は匿名といたしました。

### 👑「夢 つむぐ、つなぐ、むすぶ。FIT学生サポート寄付金」 113名 (アイウエオ順)

#### ア行

青野昇三様  
 阿部武男様  
 有松義勝様  
 池上則洋様  
 石田正幸様  
 稲光大司郎様  
 犬塚政廣様  
 犬童秀明様  
 井上正行様  
 今村勇雄様  
 岩本良平様  
 上杉洋海様  
 内倉孝治様  
 瓜生英彦様  
 大久保孝雄様  
 太田能生様  
 大谷勝美様  
 大原純子様  
 岡崎慎吾様  
 落合直文様

#### カ行

数山亮様  
 加藤道明様  
 金縄政美様  
 蒲浦政徳様  
 川合保郎様  
 神田豊様  
 北代茂敏様  
 木原伸一様  
 楠本總幸様  
 小池勲様  
 古賀福治様  
 古賀誉子様  
 児島豊様  
 小柳辰生様  
 近藤健様  
 近藤博昭様

#### サ行

佐倉隆彦様  
 佐々木淳様  
 佐藤邦彦様  
 佐藤定利様  
 柴田廣樹様  
 下芝義明様  
 正坊地均様  
 杉尾民則様  
 須藤照夫様  
 専田裕之様  
 善明大和様

#### タ行

高野晃平様  
 田川元見様  
 多久和信子様  
 田中輝紀様  
 田中将朗様  
 田中譲様  
 田中陸教様  
 茶谷祐太郎様  
 寺園賢一郎様  
 寺戸宏典様  
 徳本勉様

#### ナ行

永溪弘幸様  
 長野忠之様  
 中村清貴様  
 中村徳子様  
 中村守様  
 永目宏様  
 西山友幸様  
 野崎茜様

#### ハ行

萩田寛司様  
 馬場浩平様  
 引地敏夫様  
 平川宗一郎様  
 平畑静男様  
 北條義憲様

#### マ行

槇一彦様  
 牧瀬亥一郎様  
 増田雄介様  
 松尾正博様  
 松岡武彦様  
 松元昭人様  
 松本俊雄様  
 水上義孝様  
 満留龍彦様  
 宮崎弘様  
 宮田圭三様  
 ミヤツカラヤ様  
 宮本豊様  
 六車正道様  
 森口正憲様  
 盛田光範様

#### ヤ行

安井恭徳様  
 柳輝彦様  
 矢野文隆様  
 山崎章久様  
 山崎正登様  
 山科良一様  
 山本賢二様  
 山本益幹様  
 由留木達夫様  
 由川文年様

他 匿名15名

### 👑その他寄付金 2名

馬場国広様

他 匿名1名



## 教育・研究活動報告書(取組成果のご報告)アンケート

お手数ですが、下記の質問項目にご記入のうえ、FAXもしくは本学IRプロジェクト宛ご郵送ください。  
(巻末のQRコードからも回答が可能です)該当する箇所に☑を記入してください。

### I. この報告書をご覧になってどうお感じになりましたか。

十分に満足      満足      やや不満足      非常に不満足

### II. 報告書の構成についてどうお感じになりましたか？

- ◆ 情報公表の度合い： 十分      不十分      (理由： )
- ◆ わかりやすさ： わかりやすい      わかりにくい      (理由： )
- ◆ 内容の充実度： 十分      不十分      (理由： )
- ◆ 読みやすさ： 読みやすい      読みにくい      (理由： )
- ◆ ページ数： ちょうどよい      多すぎる      少なすぎる

### III. この報告書の内容のうち、特に評価できるページや興味を持ったページをチェックしてください。 (3つまで選択してください)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> ごあいさつ(P01)           | <input type="checkbox"/> マスタープランの取組状況・成果の概要(P03)                                 |
| <input type="checkbox"/> 入学志願者・入学者の状況(P05)    | <input type="checkbox"/> 教育力の発揮(P07) <input type="checkbox"/> 研究の高度化(P09)        |
| <input type="checkbox"/> 就職力の強化(P11)          | <input type="checkbox"/> グローバル化の取組(P13) <input type="checkbox"/> 地域連携の取組(P15)    |
| <input type="checkbox"/> 財政基盤の安定(P17)         | <input type="checkbox"/> 学校運営に対する外部評価(P19) <input type="checkbox"/> 教育改善の取組(P21) |
| <input type="checkbox"/> 研究高度化の取組(P23)        | <input type="checkbox"/> 就職支援の取組(P25) <input type="checkbox"/> ラーニングサポートの取組(P27) |
| <input type="checkbox"/> キャンパスライフサポートの取組(P29) | <input type="checkbox"/> 大学院の取組(P31) <input type="checkbox"/> 短期大学の取組(P33)       |
| <input type="checkbox"/> 附属城東高校の取組(P35)       | <input type="checkbox"/> キャンパスの概要(P37) <input type="checkbox"/> バックデータ集 (P39~)   |

### IV. この報告書は本学のイメージアップに繋がると思われますか。

思う      どちらともいえない      思わない(理由： )

### V. 今後の学園運営に反映させたいと存じますので、この報告書に対するご感想・ご要望や、本学の取組に対する忌憚のないご意見をお聞かせください。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

### VI. あなたのプロフィールについてお聞かせください。

性別： 男性      女性  
年代： 10代      20代      30代      40代      50代      60代      70代以上

### VII. この報告書をどのような立場でお読みになりましたか。

在学生      卒業生      在学生の保護者      卒業生の保護者      中学生・高校生の保護者      中学生・高校生  
行政機関      企業      報道関係者      教員・塾・予備校講師      他大学関係者      地域住民      その他( )

※お預かりした個人情報及びアンケート内容はご本人の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。

送付先 〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30-1 福岡工業大学IRプロジェクト宛  
FAX:(092)606-8923・TEL:(092)606-0619



## 皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください

福岡工業大学『令和4年度教育・研究活動報告書』をお読みいただきありがとうございました。  
本学では、ご支援いただいております皆様に広く情報公表を行い、コミュニケーションを重ね、学園の諸活動をいっそう磨き高めたいと考えております。

『教育・研究活動報告書』を通じ、取組実績やそれらの外部評価について皆様にご理解いただけるようこれまでも努めて参りましたが、まだ課題も多く残されていると考えております。

お手数ではございますが、下記のQRコード(または、アンケート用紙)からアンケート(回答時間5~10分)にお進みいただき、ご回答くだされば幸甚に存じます。



※お預かりした個人情報およびアンケート内容は、ご本人の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。当プロジェクトにて厳重に管理いたします。



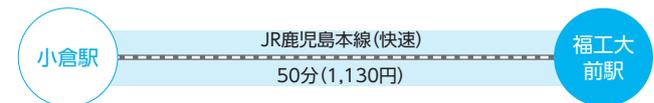
### 地下鉄+JR鹿児島本線



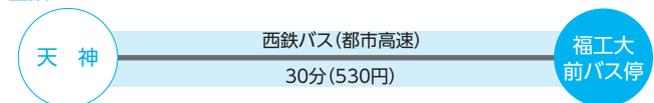
### JR鹿児島本線



### JR鹿児島本線



### 西鉄バス



※乗用車の場合…国道3号線から国道495号線へ進み和白方面へ

## 福岡工業大学

令和4年度

# 教育・研究活動報告書

取組成果のご報告

編集／福岡工業大学 IRプロジェクト

編集協力・印刷／久野印刷(株)..

〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町大字旅石60番地32 TEL：092-410-5711 FAX：092-936-6262

発行／令和5年9月

福岡工業大学

〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30番1号 TEL：092-606-0619 FAX：092-606-8923



*For all the students*  
**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
**福岡工業大学**

## 工学部

電子情報工学科  
生命環境化学科  
知能機械工学科  
電気工学科

## 社会環境学部

社会環境学科(文系)

## 福岡工業大学短期大学部

情報メディア学科

## 情報工学部

情報工学科  
情報通信工学科  
情報システム工学科  
システムマネジメント学科

## 大学院

工学研究科  
社会環境学研究科

## 福岡工業大学附属城東高等学校

普通科  
電気科  
電子情報科

